

平成 3 年 度

学 校 教 育 要 覧

日野市立図書館 ☎81-7354



1594844

日野市教育委員会

目 次

◇ 日野市教育委員会の教育目標と重点	1
◇ 学校教育における指導の重点	2
◇ 東京都教育委員会の教育目標及び学校教育の課題と指導の重点	5
◇ 日野市教育委員会の学校訪問	7
◇ 日野市教育委員会指導室の年間事業計画	9
◇ 日野市教育委員会指導室関係及び幼・小・中学校行事予定表	18
◇ 日野市教育相談室	30
◇ 日野市中心身障害教育推進協議会	33
◇ 日野市立小学校科学教育センター	35
◇ 指導主事事務分担	38
◇ 校長・教頭事業担当一覧	40
◇ 日野市教育委員会事務局組織	44
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧	46
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧	48
◇ 日野市立小・中学校主任(担当)一覧	50
◇ 授業研究主題一覧	54
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	56
◇ 就職・進学状況の推移	57
◇ 園児・児童・生徒・学級数	58
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒数の推移	60
◇ 都教育研究員等一覧	61
◇ 日野市公立小中学校施設一覧	62
◇ 避難場所と地区割当表	64
◇ 日野市立幼稚園・小学校・中学校要覧	
日野市立第一幼稚園	65
" 第二 "	66
" 第三 "	67
" 第四 "	68
" 第五 "	69
" 第六 "	70
" 第七 "	71
日野市立日野第一小学校	72
" 日野第二 "	75
" 日野第三 "	78
" 日野第四 "	81
" 日野第五 "	84
" 日野第六 "	87
" 潤 徳 "	90
" 平 山 "	93
" 日野第八 "	96
" 百 草 台 "	99
" 滝 合 "	102
日野市市高幡台小学校	105
" 日野第七 "	108
" 南 平 "	111
" 程久保 "	114
" 旭が丘 "	117
" 平山台 "	120
" 東光寺 "	122
" 三沢台 "	124
" 仲 田 "	126
日野市立日野第一中学校	129
" 日野第二 "	131
" 七 生 "	134
" 日野第三 "	137
" 日野第四 "	140
" 三 沢 "	143
" 大 坂 上 "	146
" 平 山 "	149

平成 3 年 度

日野市教育委員会の教育目標と重点

教 育 目 標

教育基本法に基づき、生涯学習をふまえ、社会の変化に対応して主体的に判断し、行動できる市民の育成を目指し、次のことを目標にして日野市の教育・文化・スポーツの発展充実を図る。

1. 豊かな心、いきいきとした知識、健やかな体を培とともに、社会人としての徳性を涵養し、広く国際社会に生きる市民の育成に努める。
2. 各自のもつ個性と創造性を伸ばし、人間尊重の精神を身につけ、互いに励まし協力する態度を育てる。
3. 家庭教育、学校教育、社会教育の緊密な連携のもとに、青少年の健全な育成を進めるとともに、郷土愛を培い、地域の自然や文化を大切にする態度を育てる。

重 点

教育目標を達成するために、次のことを重点とする。

1. 学校教育における指導内容・方法の充実に努め、幼児・児童・生徒が自ら学ぶ力を養い、一人一人の個性や能力の伸長を図り、保護者の期待に応える教育を推進する。
2. 教育施設・設備の充実に努め、その有効な活用・保全を図り、市民への開放を推進する。
3. 公民館活動並びに図書館・ふるさと博物館の資料及びその機能の充実に努め、市民の学習機会の拡充を図る。
4. スポーツ活動における指導体制の充実並びに施設の有効活用に努め、市民の主体的な活動の推進を図る。

学校教育における指導の重点

日野市教育委員会は、先の教育目標を達成するため、次のことを学校教育において推進すべき課題として設定する。

＜人権尊重の教育の推進＞

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校のエ育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に、各学校においては、一人一人の児童・生徒の持つ個性と創造性を伸ばし、人権尊重の精神を培い、互いに励まし協力する態度を育てることが大切である。

＜社会性を育む教育の推進＞

児童・生徒を健全な社会人として育成するためには、郷土を愛する心を培い地域社会の一員として自覚を促し、地域社会の形成者としての資質を養うよう努めることが重要である。

特に、各学校においては、家庭・地域・関係諸機関との連携を一層深めるとともに、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることによって、地域に根ざした学校教育の推進に努め、地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培うことが大切である。

＜国際理解教育の推進＞

国際的な視野をもち、世界の平和に貢献できる市民を育成するためには、我が国と諸外国との生活や文化の違いを理解させ、これを尊重する態度の育成に努めることによって、進んで国際社会に参加・協力できる能力と態度を培うことが重要である。

各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して自国の文化や伝統についての理解を深めさせることが大切である。

各学校ではこれらの課題について、次のことを日常の教育における指導の重点として、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導体制を確立し、家庭・地域との連携を一層深め、開かれた学校としての教育経営を展開して、学校教育の一層の充実・向上に努めることが大切である。

＜学習指導の改善・充実＞

自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応できる児童・生徒を育成するためには、一人一人

の個性や能力を生かす指導の徹底を図り、学ぶことの楽しさや成就感を体得させることが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて体験的な活動を重視するなど指導内容・方法及び評価の改善を図り、児童・生徒が各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身に付け柔軟な思考力や創造力を育成するとともに、自ら学ぶ力を身につけさせ、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

- (1) 学習指導要領の改訂をふまえ、その趣旨を生かすための研究を深めるとともに、学校の創意を生かした教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 小集団による主体的・創造的な学習活動、チーム・ティーチングによる指導、体験的な学習活動、地域素材を生かした教育活動等の研究を推進するとともに、児童・生徒の学習課程に視点を置いた授業研を行う。
- (3) 全教育活動を通して生き方にかかわる教育を推進し、豊かな感性や自主性を涵養するとともに、好ましい人間関係の育成に努める。

＜生活指導・進路指導の充実＞

豊かな心をもち、たくましく生きる児童・生徒を育成するためには、個性を生かし、社会の一員としての自覚を高め、徳性を涵養し、自己実現を図る能力と態度を身につけさせることが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて児童・生徒が生き生きと意欲的に学校生活を送ることができるよう、一人一人の児童・生徒に対する理解を深め、保護者の要望を十分把握するとともに、教育相談を重視するなど全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

- (1) 家庭・地域・関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し人と人のかかわりを重視した指導の徹底に努め、児童・生徒の健全な育成を図る。
- (2) 学校経営の充実に努め、一人一人を生かす指導の徹底を図り、児童・生徒が互いに認め合い、励まし合い、助け合い、協力する態度を育てる。
- (3) 児童・生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身につけることができるよう指導内容・方法の改善に努める。
- (4) 児童・生徒の奉仕的な活動など社会活動への参加を一層促進する。

＜健康・安全指導の充実＞

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある学校生活を送ることができるようにするためには、児童・生徒の心と体の健康づくりに努めることが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて組織的・計画的に、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を徹底させ、自ら進んで健康の保持増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる

ことが必要である。

- (1) 児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身に付け、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう指導内容・方法を工夫し、体育活動の充実に努める。
- (2) 性にかかわる指導を組織的・計画的に行い、児童・生徒が人間の性に関しての理解を十分深め、成長過程における課題に適切に対応できるよう援助・指導をする。
- (3) 計画的・組織的に安全指導や安全管理を徹底し、事故防止に努める。

<心身障害教育の充実>

心身に障害のある児童・生徒一人一人の能力・適性を十分伸長するためには、教育環境の整備・充実に努めるとともに、指導内容・方法の改善充実に努めることが重要である。

各学校においては、次の点に重点を置いて心身障害教育の充実に努めるとともに、心身障害者への理解を深めることが大切である。

- (1) 心身障害教育について、児童・生徒・保護者並びに全教職員の理解を深める。
- (2) 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と指導内容・方法について創意工夫するとともに、児童・生徒の実態に応じた交流教育の推進に努める。
- (3) 家庭や地域社会、医療機関及び関係諸機関との連携を深めるとともに、継続的な教育相談活動を一層充実させる。

<幼児教育の充実>

幼児期は心身の発達が著しく、人格を形成する上で重要な時期であり、豊かな心、健やかな体を培うことが重要である。

各幼稚園においては、幼児の発達課題を適切にとらえ、次の点に重点を置いて指導内容・方法の改善充実に努めることが大切である。

- (1) 幼児の生活実態や心身の発達に基づき、指導計画と指導内容・方法の改善に努める。
- (2) 基本的生活習慣を身につけさせ、正しい社会的態度を育成し、豊かな情操を涵養するよう努める。
- (3) 地域の特性を生かし、多様な体験を通して豊かな感性を涵養する教育活動を充実する。
- (4) 家庭や地域社会、小学校、関係諸機関との連携を図り、幼児の健全な育成に努める。

※ 学校を、園・学校に、児童・生徒を、幼児・児童・生徒に読み代える。

平成3年度 東京都教育委員会の教育目標

東京都教育委員会は、人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな都民の育成を目指し、都民が生涯を通じて主体的に学ぶことのできる学習社会の実現を図り、もって普遍的で個性豊かな文化の創造・発展と豊かな社会の形成に貢献することを期して、次の視点を基本として教育を推進する。

1. 高齢化、情報化、国際化など社会の変化に伴う学習需要の増大に対応し、家庭教育、学校教育、社会教育を充実し、相互の緊密な連携を図り、都民の生涯にわたる教育を推進する。
2. 学校教育においては、自他の生命を尊び、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、社会連帯意識をもち、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる都民の育成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。
3. 社会教育においては、多様な教育機関と連携し、都民が、生涯を通じ、自らの課題に即して、あらゆる機会、あらゆる場を利用し、生活上、職業上の資質を高め、文化的教養を深め、スポーツに親しむことのできる生涯教育を推進する。

学校教育の課題と指導の重点

東京都教育委員会は、先の教育目標を達成するため、学校教育において推進すべき課題を明らかにし、そのために必要な、日常の教育における指導の重点を設定する。

各学校においては、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導体制を確立し、家庭や地域社会との連携を一層深め、開かれた学校としての教育経営を展開して、学校教育の一層の充実、向上に努めることが大切である。

（学校教育の課題）

○ 人間尊重の教育推進

日本国憲法の精神に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に、各学校においては、人権尊重の精神を培い、一人一人の児童・生徒の成長・発達と自己実現の達成を図る同和教育の推進に努める必要がある。

また、障害のある人に対する理解を深めるとともに、連帯感の育成に努めることが大切である。

さらに、人種、民族、性別等を異にすることによって、児童・生徒の人権が損なわれることのないよう十分配慮することが大切である。

○ 社会性を育む教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するためには、地域の人々や自然、文化との接触の機会を通して、地域社会の一員としての自覚を促し、郷土を愛する心を培い、地域社会の形成者としての資質を養うよう努めることが重要である。

特に、各学校においては、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることにより、自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培う必要がある。

また、地域社会をとりまく急速な情報化に対応するため、情報化のもたらす影響を十分考慮し、児童・生徒の発達段階に即して、情報を主体的に選択し、活用していく能力と態度を養うことが大切である。

さらに、学校のもつ教育機能や施設・設備を地域社会の人々に広く開放し、生涯学習・生涯スポーツの充実と振興を図るとともに、児童・生徒の奉仕的な活動など社会活動への参加を一層促進することが大切である。

○ 国際理解教育の推進

常に国際的な視野をもち、世界の平和と人類の幸福に貢献することのできる国民を育成するために

は、国際社会の中に生きる日本人としての自覚を促し、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を養うことが重要である。

特に、各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して自国の文化や伝統についての理解を一層深めさせる必要がある。

また、国際都市東京の実態に即し、国際的な交流の機会等を生かし、教育活動全体を通して、世界の人々の生活や文化に対する理解を深め、これらを尊重する態度を育成するとともに、国際協力に果たす個人や国家の役割を正しく認識させることが大切である。

（指導の重点）

○ 学習指導の改善・充実

自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応できる児童・生徒を育成するためには、一人一人の個性や能力を生かす指導の徹底を図り、学ぶことの楽しさや成就感を体得させることが重要である。

各学校においては、体験的な活動を重視するなど教育内容・方法及び評価の改善を図り、児童・生徒が各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、社会の変化に主体的に対応できるよう柔軟な思考力や豊かな創造力・表現力を育成するとともに、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

特に、学習が遅れがちな児童・生徒や心身に障害のある児童・生徒に対しては、一人一人の実態を適切に把握し、能力、適性が十分伸長されるよう指導の徹底に努めることが大切である。

○ 生活指導・進路指導の充実

豊かな心をもち、たくましく生きる児童・生徒を育成するためには、個性を生かし、社会の一員としての自覚を高め、自己実現を図る能力と態度を身に付けさせることが重要である。

各学校においては、児童・生徒が生き生きと意欲的に学校生活を送ることができるよう、一人一人の児童・生徒に対する理解を深め、保護者の要望を十分把握するとともに、教育相談を重視するなど全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

特に、生活指導については、家庭、地域社会及び関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し、人と人とのかかわりを重視した指導の徹底に努め、児童・生徒の健全な育成を図ることが大切である。

また、進路指導については、児童・生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身に付けることができるよう指導内容・方法の改善・充実に努めることが大切である。

○ 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある生活を送ることができるようにするためには、児童・生徒の健康づくりに努めることが重要である。

各学校においては、教育活動全体を通して、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を徹底して、自ら進んで健康の保持増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる必要がある。

特に、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身に付け、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう体育の充実を図る必要がある。

また、性にかかわる指導においては、人間の性に関する理解を十分深めさせ、成長過程に適切に対応できるよう援助・指導することが大切である。

さらに、体育活動や日常生活における事故及び交通事故の防止に努めるとともに、交通事故及び地震などの災害に対して、児童・生徒の安全を確保することが大切である。

（注）「児童・生徒」とは、幼児・児童・生徒をいう。

日野市教育委員会の学校訪問

1. 趣 旨

学校訪問は、教育委員、教育長、部長及び関係各課の室課長、指導主事が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接触れることを通して、①学校の当面する教育指導上の諸問題への対応、②学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況の把握、③日野市の全般的な教育活動を把握して、教育行政の参考にするとともに、各校の教職員との協議懇談を行い相互の理解を深め、日野市の教育内容・方法の充実・発展に資する。

(1) 市教委訪問 A

2年間に一度、教育長、学校教育部長、指導室長、各課長及び指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容充実のため協議する。

①概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況 ④諸帳簿閲覧 ⑤協議・懇談等も含む。

尚、教育委員も時間のゆるす範囲で、教職員との協議に出席し懇談する。

(2) 市教委訪問 B

年間に A 訪問のない学校に、指導主事が訪問する。

①学級経営 ②教科・道徳・特活の指導 ③授業研究 ④生活指導等を含む。

(3) 要請訪問（一般訪問）

各学校（園）の要請に応じ、東京都教育委員会指導主事が訪問し指導・助言する。

2. 訪問日程

№	幼稚園名	A 訪 問	B・都一般訪問
1	第一幼稚園	5 月 20 日	
2	第二幼稚園		5 月 29 日（一般訪問）
3	第三幼稚園	5 月 8 日	
4	第四幼稚園		2 月 5 日（一般訪問）
5	第五幼稚園	6 月 3 日	
6	第六幼稚園		6 月 19 日（一般訪問）
7	第七幼稚園	5 月 27 日	

№	小 学 校 名	A 訪 問	B・都一般訪問
1	日 野 第 一 小 学 校	10 月 28 日	
2	日 野 第 二 小 学 校		1 月 29 日 (一般訪問)
3	日 野 第 三 小 学 校	10 月 9 日	
4	日 野 第 四 小 学 校		10 月 30 日
5	日 野 第 五 小 学 校	11 月 26 日	
6	日 野 第 六 小 学 校	7 月 11 日	
7	潤 徳 小 学 校	10 月 14 日	
8	平 山 小 学 校		10 月 11 日
9	日 野 第 八 小 学 校	11 月 29 日	
10	百 草 台 小 学 校	1 月 28 日	
11	滝 合 小 学 校		2 月 26 日
12	高 幡 台 小 学 校		7 月 1 日
13	日 野 第 七 小 学 校	11 月 1 日	
14	南 平 小 学 校		11 月 27 日
15	程 久 保 小 学 校	7 月 3 日	
16	旭 が 丘 小 学 校	1 月 16 日	
17	平 山 台 小 学 校		11 月 28 日
18	東 光 寺 小 学 校	1 月 20 日	
19	三 沢 台 小 学 校		6 月 5 日 (一般訪問)
20	仲 田 小 学 校		5 月 22 日 (一般訪問)

№	中 学 校 名	A 訪 問	B・都一般訪問
1	日 野 第 一 中 学 校		9 月 18 日 (一般訪問)
2	日 野 第 二 中 学 校		6 月 17 日
3	七 生 中 学 校	2 月 7 日	
4	日 野 第 三 中 学 校		11 月 20 日
5	日 野 第 四 中 学 校		10 月 2 日
6	三 沢 中 学 校	11 月 21 日	
7	大 坂 上 中 学 校		1 月 29 日 (一般訪問)
8	平 山 中 学 校	10 月 21 日	

日野市教育委員会指導室の年間事業計画

A 主任会・委員会等

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任会	教務主任の立場から円滑な学校運営の在り方について研修するとともに、当面する教育課題について研究協議し自校の教育活動の改善・充実に役立てる。	・教務主任の職務 ・円滑な学校運営を図る教務主任の在り方 ・当面する教育課題	市役所 又は 研究資料室	教務主任
生活指導主任会	生活指導についての共通理解を深め、それぞれの学校における生活指導上の問題を解決するため情報交換と研修を行う。	・生活指導上の臨床的対策 ・学校生活に喜びを感じ、能力を十分に生かす生活指導の在り方	市役所 又は 研究資料室	生活指導主任
中学校生活指導主任会	中学校の生活指導及び学校間の協力体制を推進し、生活指導の充実を図る。	・先生と生徒、生徒間の人間関係の在り方 ・学校生活に生きがいを感じる生活指導の確立	市役所 又は 学校	中学校生活指導主任
保健主任会	心身ともに健全な児童・生徒の育成を図るための保健教育の在り方について研究し、健康・安全教育の推進について研究する。	・学校保健の在り方 ・保健指導の実態と望ましい在り方 ・分科会研究 ・研究発表	市役所 又は 研究資料室	保健主任

名 称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
進路指導主任会	中学校の進路指導の基本的な在り方について研修するとともに、進路情報を交換する。	・ 全校的な指導体制の確立 ・ 進路指導上の問題点の整理と検討 ○ 進路指導の全体計画 ○ 各学年の指導の重点 ○ 進路指導を推進するための組織運営 ○ 指導資料	市役所 又は 学 校	進路指導主任
社会科副読本改訂委員会	小学校社会科副読本「わたしたちの日野」、中学校社会科副読本「のびゆく日野」の改訂を行う。	・ 日野市小・中学校社会科副読本の改訂	市役所 又は 学 校	委 員
就学相談委員会	心身に障害をもつ幼児・児童・生徒の障害及び発達に応じた適切な教育措置を行う。	・ 東京都教育委員会、教育相談所及び児童相談所等との連絡と就学に関する継続相談 ・ 各種専門家による就学相談	学 校 又は 幼稚園	就教育指導委員
授業研究委託	幼児・児童・生徒の実態に応じ、個々の能力を生かす指導法を改善するため授業研究を行う。	・ 各小・中学校に授業研究委託費を支給 ・ 授業記録（３事例）の提出 ・ 研究授業の公開	各学校	小・中学校

名 称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
教 育 ケー ス 会 談 相 談	事例研究を通して、望ましい教育相談技術策を探る。	・ 事例研究	研 究 資 料 室	教 育 相 談 員
体 育 主 任 会	児童の健康・運動能力の実態を把握し、その増進を図るための具体的方策を考え、学校教育活動全体を通した体育指導の実践化と生活化を図る。	・ 体位・体力向上をめざした学校教育活動全体の検討 ・ 体育科の教科指導の充実を図る研究・研修 ・ 「体力づくりの日」の効果的実践	市役所 又は 学 校	体 育 主 任
教 育 課 程 作 成 委 員 会 編 成 資	教育課程の推進にかかわる指導の手引及び教育内容の充実を図るための資料を作成する。	・ 教育課程を推進するための指導の手引及び資料作成	市役所 又は 学 校	作 成 委 員
「編 集 ま ど 委 員 会」	教育委員会と学校とを結ぶ機関紙を発行する。	・ 「まどべ」の企画、原稿依頼、編集、校正	学 校	作 成 委 員
音 運 楽 鑑 賞 委 員 会 教 室 会	音楽鑑賞教育で優れた音楽を鑑賞させることにより、情操を養い、正しい鑑賞マナーを身につけさせる。	・ 音楽鑑賞教育の企画、連絡、調整	市役所 及び市 民会館	運 営 委 員
水 運 泳 記 録 委 員 会 会	水泳記録会で、児童・生徒が日ごろの学習の成果を競い、体力の向上を図るとともに、学校間の交流を図る。	・ 水泳記録会の企画、連絡、調整、運営	市役所 及び 現 地	運 営 委 員

名 称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
日 運 光 営 移 委 動 員 教 会 室 会	日光移動教室を連合で行うに 際し、円滑な運営が行われるよ う連絡、調整にあたる。	・ 日光移動教室の企画、実地踏 査、連絡、調整、運営	市役所 及び 現 地	運 営 委 員
人 推 権 進 尊 委 重 員 教 会 育 会	人権尊重教育の推進の方法に ついて検討し、学校における人 権尊重教育の在り方について連 絡協議する。	・ 人権尊重教育の推進方法の協 議 ・ 研修会の開催及び人権尊重教 育推進校の成果の活用	市役所 又は 学 校	推 進 委 員 会
国 推 際 進 理 委 解 員 教 会 育 会	国際理解教育の推進の方法に ついて研究、協議し、日野市の 実態に応じた国際理解教育の在 り方について連絡協議する。	・ 帰国子女教育の推進の方法を 協議 ・ 国際理解教育の在り方につい ての研究	市役所 又は 学 校	推 進 委 員 会
き 委 れ い な ま ま 員 ち 会 づ 会 くり	「緑と清流・日野市」をめざ し、具体的な事例・資料を収集 して副読本を作成し、単なる知 識のみでなく具体的な活動を通 して地域社会の一員であること の自覚を高めるための資料づく りのための研究・協議を行う。	・ 資料作成のための企画・立案 ・ 活用のための具体策の検討	市役所 又は 学 校	推 進 委 員 会
情 推 報 進 教 委 育 員 会 会	社会の情報化への対応をめざ し、学校教育でのコンピュータ 活用について研究、協議する。	・ 学校におけるコンピュータの 活用について協議 ・ 教育方法としてのコンピュ ータの活用について研究	市役所 又は 学 校	推 進 委 員 会

B 宿泊研修会（一日研修を含む）

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任宿泊研修会	児童・生徒の実態と地域に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地域を参観したり、情報交換等をととしての資質を高める。	・教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導 ・学級指導を実践している学校の参観 ・研究協議	小田原市	教務主任
生活指導主任会	児童・生徒の実態を把握し、生活指導の充実を図るため他地域の学校を参観し、情報交換をととして生活指導主任の資質を高める。	・他域の学校の生活指導組織とその実践について学ぶ ・研究協議	小田原市	生活指導主任
進路指導主任会	全校的な指導体制の強化・充実を図るため、他地域を参観し情報交換をととして進路指導主任の資質を高める。	・進路指導の指導計画並び指導組織とその実践 ・研究協議	小田原市	進路指導主任
初任者・新採用教員会	一学期の教職経験を話し合い指導上の課題について協力して解決し教職の専門性を高める。	・講話「児童・生徒理解の方法と生活指導」 ・研究討議「一学期の反省と指導上の問題点」 ・自然観察の指導 「動物・植物・星・川」	山梨県清里他	新規採用教諭

C 研 修 会 (A)

№	研 修 会 名	回数	主 題	期 日 (曜)
1	学 校 経 営 研 修 会	1	生涯学習の視点に立った学校経営	4月15日(月)
2	〃	2	学校経営上の今日的課題と教育の活性化	5月16日(木)
3	〃	3	新教育課程の趣旨を生かす学校経営	6月11日(火)
4	〃	4	教育目標の具現化を図る工夫	6月20日(木)
5	〃	5	教職員のモラルを高める学校経営	7月 5日(金)
6	〃	6	人間関係の円滑化を図る校内研修・研究	7月15日(月)
7	教 職 専 門 研 修 会	1	社会性を育む教育の推進	5月13日(月)
8	〃	2	情報化社会における教育の課題と対応	6月13日(木)
9	〃	3	開かれた学校と教育課程の編成と実施	11月14日(木)
10	教 育 課 題 研 修 会	1	社会の変化に主体的に対応する子供の教育	4月23日(火)
11	〃	2	男女平等教育の課題と実践	5月28日(火)
12	〃	3	消費者教育の課題と実践	6月18日(火)
13	〃	4	特別の配慮を必要とする子供の指導	7月 4日(木)
14	〃	5	子供の人権を尊重する学級・学年経営	7月22日(月)
15	〃	6	国際理解教育の課題と実践	8月27日(火)
16	学 習 指 導 法 研 修 会	1	学級・学年経営と学級活動	5月24日(金)
17	〃	2	教育機器の活用と指導法の工夫・改善	6月 6日(木)
18	〃	3	生活指導上の課題とその対応	7月12日(金)
19	〃	4	個人差に応じる指導の実際	7月29日(月)
20	〃	5	道徳教育の考え方・進め方	8月26日(月)
21	〃	6	地域の素材を生かした教育の実際	9月 6日(金)

研修時間は原則として午後２時から４時までです。

講	師	会 場	備 考
帝京大学教授	亀井 浩明	研究資料室	
東京女子体育短期大学教授	尾木 和英	研究資料室	
東京都多摩教育事務所指導課長	宮本 政明	研究資料室	
前日野市立南平小学校長	石井 三士	研究資料室	
東京都世田谷区立奥沢小学校長	押上 武文	研究資料室	
元東京都中野区立第十中学校長	磯西 和	研究資料室	
警視庁立川少年センター	矢澤由美子	市役所505 会議室	
日野市教育委員長職務代理	小松 恒夫	研究資料室	
東京都新宿区立西戸山中学校長	佐野 金吾	市役所505会議室	
東京都多摩教育事務所指導課指導主事	有村 久春	研究資料室	
三鷹市教育委員会指導主事	今村 久二	研究資料室	
日野市消費生活相談員	宗 昌枝	研究資料室	
東大和市教育委員会指導主事	芳賀 明子	研究資料室	
東京都教育庁指導部指導企画課指導主事	土戸 幸雄 山田 佳子	研究資料室	
東京都町田市立真光寺中学校長	津田 知充	市役所504会議室	(午前9:30～11:30)
多摩教育事務所西多摩支所指導主事	佐藤 正吉	研究資料室	
東京都立多摩教育研究所指導主事	清水 満久	多摩教育研究所	
多摩教育事務所西多摩支所指導主事	本村 清人	研究資料室	
東京都江東区深川第二中学校長	秋山 玄	市役所504会議室	(午前9:30～11:30)
東京都文京区立第七中学校長	久川 茂夫	市役所504会議室	
東京都新宿区立戸塚第一小学校長	井沢 祐一	研究資料室	

D 研 修 会 (B)

№	研 修 会 名	回数	主 題	期 日 (曜)
1	教 育 相 談 研 修 会	1	教育活動としての教育相談	4月19日(金)
2	〃	2	精神医学からみた子供の境界例	5月20日(月)
3	〃	3	教師と児童・生徒との心の交流	6月 7日(金)
4	〃	4	教育相談演習	6月17日(月)
5	〃	5	事例研究の意義と進め方	7月11日(木)
6	〃	6	学校教育相談の役割と課題	9月19日(木)
7	一二年次教頭実務研修会	1	教頭の職務内容と期待される取組み	4月22日(月)
8	〃	2	組織を生かした学校経営	6月10日(月)
9	〃	3	効率的な文書処理と情報処理	10月15日(火)
10	学 校 保 健 研 修 会	1	子供の病気新時代	12月19日(木)
11	〃	2	人権尊重教育と学校保健	1月17日(金)
12	〃	3	生涯にわたる健康づくりの基礎を培うための歯科保健	2月 7日(金)
13	幼 児 教 育 研 修 会	1	遊びの見方と理解の仕方	4月16日(火)
14	〃	2	絵本の役目と読みきかせ(実技)	5月30日(木)
15	〃	3	表現遊び(ゴッコ遊び)指導の実際(実技)	6月25日(火)
16	各 種 実 技 研 修 会	1	運動会用リズム表現の方法 (I)	7月26日(金)
17	〃	2	運動会用リズム表現の方法 (II)	7月27日(土)
18	〃	3	陶芸教室 (I)	7月24日(水)
19	〃	4	陶芸教室 (II) ・仕上げ	8月30日(金)
20	〃	5	新しい人体内容をどう指導したらよいか	10月 7日(月)
21	〃	6	キャンプファイヤー・レクリエーションの上手なさせ方	5月23日(木)
22	〃	7	水泳指導基本のポイント	7月10日(水)
23	〃	8	昆虫の生態観察とその飼養(現地研修)	7月 9日(火)
24	〃	9	竹細工を中心とした伝統工芸	12月 9日(月)
25	生 涯 学 習 研 修 会	1	動物の子育てに学ぶ	10月22日(火)
26	〃	2	家庭のできる性教育	10月25日(金)
27	〃	3	少年少女非行の実態とその防止	10月30日(火)
28	〃	4	子どもを本好きにさせる方法と読書	11月 7日(木)
29	〃	5	高齢化社会と特別養護老人ホーム 浅川苑	11月18日(月)
30	〃	6	親の願いと現代子ども気質	11月26日(火)

研修時間は原則として２時から４時までです。

講	師	会 場	備 考
東京学芸大学教授	福島 脩美	教職員研究資料室	
東京都立梅丘病院医師	海老島 宏	〃	
日本女子体育大学教授	石川 尚子	〃	
東京都立多摩教育研究所指導主事	佐藤 昇	〃	
清瀬市教育相談員	山崎 洋史	〃	
学芸大学助教授	佐野 秀樹	〃	
元日野市立日野第三小学校長	古田 耿介	〃	
元日野市立七生中学校長	山本 保	〃	
元日野市立高幡台小学校長	津野田昭二	〃	
国立立川共済病院小児科部長	甲賀 正聡	〃	
東京都立教育研究所指導主事	高田 公子	〃	
都教育庁体育部保健給食課主査	石井 直美	〃	
元文京区立第一幼稚園長	前田美知子	〃	
福音館出版KK	中川りえ子	〃	
元江東区すみれ幼稚園長	田中 和子	〃	(午前9:30～11:30)
町田市立相原小学校教諭 府中市立武蔵台小学校教諭	伊藤 孝司 長津 芳	潤 徳 小 体 育 館	午前9:30～午後3:00
〃	〃	〃	〃
日野市立日野第五小学校教諭 日野市立南平小学校教諭	北野 義昭 秋葉 榮一	日野第五小図工室	午前9:30～午後3:00
〃	〃	〃	〃
聖徳学園短期大学講師	小川 格	教職員研究資料室	
町田市立相原小学校教諭 府中市立武蔵台小学校教諭	伊藤 孝司 長津 芳	〃	
日野市立日野第一小学校教諭 長門 彰 日野市立潤徳小学校教諭 山本和也	日野市立滝合小学校教諭 林 亀三 日野市立仲田小学校教諭 吉田 健	市内小学校プール	市教研と共催
多摩動物公園昆虫館係長 日野市立南平小学校教諭	野本 浩司 大田由起夫	多摩動物公園	
元日野市立日野第四中学校長	立川 泰司	研究資料室	
前多摩動物公園々長	矢島 稔	〃	対象：父母・市民
東京都立国分寺高等学校長	内藤 隆	教職員研究資料室	〃
八王子家庭裁判所調査官		〃	〃
埼玉大学講師・教育評論家	光永 久夫	〃	〃
老人ホーム浅川苑苑長	土村 一	老人ホーム浅川苑	〃
東京学芸大学教授	福島 脩美	教職員研究資料室	〃

日野市教育委員会指導室関係及び幼・小・中学校行事予定表

4 月

△午前、○午後、□全日、A=A訪問、B=B訪問、㊦=一般訪問

日	曜	市	都
1	月	○校長辞令伝達式	
2	火	△校長会(七小)	
3	水	□初任者研修(507)	
4	木	○自然体験広場検討委員会(仲田公園)	
5	金	(春季休業日終)	
6	土	△小学校始業式・入学式 △中学校始業式	
7	㊦		
8	月	△園長会 △中学校入学式	
9	火		
10	水	△幼稚園入園式	△学校訪問協議会(都研) ○都市指導主事会・二地区会(多摩)
11	木		□都市指導主事会定例会(日野)
12	金	○中学校環境副読本作成(507)	
13	土		
14	㊦		
15	月	○生活指導主任会(505) ○学校経営研修会(研資)	
16	火	○情報教育推進委員会(507) ○体育主任会(504)	
17	水	○小・中学校教育研究会	△指導主事連絡協議会(都研)
18	木	○辞令伝達式(505)	□新任指導主事研修会
19	金	△教頭会(505) ○進路指導主任会(507)	□新任指導主事研修会
20	土		
21	㊦		
22	月	○国際理解教育推進委員会(507) ○初任者研修実施協議会(503)	
23	火	○心身障害教育推進協議会 ○教育課題研修(研修)	△生活指導担当指導主事連・協(都研)
24	水		△体育・保健・給食担当指導主事連・協
25	木	○教務主任会(504) ○社会科副読本作成(505)	△多摩地区指導主事連・協(多摩研)
26	金	○保健主任会(504) ○初任者研修(503)	△都市指導主事会定例会(国立)
27	土		
28	㊦		
29	㊦	みどりの日	
30	火	△人権尊重教育推進委・役員会(507) ○授業改善委員会(507) ○教育相談ケース会議(研資)	
20日		㊦ 研究員総会	

5 月

日	曜	市	都
1	水		△都市指導主事会・二地区会（日野）
2	木		
3	金	憲法記念日	
4	土	休 日	
5	日	子どもの日	
6	月	休 日	
7	火	△校長会（505,507） ○体育主任会 ○心障教育推進委員会	△消費教育推進委員会（都研）
8	水	A訪問（三幼）	△同和教育指導推進委（都研）
9	木	□日光移動教室実踏 △園長会	△都市指導主事会（東大和）
10	金	□（ ” ）	○小学校教育課程説明会（都研）
11	土		
12	日		
13	月	○生活指導主任会（504） ○教職専門研修（研資）	
14	火	○小・教科書採択委員会（505）	△男女平等教育推進委（都研）
15	水	○小・中学校教育研究会・総会	
16	木	○学校経営研修（研資）	□区市指導主事研究会議（都研）
17	金	△教頭会（505） ○進路指導主任会（507）	□区市指導主事研究会議（都研）
18	土		△新任指導主事研修会
19	日		
20	月	A訪問（一幼）	
21	火	○授業改善委員会（507）（研究奨励受給者連絡会）	△心障教育担当指導主事連・協（都研）
22	水	△訪問（仲田小）	
23	木	○教務主任会（504） ○相談学級運営・協（資料室）	△都市指導主事会定例会（武蔵野）
24	金	○初任者研修・学習指導法研修（503） ○人権尊重教育（507）	△幼稚園担当指導主事連・協（都研） △在日外国人児童・生徒教育連・協（都研）
25	土		
26	日		
27	月	A訪問（七幼）	
28	火	○教育課題研修（研資）（○学校図書館連絡協議会）	○多摩地区健全育成行政連（多摩研）
29	水	△訪問（一幼）	
30	木	○教育課程編成資料作成（505）	△国際理解教育推進委（都研）
31	金	○保協主任会（504） □宿泊研修（生活指導主任）	
24日		6/1 ” （ ” ）	

6 月

日	曜	市	都
1	土	□宿泊研修（生活指導主任）	
2	⑩		
3	月	A訪問（五幼）	
4	火	△校長会（505,507） ○体育主任会（505） ○情報教育推進委員会（507）	
5	水	㊥訪問（三沢台）	
6	木	○国際理解教育推進委（507） △園長会 ○学習指導法研修（研資）	△都市指導主事会・二地区会（八王子）
7	金	□宿泊研修（教務主任会）	
8	土	□ “ （ “ ）	
9	⑩		
10	月	○生活指導主任会（505）	
11	火	○心障教育推進協議会 ○学校経営研修（研資）	
12	水	○小・中学校教育研究会	
13	木	○教職専門研修（研資）	△初任者研修担当指主連・協（都研） △生活指導担当指主連・協（都研）
14	金	△教頭会（505） ○初任者研修（507）	△新任指導主事研修
15	土		△都市指導主事会定例会（秋川）
16	⑩		
17	月	B訪問（二中）	
18	火	○授業改善委員会（507） ○教育課題研修（研資）	
19	水	○（小教研バレーボール大会） ㊥訪問（六幼）	
20	木	○教育相談ケース会議（研資） ○学校経営研修（研資）	
21	金	○人権尊重教育推進委員会（507） □宿泊研修（進路指導主任）	
22	土	□ “ （ “ ）	
23	⑩		
24	月	○中学校生活指導主任会（507） ├─日光移動教室(I)	
25	火	├─○相談学級運営協（研資）	
26	水	├─日光移動教室(II)	
27	木		△在日外国人児童・生徒教育連・協（都研）
28	金	├─日光移動教室(III)	
29	土		
30	⑩	├─日光移動教室(IV)	
25日		1/2 まで	

7 月

日	曜	市	都
1	月	^{6/30} B 訪問（高幡台）	
2	火	↓ 日光移動教室・終	△男女平等教育推移（都研） ○小学校教育課程説明会（都研）
3	水	A 訪問（程久保）	
4	木	○教務主任会（504） △園長会 ○教育課題研修（研資）	△都市指導主事会・定例会（稲城）
5	金	○進路指導主任会（507） ○学校経営研修会（研資）	△指導主事連絡協議会（都研）
6	土		△都市指導主事会・二地区会
7	㊥		
8	月	○生活指導主任会（504）	
9	火	△校長会（505, 507） ○体育主任会（505） ○心障教育推進協議会	△中学校教育課程説明会（都研）
10	水	○小・中学校教育研究会	
11	木	A 訪問（六小）	
12	金	○保健主任会（504） ○初任者研修・学習指導法研修（資料室）	
13	土		
14	㊥		
15	月	○学校経営研修（研資） ○中学校生活指導主任会（507）	△同和教育指導推進委（都研）
16	火	△教頭会（505） ○授業改善委員会（507） ○教育相談ケース会議（研資）	△在日外国人児童・生徒教育連・協（都研）
17	水		□新任指導主事研修
18	木	○初任者研修実施協議会（507）	□新任指導主事研修
19	金		△都市指導主事会定例会（町田）
20	土	△ 終業式	
21	㊥	（夏季休業日始）	
22	月	○教育課題研修（101）	
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	㊥		
29	月	△学習指導法研修（504） □初任者研修（506）	
30	火	□宿泊研修（初任者研修）	
31	水	” （ ” ）	
18日		^{8/2} まで	

8 月

日	曜	7/30	市	都
1	木			
2	金	☐ 宿泊研修（初任者研修）		
3	土			
4	㊥			
5	月			
6	火			
7	水			
8	木	☐ 教頭一日研修		
9	金			
10	土			
11	㊥			
12	月			
13	火			
14	水			
15	木			
16	金			
17	土			
18	㊥			☐ 小・研究員（御岳研修）
19	月			
20	火			☐ 中・研究員（御岳研修）
21	水			
22	木			☐
23	金			
24	土			
25	㊥			
26	月	△学習指導法研修（504） ☐ 初任者研修（506）		
27	火	○教育課題研修（504） ☐ 初任者研修（506）		
28	水			
29	木			
30	金			
31	土	（夏季休業日終）		
0日				

9 月

日	曜	市	都
1	㊥	(防災の日)	
2	月	△始業式	
3	火	△校長会(505, 507) ○水泳記録会(中)	△多摩地区指導主事連・協(多摩研)
4	水	○水泳記録会(小・北)	△学校訪問協議会(都研)
5	木	△園長会 ○水泳記録会(小・南)	△都市指導主事会・二地区会(稲城)
6	金	○人権尊重教育推進委(507) ○初任者研修 ○学習指導法研(研資)	△消費者教育推進委(都研)
7	土		△都市指導主事会・定例会(武蔵村山)
8	㊥		
9	月	○生活指導主任会(504)	
10	火	○体育主任会(505) ○相談学級運営・協(研資)	△同和教育指導推進委(都研)
11	水	○小・中学校教育研究会	
12	木	○教務主任会(504)	△男女平等教育課程説明会(都研)
13	金	△教頭会(505)	○中学校教育課程説明会(都研)
14	土		
15	㊥	敬老の日	
16	㊥	休 日	
17	火	○授業改善委員会(507) ○国際理解教育推進委(503)	
18	水	㊤ 訪問(一中)	
19	木		
20	金	○保健主任会(504) ○進路指導主任会(507)	△心障担当指導主事連・協(都研) △体育・保健・給食担当主(都研)
21	土		
22	㊥		
23	㊥	秋分の日	
24	火		△生活指導担当指導主事連・協(都研) ○幼・小教育課程説明会(都研)
25	水		
26	木		△幼稚園担当指導主事連・協(都研) △在日外国人児童・生徒教育連(都研)
27	金		△中・教育課程説明会(都研)
28	土		□指導主事管外研修(大橋)
29	㊥		
30	月	○中学校生活指導主任会(中)	
23日			

10月

日	曜	市	都
1	㊦	(都民の日)	△都市指導主事会・二地区会(町田)
2	水	㊦(四中)	
3	木		□指導主事管外研修(宮川)
4	金	○保健主任会(504)	
5	土		
6	㊦		
7	月	○生活指導主任会(504)	△国際理解教育推進委(都研)
8	火	○校長会(505, 507)	△都市指導主事会定例会(小金井)
9	水	A訪問(三小)	
10	㊦	体育の日	
11	金	B訪問(平山小)	
12	土		
13	㊦		
14	月	A訪問(潤徳小)	
15	火	△園長会	
16	水	○秋季総合体育大会	
17	木	○ ○教務主任会(504) (予備日)	○多摩地区健全育成行政連(多摩研)
18	金	△教頭会(505) ○初任者研修(507)	△初任者研修担当指導主事連(都研)
19	土	○就学相談	
20	㊦		
21	月	A訪問(平山中)	
22	火	○陸上記録会(I)	
23	水	○陸上記録会(II)	
24	木	○陸上記録会(III)	△都市指導主事会定例会(田無)
25	金	○陸上記録会(IV)	
26	土		
27	㊦		
28	月	(○中学校生活指導主任会)(507) A訪問(一小)	
29	火	□音楽鑑賞教室(I)	○国際理解教育シンポ(都研)
30	水	㊦(四小) □音楽鑑賞教室(II)	
31	木	□音楽鑑賞教室(III)	△在日外国人児童・生徒教育連・協(都研) □同和教育指導推進委(宿泊研)
25日			㊦

11 月

日	曜	市	都
1	金	A訪問（七小）	□同和教育指導推進委（日野）
2	土		△都市指導主事会・二地区会（日野）
3	㊥	文化の日	
4	㊦	休 日	
5	火	△校長会（505,507） ○体育主任会（505） ○情報教育推進委（507）	
6	水		
7	木	△園長会	△都市指導主事会定例会（東村山）
8	金	○人権尊重教育推進委（507） ○初任者研修（503）	△在日外国人児童・生徒教育（都研）
9	土		
10	㊥		
11	月	○生活指導主任会（505）	
12	火	○授業改善委員会（507） ○国際理解教育推進委（503）	△心障教育担当指主連・協（都研）
13	水	○小・中教育研究会	
14	木	○教務主任会（504） ○教職専門研修（研資）	△男女平等教育推進委（都研）
15	金	○保健主任会（504） ○進路指導主任会（507）	△生活指導担当指導主事連・協（都研）
16	土	○就学相談	
17	㊥		
18	月		
19	火	○心障教育推進協議会 ○教育相談ケース会議（研資）	
20	水	B訪問（三中）	
21	木	A訪問（三沢中）	○健全育成シンボ（都研）
22	金	△教頭会（505） ○相談学級運営協（研資）	
23	㊧	勤労感謝の日	
24	㊥		
25	月	○中学校生活指導主任会（507）	
26	火	A訪問（五小）	
27	水	B訪問（南平小）	
28	木	B訪問（平山小）	
29	金	A訪問（八小）	
30	土	○就学相談	△都市指導主事会定例会（福生）
24日			

12 月

日	曜	市	都
1	㊥		
2	月	○生活指導主任会(504)	
3	火	△校長会(505, 507) ○体育主任会(505) ○情報教育推進委員会(507)	
4	水	○小・中学校教育研究会	
5	木	△園長会	△都市指導主事会・二地区会(多摩)
6	金	○人権尊重教育推進委(507) ○初任者研修(502)	
7	土	○就学相談	↑ 図工展 ↓
8	㊥		
9	月		
10	火	○心障教育推進協議会 ○学校図書館連協議会	
11	水		
12	木	○教務主任会(504) ○相談学級運営協(研資)	
13	金	△教頭会(505) ○保健主任会(505) ④進路指導主任会(507)	
14	土		
15	㊥		
16	月	○中学校生活指導主任会(507)	
17	火	○授業改善委員会(507) ○教育相談ケース会議(研資)	
18	水		△指導主事連絡協議会()
19	木		○都市指導主事会(立川)
20	金	○初任者研修実施協議会(507)	△同和教育指導推進委員会()
21	土		
22	㊥		
23	㊦	天皇誕生日	
24	火		
25	水	△終業式	
26	木	(冬季休業日始)	
27	金		
28	土		
29	㊥		
30	月		
31	火		
20日			

1 月

日	曜	市	都
1	㊥	元 旦	
2	木		
3	金		
4	土		
5	㊦		
6	月		
7	火	(冬季休業日終)	△都市指導主事会定例会(清瀬)
8	水	△園長会 △始業式	○都市指導主事会・二地会(稲城)
9	木	△校長会(505, 507) ○心障教育推進協議会	
10	金	○人権尊重教育推進委(507) ○初任者研修(503)	△在日外国人児童・生徒教育連(都研)
11	土		
12	㊦		
13	月	○生活指導主任会(504)	
14	火	○体育主任会(504)	△幼・小・中教育課程届説明会(都研) ○幼稚園担当指導主事連・協(都研)
15	㊥	成人の日	
16	木	A訪問(旭が丘小)	
17	金	○保健主任会(七小) ○進路指導主任会	(成績一覧表審査会)
18	土		↑ 書初展 ↓
19	㊦		
20	月	A訪問(東光寺小)	
21	火	△教頭会(505) ○授業改善委(507) ○国際理解教育推進委(503)	
22	水	○小・中教育研究会	
23	木	○教務主任会(504)	△都市指導主事会定例会(八王子)
24	金	□宿泊研修(初任者研修)	
25	土	□ " (")	
26	㊦		
27	月	○中学校生活指導主任会(507)	
28	火	A訪問(百草台)	△男女平等教育推進委(都研)
29	水	㊤訪問(二小) ㊤訪問(大坂上中)	
30	木		△心障教育担当指導主事連・協(都研)
31	金		△都市指導主事会・二地区会(八王子) ○多摩地区生活指導研究・協(多摩研)
20 日			

2 月

日	曜	市	都
1	土		△都市指導主事会定例会（多摩市）
2	日		
3	月	○生活指導主任会（504）	△消費者教育推進委（都研）
4	火	△校長会（505, 507） ○情報教育推進委（507） ○心障教育推進協（ ）	
5	水	□教頭一日研修 [B]（四幼）	
6	木	○卓球大会（小）	△国際理解教育推進委（都研）
7	金	A訪問（七生中）	
8	土		
9	日		
10	月	○国際理解教育推進委（507）	△体育・保健・給食担当主連・協（都研）
11	火	建国記念の日	
12	水	△園長会	
13	木	○教務主任会（505）（教育課程届説明会）	
14	金	○保健主任会（504）	△生活指導担当指導主事連・協（都研） △初任者研修担当指導主事連（都研）
15	土		
16	日		
17	月		
18	火	○授業改善委員会（507） ○教育相談ケース会議（研資）	
19	水	○小学校教育研究会発表会	△学校訪問協議会（都研）
20	木	○初任者研修実施協議会（507）	△在日外国人児童・生徒教育連（都研）
21	金	△教頭会（505） ○初任者研修（503） ○人権尊重教育推進委（507）	△都市指導主事会（昭島）
22	土		
23	日		
24	月	○中学校生活指導主任会（507）	△同和教育指導推進委（都研）
25	火	○学校図書館連・協（505）	
26	水	B訪問（滝合小）	
27	木		
28	金		
29	土		
24日			

3 月

日	曜	市	都
1	㊥		
2	月	○生活指導主任会(504)	
3	火	△校長会(505,507) ○体育主任会(505) ○情報教育推進会(507)	
4	水	○小・中学校教育研究会	
5	木	△園長会 ○相談学級運営委(研資)	
6	金	○初任者研修(507)	△指導主事連絡・協議会(都研)
7	土		△都市指導主事会定例会(府中)
8	㊥		
9	月		△都市指導主事会・二地区会(町田)
10	火	○授業改善委員会(507) ○心障教育推進協議会	
11	水	○小学校教育研究会	
12	木	○教務主任会(504)	
13	金	○教頭会(505) ○保健主任会(505) ○進路指導主任会(507)	
14	土		
15	㊥		
16	月	○中学校生活指導主任会(507)	
17	火	△幼稚園修了式	△都市指導主事会定例会(青梅)
18	水		
19	木	△中学校卒業式	
20	㊤	春分の日	
21	土		
22	㊥		
23	月		
24	火	△小学校修了式	
25	水	△小学校卒業式 △中学校修了式	
26	木	(春季休業日始) △初任者研修(507)	
27	金		
28	土		
29	㊥		
30	月		
31	火		
243日 中3—236 20日			

日野市教育相談室

設置の趣旨

日野市に在住する幼児・児童・生徒（高校生を含む）及びその保護者を対象とする教育相談に応ずる。
また、学校の行う教育相談への協力・援助を行い、教育相談活動の促進と充実を図る。

○ 一般教育相談

幼児・児童・生徒の学習、性格、行動、性癖、進路適性等についての相談に応じ、治療や助言・援助を行う。

○ 心身障害教育相談

心身に障害をもつ幼児・児童・生徒についての相談に応じ、障害の種類や程度及び発達の状況の把握に努め、一人一人の能力を十分に伸長させるために就学相談及び教育措置に関する相談を行う。

○ 学校教育相談

幼児・児童・生徒の問題行動、非行等についての相談に応じ保護者、学校、関係者機関と協力し、指導、助言・援助を行う。

○ 電話相談

電話による相談に応じ、指導、助言、援助を行う。

構 成

相談室長 榎本和男（日野市教育委員会指導室長）

非常勤教育相談員

兼任教育相談員

河井英子（教育委員会）

佐藤ヒサ子（日野一小）

原沢和江（日野三中）

石黒優子（教育委員会）

西俊幸（日野四小）

荒川歌津（日野四中）

御子柴万里子（教育委員会）

川原田和子（日野七小）

伊藤誠治（日野四中）

渡辺満子（教育委員会）

高橋智子（高幡台小）

三上道子（一幼稚園長）

大島昭子（教育委員会）

吉沢佐久子（南平小）

担当指導主事 宮川保之 大橋直子

担当課長補佐 松橋英子

教育相談事務担当 大日向 均

顧問 福島脩美（東京学芸大学教授）

石川尚子（日本女子体育大学教授）

海老島 宏（精神科医）

運 営

保護者、又は幼稚園・小中学校を通じての申込により、下記の日時に無料で相談に応じる。

- 場 所 日野市高幡 402
- 申 込 み 先 日野市教育相談室
(TEL 0425-92-0505)
- 一 般 教 育 相 談 主 任 河 井 英 子 (月・火・水・木 10:00～16:00)
担 当 石 黒 優 子 (火・木 10:00～16:00)
- 心身障害教育相談主任 御子柴 万里子 (月・火・金 10:00～16:00)
担 当 渡 辺 満 子 (月・水 10:00～16:00)
- 学 校 教 育 相 談 担 当 大 島 昭 子 (水・木 10:00～16:00)
- 電 話 相 談 各 相 談 員 (月～金 10:00～16:00)

教育相談概要 平成2年度

1. 受付・面接回数

前年度より継続	本年度受付	累 計	面接延回数
10	32	42	296

2. 主訴別件数

		幼	小 学 校		中	高	その他	計
			1～3	4～6				
性格・行動に関するもの	登 校 拒 否		1	1	5	6		13
	集 団 不 適 応 (内気・いじめ)				1			1
	集 団 不 適 応 (授業態度悪 友人関係)				1	2		3
	落ちつきなし			1				1
	反 抗 的					1		1
	無 気 力			1				1
	怠 学					1		1
	緘 黙	1	2					3
	家庭内暴力				1			1
精神・身体に関するもの	自閉症・自閉傾向	1		1				2
	こ と ば (吃音など)	1		1				2
	神経性的習癖(夜尿 遺尿など)	1						1
	神経症・同疑					1		1
	精神病・同疑				1			1
学知能・学業	精神発達遅滞							
	学 業 不 振			2	1			3
適進路性	転 校							
	進 路・進 学			1		1		2
その他	し っ け 方		1					1
	そ の 他	1		1		1	1	4
計		5	4	9	10	13	1	42

日野市心身障害教育推進協議会

目 的

この協議会は、日野市から研究委託を受けて、心身障害教育の充実を図るために、心身に障害のある児童・生徒に適切な教育を保障するための教育措置のあり方、教育条件の整備、指導内容・方法の改善に関する研究及び、一般職員の心身障害教育に対する意識・理解を深めるための研修等の諸事業を企画し実践することを目的とする。

事業の内容

この目的を達成するため、協議会会長校に事務局を置き協議会の運営にあたる。主な事業として、次のことを行う。

- (1) 心身障害学級の適正配置に関する将来的構想の検討
- (2) 心身障害児童及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成
- (3) 就学相談の充実と相談活動への協力と奨励
- (4) 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査
- (5) 学校における相談組織と機能の充実

組 織

- (1) この会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会教育長、指導室長、指導主事、課長補佐、日野市立心身障害学級設置校長、心身障害学級担任、幼・小・中学校（園）の各校1名以上の教員、教育相談室専任相談員、顧問医

- (2) この会には、次の専門部を置き、それぞれの活動を行う。

- | | |
|--------|---|
| ア. 研究部 | 教育措置者の学校への適応状況と発達状況の追跡調査
学校における相談組織と機能の充実を図る研究 |
| イ. 研修部 | 心身障害児及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成に関する研究 |
| ウ. 相談部 | 就学相談の充実と相談活動への協力と援助 |

研 究 委 託

今年度は、日野市教育委員会から別紙の内容についての研究を委託されている。

委 託 内 容

1. 心身障害教育の在り方の検討

心身障害教育の課題を踏まえ、情報化などの社会の変化に対応するとともに、家庭・地域社会・関係機関との連携を深め、児童・生徒が自らの障害の状態を改善・克服し、生涯にわたって学習し、生きがいをもって充実した生活ができるよう、一人一人の児童・生徒の障害の状態に即した適切な指導内容・方法及び評価の工夫・改善、授業研究を進め、基礎的・基本的な知識・技能・態度及び習慣を育む教育の在り方の検討。

また、児童・生徒の個性や能力及び発達に応じて、指導の目標を明確にし、自ら学ぶ意欲をもつことができるよう指導形態の工夫、教材・教具の開発、施設・設備の活用及び養護・訓練の在り方についての検討。

2. 心身障害教育に関する啓発資料の作成及び交流教育の推進

学校のエデュケーション全体を通して、児童・生徒及び地域社会の人々と活動をとにする機会を設け、児童・生徒の相互理解を深める交流教育の拡充を図るとともに、学校や地域社会における心身障害児理解教育を一層推進するために、心身障害教育に関する啓発資料を人権尊重の教育の徹底のもとに作成するとともに、心身障害学級併設校との交流教育の推進について、更に検討する。

3. 就学相談の充実と相談活動への協力と援助

日野市就学相談委員会は、医師、心理学者、心身障害教育関係者、心身障害学級設置校校長及び教諭、教育相談員等の委員により組織している。

そこで、就学相談の充実並びに適切な教育措置を期し、就学相談活動の望ましい方法及び相談者の専門的力量を高めるための研修を推進するとともに、きめ細かな教育相談が進められるように相談活動への協力と援助を行う。

4. 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査

教育相談の結果に基づいて教育措置を決定した後、児童・生徒の学校や学級での適応状況及び期待する教育効果、学校及び学級担任の悩みや問題等がないか日野市立小・中学校及び都立養護学校等の義務教育機関に在学している心身障害児の適応状況や発達状況を継続的に調査し、今後の教育問題に関する相談の充実に資する資料を作成する。

5. 学校における相談組織と機能の充実

各学校における心身障害児の教育相談の在り方、担任教師への協力の在り方等について調査研究するとともに、校内での教育相談充実のための資料を作成する。

日野市立小学校科学教育センター

1. 名称・所在

日野市立小学校科学教育センターと称し、平成３年度は、北部センターは日野市立仲田小学校に、南部センターは日野市立平山小学校に設置する。

2. 設立の趣旨

日野市立小学校における科学教育の振興を図るとともに、教員の理科指導の充実向上のための研修と児童の科学的態度、能力、技術の向上に役立つ諸事業を行う。

3. センター長・センター次長・指導員

南部センター		学校名	電 話	北部センター		学校名	電 話
センター長	内藤 康	平山小	91-4123	センター長	岩下 和夫	仲田小	81-8511
次 長	岡田 壽美子	〃	〃	次 長	難波 和子	〃	〃
主 任	渋谷 義一	〃	〃	主 任	松日 楽敬治	〃	〃
指 導 員	中村 大	潤徳小	91-0409	指 導 員	藤川 千佳子	一 小	81-0073
〃	山口 恵久	〃	〃	〃	澁谷 一彦	二 小	81-0070
〃	平良 格	平山小	91-4123	〃	矢野 百合子	三 小	81-0101
〃	宇野 有斐子	八 小	91-2411	〃	豊田 光	四 小	81-0038
〃	横山 昌司	〃	〃	〃	福田 功	〃	〃
〃	定森 正治	百草台	91-0997	〃	鈴木 節子	五 小	81-0407
〃	遠田 弘	滝合小	93-5172	〃	清水 良夫	六 小	81-0366
〃	鈴木 克己	高幡台	91-7011	〃	小畑 由美子	七 小	81-3907
〃	山田 栄子	南平小	92-2021	〃	上條 茂	旭が丘	81-3733
〃	田中 理絵	〃	〃	〃	栗原 茂	〃	〃
〃	近藤 裕治	程久保	92-5014	〃	藤井 義啓	東光寺	81-6200
〃	遠藤 正	平山台	92-6381	〃	田中 晴美	仲田小	81-8511
〃	森田 弘文	〃	〃		小俣 三佳子	〃	〃
〃	鷹尾 富貴江	三沢台	93-2351				

4. センター員

校 名	南 部 セ ン タ ー											北 部 セ ン タ ー											合 計
	潤 徳 小	平 山 小	八 小	百 草 台 小	滝 合 小	高 幡 台 小	南 平 小	程 久 保 小	平 山 台 小	三 沢 台 小	小 計	一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小	七 小	旭 が 丘 小	東 光 寺 小	仲 田 小	小 計	
男	2	3	6	2	0	2	3	4	2	0	24	2	1	4	1	0	3	3	5	2	4	25	49
女	2	2	2	3	2	2	1	0	2	3	19	2	4	0	3	4	1	1	0	1	1	17	36
計	4	5	8	5	2	4	4	4	4	3	43	4	5	4	4	4	4	4	5	3	5	42	85

5. 年間指導計画

南 部 科 学 セ ン タ ー

☆印は、指導責任者

回	月 日	曜 時	研 究 内 容		指 導 員
1	5. 11	(土) 14:00	開 講 式	活動内容を理解し研究への意欲を高める。 新しい友達と仲良くなる。	全 員
2	5. 18	(土) 14:00	第1単元 日野の自然を調べる。	平山城址公園付近の植物のようすを調べ、自然への関心を高める。	☆ 遠 藤（平山台） 定 森（百草台） 平 良（平山小） 澁 谷（平山小）
3	5. 25	(土) 14:00			
4	6. 1	(土) 14:00			
5	6. 8	(土) 14:00	第2単元 草木染め	植物の汁を使って、もめん、きぬなどの布を染める。 植物の汁の性質を知る。	☆ 森 （南平小） 遠 田（滝合小） 山 田（南平小） 澁 谷（平山小）
6	6. 15	(土) 14:00			
7	6. 22	(土) 14:00			
8	7. 6	(土) 14:00	第3単元 自由研究	研究テーマの決定。 研究方法の検討。	☆ 宇 野（八 小） 森 （南平小） 鈴 木（高幡台） 澁 谷（平山小）
9	7. 13	(土) 14:00		研究活動とまとめ。	
	7～8月中			研究発表（1人5分くらい）	
10	9. 7	(土) 14:00			
11	9. 14	(土) 14:00			
12	10. 12	(土) 14:00	第4単元 電流と発熱	電気の利用法を知る。 スチロールカッターを作る。	☆ 宇 野（八 小） 中 村（潤徳小） 近 藤（程久保） 山 口（潤徳小） 澁 谷（平山小）
13	10. 19	(土) 14:00			
14	10. 26	(土) 14:00			
15	11. 30	(土) 14:00	第5単元 土 調 べ	赤土、黒土、砂などを調べ、鉱物を知る。 南平付近の地層を調べる。	☆ 鷹 尾（三沢台） 横 山（八 小） 田 中（南平小） 澁 谷（平山小）
16	12. 7	(土) 14:00			
17	12. 14	(土) 14:00			
18	2. 15	(土) 14:00	閉 講 式	修了証をもらう。 ひとつのことをやりとげた成就感を味わい、自信と意欲を高める。 感想を発表する。	全 員

回	月	曜) 時	研 究 内 容		指 導 員
1	5. 11	(土) 14:00	開 講 式	活動内容を理解し研究への意欲を高める。 新しい友達と仲良くなる。	全 員
2	5. 18	(土) 14:00	第1単元 植物観察 と花粉調べ	美しい花の中にある生命のすばらしい仕組みを自分の目で確かめてみる。	☆ 澁 谷 (二 小) 清 水 (六 小) 藤 井 (東光寺) 松日楽 (仲田小)
3	5. 25	(土) 14:00			
4	6. 1	(土) 14:00			
5	6. 8	(土) 14:00	第2単元 水溶液の 性質	酸、アルカリなどの水溶液の性質を調べる。リトマス紙を自分で作る。	☆ 豊 田 (四 小) 藤 川 (一 小) 松日楽 (仲田小)
6	6. 15	(土) 14:00			
7	6. 22	(土) 14:00			
8	7. 6	(土) 14:00	第3単元 自由研究	研究テーマの決定 研究方法の検討	☆ 松日楽 (仲田小) 田 中 (仲田小) 小 俣 (仲田小)
9	7. 13	(土) 14:00		研究活動とまとめ	
	7～8月中			研究発表(1人5分くらい)	
10	9. 7	(土) 14:00			
11	9. 14	(土) 14:00			
12	10. 12	(土) 14:00	第4単元 ブラック ボックス	明かりのつきかたのちがいから箱の中の配線を当てたり自分でその箱(ブラックボックス)を作ったりする。	☆ 矢 野 (三 小) 福 田 (四 小) 鈴 木 (五 小) 松日楽 (仲田小)
13	10. 19	(土) 14:00			
14	10. 26	(土) 14:00			
15	11. 30	(土) 14:00	第5単元 電気の工 作モータ ー作り	世界で一番簡単なモーターをつくる。	☆ 上 條 (旭が丘) 小 畑 (七 小) 栗 原 (旭が丘) 松日楽 (仲田小)
16	12. 7	(土) 14:00			
17	12. 14	(土) 14:00			
18	2. 15	(土) 14:00	閉 会 式	修了証をもらう。 ひとつのことをやり遂げた成就感を味わい、自信と意欲を味わい、自信と意欲を高める。感想を発表する。	全 員

6. 連絡協議会

委 員 長	長 澤 三 郎	日野市教育委員会教育長	TEL 0425-85-1111
南部センター長	内 藤 康	日野市立平山小学校長	TEL 0425-91-4123
同 次長	岡 岡 壽 美 子	” 教頭	”
同 主任	澁 谷 義 一	” 嘱託	”
北部センター長	岩 下 和 夫	日野市立仲田小学校長	TEL 0425-81-8511
同 次長	難 波 和 子	” 教頭	”
同 主任	松 日 楽 敬 治	” 嘱託	”
顧 問	榎 本 和 男	日野市教育委員会指導室長	TEL 0425-85-1111
	宮 川 保 之	” 指導主事	”
	大 橋 直 子	” 指導主事	”

指導主事事務分担

日野市教育委員会

指導主事 宮川 保之

指導主事 大橋 直子

1. 校種別分担

幼稚園教育	大橋	小学校教育	大橋	中学校教育	宮川
-------	----	-------	----	-------	----

2. 教科・領域別分担

国語（書写）	大橋	社会	大橋	算数・数学	宮川
理科	宮川	音楽	大橋	図工・美術	大橋
体育・保健体育	大橋	家庭・技術家庭	大橋	外国語	宮川
道徳	宮川	生活指導	宮川	特別活動	大橋
学校行事等	大橋	学校経営	宮川	教育相談	大橋（宮川）
心障教育	大橋（宮川）	視聴覚教育	大橋	図書館教育	大橋
学校給食	大橋	保健教育	大橋	安全教育	大橋
同和教育	宮川	公害教育	大橋	進路指導	宮川
幼児教育	大橋	学校事務	大橋	心障相談	大橋（宮川）
帰国子女教育	大橋	男女平等教育	宮川	消費者教育	大橋

3. 施設・行事等分担

教育相談室	大橋（宮川）	心障学級	大橋（宮川）	科学センター	大橋（宮川）
教科書センター	大橋	文化行事	大橋	体育行事	大橋
修学旅行	宮川	移動教室	大橋	日野市めぐり	大橋

4. 指導事務分担

指導部・都研	宮川	研究員教育開発委	宮川	教育課程届出	宮川
研究集録	大橋	学校訪問	宮川	教材届出承認	大橋
遠足・修学旅行届出	大橋	調査資料収集	大橋	学習指導要領	宮川
まどべ編集発行	大橋	月行事予定	大橋	教育実習	宮川
授業研究	大橋	都・研究奨励	宮川	社会科副読本	小大橋 中宮川
教育課程年間指導計画	大橋	就学・措置替指導	宮川	教科書採択	小大橋 中宮川
文部省中央研修	宮川	環境読本作成	小大橋 中宮川	教育課程編成資料作成	小大橋 中宮川

5. 渉外分担

校長会	宮川	教頭会	大橋	教務主任会	宮川 大橋
生活指導主任会	宮川	保健主任会	大橋	進路指導主任会	宮川
都市指導主任会	宮川	日野市教研	大橋	第2地区指導主事会	宮川
心身障害教育推進協議会	大橋 (宮川)	体育主任会	大橋	人権尊重教育推進委員会	宮川
国際理解教育推進	大橋	教職員研究資料室	宮川		

6. 研修等分担

学校経営研修会	宮川	初任者研修会	大橋 (宮川)	教育課題研修会	大橋
学習指導法研修会	大橋	実技研修会	大橋	教育相談研修会	大橋
幼児教育研修会	大橋	教職専門研修会	宮川	学校保健研修会	大橋

校長・教頭事業担当一覧

1. 学校教育部

① 指導室関係

◎…委員長・会長

○…副委員長・副会長

●…委員・担当者

記号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
A- 1	教 育 主 任 会	◎野村 武郎	○高木 宏文	●山下 法昭	●山崎 妙子
A- 2	生 活 指 導 主 任 会	○岩下 和夫	◎村田 志信	●影山 健	●中根 勉
A- 3	進 路 指 導 主 任 会		◎阿部 忠志		○久保田孝志
A- 4	保 健 主 任 会	◎倉重 利恵	○北原 景昭	●斉藤 正子	●松澤 茂久
A- 5	小 学 校 体 育 主 任 会	◎内藤 康		●末次 久利 ●武内 忠雄	
A- 6	小学校社会科副読本改訂委員会	◎山口 武彦 ○片岡千壽子		○香川 善平 ●小杉 博司	
A- 7	中学校社会科副読本改訂委員会		◎桑原 和正		○松澤 茂久
A- 8	小学校 環境 読本 作成 委員会	◎草刈 喜一		○品田 敏男	
A- 9	中学校 環境 読本 作成 委員会		◎阿部 忠志		○中根 勉
A- 10	小学校 福祉 読本 改訂 委員会	◎清水 七郎		○鈴木利恵子	
A- 11	中学校 福祉 読本 改訂 委員会		◎桑原 和正		○久保田孝志
A- 12	ま ど べ 編 集 委 員	◎馬場 武		○武内 忠雄	○山崎 妙子
A- 13	日 光 移 動 教 室	◎波多野 坦 ○倉重 利恵 ○石川 耀子 ○小笠原久雄		●末次 久利 ●難波 和子 ●品田 敏男 ●木内 秀雄	
A- 14	科 学 教 育 セ ン タ ー	◎内藤 康 ◎岩下 和男		○難波 和子 ○岡田壽美子	
A- 15	音 楽 鑑 賞 教 室 運 営 委 員 会	◎小幡 健	○村田 志信	●山下 法昭	●塙 健郎
A- 16	書 初 展	○倉重 利恵	◎宮本 裕子	●武内 忠雄	●伴野 博夫
A- 17	小 ・ 中 水 泳 記 録 会	◎石黒 健 ○馬場 武	◎名塚 三雄	●森野 豊 ●八木 文夫	○山崎 妙子
A- 18	人 権 尊 重 教 育 推 進 委 員 会	◎有泉 徹郎 ●小笠原久雄	○桑原 和正	●難波 和子	●山崎 妙子

A-19	心身障害教育推進委員会	○波多野 坦 ●野村 武郎 ●増賀 從男	◎名塚 三雄 ●村田 志信	●畑田 元一 ●上田 憲二 ●岡田壽美子	●伴野 博夫
A-20	就学相談委員会	◎波多野 坦 ●増賀 從男 ●野村 武郎	◎村田 志信 ●名塚 三雄	●畑田 元一 ●上田 憲二 ●岡田壽美子	●伴野 博夫
A-21	相談学級運営協議会		◎宮本 裕子		
A-22	情報教育推進委員会		◎桑原 和正		○深山 睦弘
A-23	英語指導改善委員会		◎高木 宏文		○深山 睦弘
A-24	国際理解教育推進委員会	○有泉 徹郎	◎名塚 三雄	●小原 良雄	●深山 睦弘
A-25	授業研究連絡協議会	◎志村 桂次 ○倉重 利恵	○村田 志信	●上田 憲二	●中根 勉
A-26	授業改善委員会	◎馬場 武宏 ○飯沼 宏	○高木 宏文	●小原 良雄	●深山 睦弘
A-27	学校図書館連絡協議会	◎飯沼 宏		○斎藤 正子	
A-28	初任者研修実施協議会				
A-29	教職員研究資料室運営委員	◎波多野 坦 ○清水 七郎	○名塚 三雄	●影山 健	●浅野 博
A-30	日野市小学校教育研究会	◎飯沼 宏 ○草刈 喜一		○信夫 清彦 ●品田 敏男	
A-31	日野市中学校教育委員会		◎阿部 忠志		○松澤 茂久
A-32	小体連・小体研	◎石黒 健		○八木 文夫	
A-33	教育課程研究委員会(生活科)	◎西田 敦子		○木内 秀雄	
A-34	教育課程研究委員会(選択教科)		◎名塚 三雄		○槁 健郎
A-35	資料作成委員会 小学校教育課程 ◎清水七郎	国語科 社会科 算数科 理科 生活科 ◎志村 桂次 ◎波多野 坦 ◎野村 武郎 ◎馬場 武 ◎西田 敦子		○鈴木利恵子 ○小杉 博司 ○森野 豊 ○畑野 元一 ○木内 秀雄	

A-36	中学校作成教育課程会 ◎桑原和正	総 則		◎高木 宏文		○久保田孝志
		音 楽 科		◎村田 志信		○浅野 博
		美 術 科		◎宮本 裕子		○伴野 博夫
		技術・家庭科		◎北原 景昭		○埴 健郎
		保健体育科		◎大野 隆久		○中根 勉
		道 徳		◎桑原 和正		○山崎 妙子
		特 別 活 動		◎阿部 忠志		○松澤 茂久

② 学務課関係

B-1	学 校 保 健 会	◎石黒 健 ●倉重 利恵	○北原 景昭	●斉藤 正子	●松野 茂久
B-3	学 校 給 食 会	◎岩下 和夫 ●西田 敦子	○大野 隆久	●飯田 国代	●松野 茂久
B-6	食 器 検 討 委 員 会	◎岩下 和夫	○大野 隆久	●飯田 国代	●浅野 博
B-7	学 区 域 検 討 委 員 会		●高木 宏文		

③ 庶務関係

C-1	中 体 連 ・ 中 体 研		◎大野 隆久		
C-2	乗鞍高原林間施設検討委員会	小泉 宣夫	高木 宏文		

2. 社会教育部

① 社会教育課関係

記 号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
D-1	社 会 教 育 委 員 会	●有泉 徹郎			
D-2	市 P 協	●馬場 武 ●石川 耀子 ●増賀 從男	●北原 景昭		

② 体育課関係

E- 1	学校体育施設開放運営協議会	◎内藤 康	○北原 景昭	●森野 豊 ●信夫 清彦	●松澤 茂久
------	---------------	-------	--------	-----------------	--------

③ 図書館関係

F- 1	図書館運営審議委員	●飯沼 宏			
------	-----------	-------	--	--	--

④ 公民館関係

G- 1	公民館運営審議委員	●波多野 坦			
------	-----------	--------	--	--	--

⑤ ふるさと博物館関係

H- 1	ふるさと博物館運営委員	●志村 桂次	●桑原 和正		
------	-------------	--------	--------	--	--

3. 都校長会・都教育委員会関係

記号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
I- 1	青少年健全育成委員	●小笠原久雄	●北原 景昭		
I- 2	環境週間行事運営委員	●西田 敦子	●名塚 三雄		
I- 3	人権尊重教育推進委員会	●有泉 徹郎	●桑原 和正		

4. そ の 他

記号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
J- 1	日野市環境緑化委員	●倉重 利恵			
J- 2	市教職員互助会副理事(校長会長)	●小泉 宣夫	●高木 宏文		
J- 3	幼児教育センター運営審議会委員	●内藤 康			
J- 4	情報公開対策委員	●有泉 徹郎	●桑原 和正	●江口 耕一	●久保田孝志
J- 5	青少年協議会委員	●小泉 宣夫	●宮本 裕子 ●高木 宏文		

日野市教育委員会事務局組織

教育委員会
委員長

職務代理
小松 恒夫

委員
長澤 三郎
田中キミ子
古谷 洋太

学校教育部長
藤本 享一

庶務課長
田中 正徳

庶務係長
辻 正信

教育委員会々議、規則、人事、予算、経理契約、文書管理に関する
こと。

施設係長
田中 繁夫

学校施設の計画及び営繕・修繕に関すること。

学務課長
高野英男

学務係長
石毛寿美子

学級の編成及び割当、通学区域、教材、教具の整備、市立幼稚園に
関すること。

主 幹
三上 道子

保健給食係長
(課長補佐事務取扱)

教職員、児童・生徒の保健管理、学校の環境衛生、学校給食、安全
会に関すること。

課長補佐
鎌田 文勝

指導室長
榎本 和男

指導係長
(課長補佐事務取扱)

教育課程の整備改善、学校教育指導、教職員の研修、教育相談、教
職員研究資料室に関すること。

課長補佐
松橋 英子

教職員係長
瀬戸 弥

教職員の人事、給与、福利厚生、公務災害に関すること。

社会教育課長
小沢 春童

社会教育係長
小沢 昭道

社会教育の総合計画、社会教育団体の指導育成、芸術、文化の振興
に関すること。

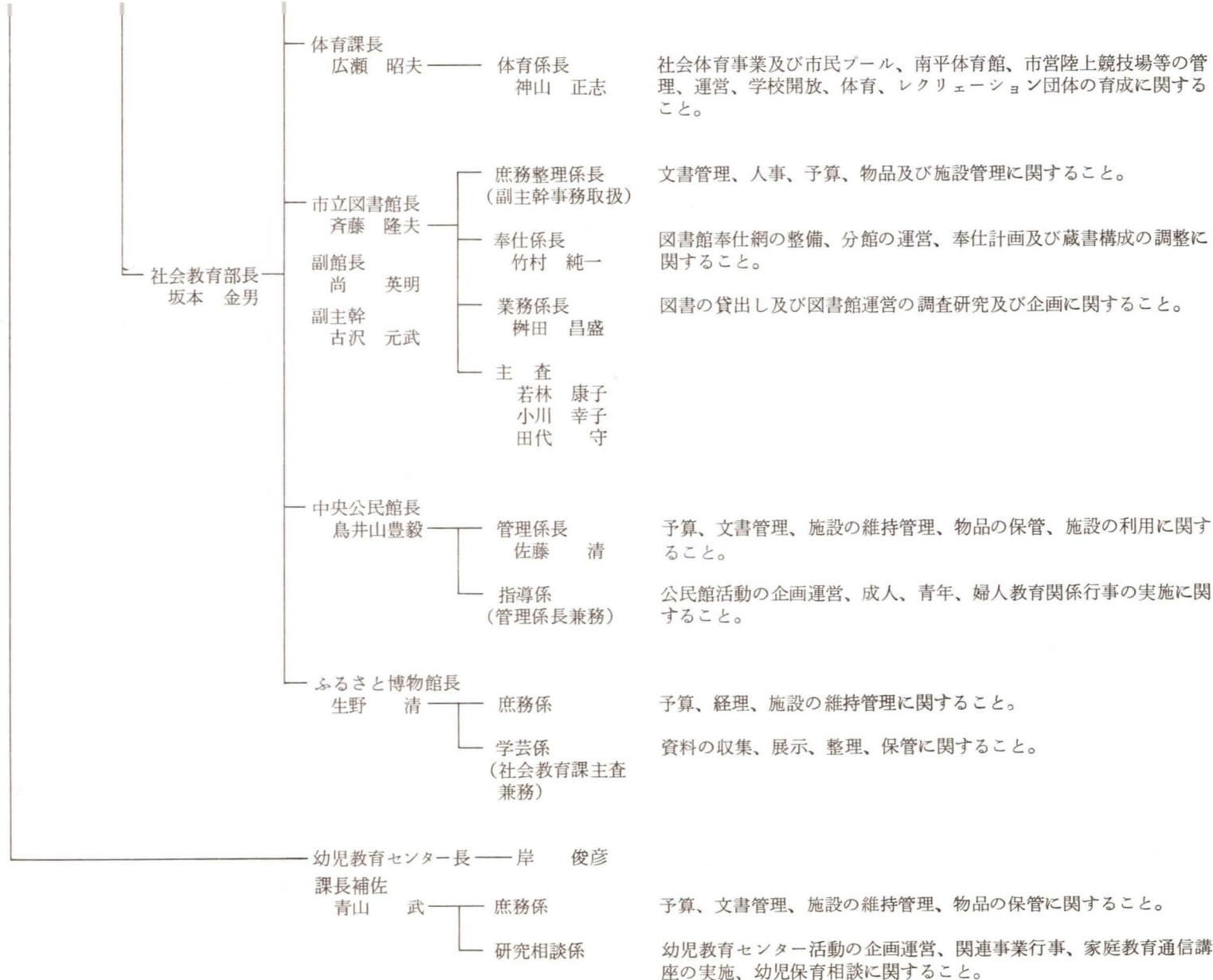
文化財係長
(課長事務取扱)

文化財の調査、保護に関すること。

主 査
藤井 和夫

教育長
長澤 三郎

主 幹
平 弘行



日野市立公立学

学校名	校(園)長名	学級数	児童数 (生徒数)	教員数	電話	所在地	交通機関
第一幼稚園	三上道子	四	一二二	六	81 4124	多摩平四一三	中央線豊田駅下車、徒歩十分
第二幼稚園	槇島静子	三	六四	四	91 4215	平山四一五―四	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十分
第三幼稚園	山本智恵子	三	六四	四	81 7127	日野本町二―一四―一	中央線日野駅下車、徒歩七分
第四幼稚園	上野美津枝	二	五四	三	83 3903	石田四三一―六	高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分 日野駅より都バス日野橋南詰下車徒歩七分、立川駅北口
第五幼稚園	桜田鈴子	二	三八	四	92 0432	三沢一七五	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分
第六幼稚園	坂口嘉津子	二	五二	三	92 6330	程久保八七六―二	高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下車
第七幼稚園	平向邦江	四	一三〇	五	86 3770	旭が丘二―四二	中央線豊田駅下車、徒歩十五分
第一小学校	山口武彦	一五	四八八	二二	81 0073 0061	日野本町二―一四―二	中央線日野駅下車、徒歩六分
第二小学校	馬場武	二〇	七一一	二六	81 0070 0851	東豊田二―一四―一	京王線南平駅下車、徒歩十五分 中央線豊田駅下車、徒歩十分
第三小学校	増賀従男	一八 (三)	五二三 (一五)	二六	81 0101 0850	日野台二―一―一	京王バス日野自動車前下車、徒歩七分 中央線日野駅下車、徒歩十分
第四小学校	片岡千壽子	一五	五〇三	二二	81 0038 3076	石田四三〇	立川駅北口・高幡不動駅より京王バス四小前下車二分 日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分
第五小学校	野村武郎	一九 (一)	六三六 (三)	二六	81 0407 0445	多摩平六―二―一	中央線日野駅下車、バス日野自動車前下車 中央線豊田駅又は日野駅下車、バス日野五小前下車
第六小学校	清水七郎	一八	五八一	二四	81 0366 4686	多摩平三―二―一	京王バス小西六裏門下車、徒歩三分 中央線豊田駅下車、徒歩十二分
潤徳小学校	石黒健	一二	三四六	一七	91 0409 0410	高幡四〇二	京王線高幡不動駅下車、東北へ徒歩五分
平山小学校	内藤康	一四	四六〇	二〇	91 4123 0512	平山四一八―六	京王線平山城址公園駅下車、徒歩八分
第八小学校	石川耀子	一八	五八八	二四	91 2411 2412	三沢二〇〇	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分
百草台小学校	小笠原久雄	一五	四九一	二二	91 0997 0998	百草九九九	徒歩五分 高幡不動駅より百草団地行バス百草センター下車

校・幼稚園一覧

平成3年5月1日現在

滝合小学校	高幡台小学校	第七小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	東光寺小学校	三沢台小学校	仲田小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校	大坂上中学校	平山中学校
草刈喜一	小泉宣夫	小幡建	有泉徹郎	倉重利恵	飯沼宏	波多野坦	志村桂次	西田敦子	岩下和夫	宮本裕子	大野隆久	村田志信	高木宏文	桑原和正	阿部忠志	名塚三雄	北原景昭
一九	一三	一八	一六	一二	二五	二二	二二	二二	二二	二〇	一八	一九	二二	二一	一七	二一	一五
六七一	四四一	六三〇	五〇一	三九四	八六〇	二八三	三六五	三六五	三四二	七一四	六七五	六一六	七九五	八二五	六七一	七三四	五五三
二五	一八	二四	二二	一七	三一	一八	一七	一七	一七	三五	三〇	三三	三九	三七	二九	三七	二六
83 5172 5173	91 7011 7012	83 3907 3908	92 2021 2022	92 5014 5015	83 3733 3748	92 6381 6382	94 6200 6201	93 2351 2352	81 8511 8512	81 0009 0261	81 0056 0262	91 0174 0175	91 2228 2229	83 3905 3906	92 5017 5018	83 9755 9756	93 3015 3016
西平山二―三―一	程久保五五〇	神明三―二	南平四―一八―一	程久保五〇四―一	旭が丘五―二二―一	平山二―一―一	新町三―二四―一	百草八九六―一	日野本町六―一七―四	日野本町七―七―七	多摩平四―五―三	南平六―七―一	程久保六五〇	旭が丘二―四―二	三沢二五	大坂上四―一七―一	平山四―二一―三
京王線平山城址公園・長沼駅下車、徒歩十分	高幡台団地地下車、徒歩五分 京王線高幡不動駅から百草団地行又は桜ヶ丘行バス	中央線日野駅下車、徒歩十五分	京王線南平駅下車、徒歩十二分	徒歩二分 高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下車	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、豊田方面徒歩十三分	京王線百草駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、立川方面徒歩十分	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より百草団地行バス高幡台団地地下車徒歩七分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅又は百草園駅下車、徒歩十二分	中央線日野駅下車、徒歩十二分	京王線南平駅・平山城址公園駅下車、徒歩八分 中王線豊田駅下車、徒歩十八分

() 内は心障学級外数

管理運営規則第八条に基づく主任等一覧表

学 校 名		学 校 長	教 務 主 任	生活指導主任	保 健 主 任	進路指導主任
1	日野一小	山口 武彦	志賀 由具	長門 彰	中村 麗子	
2	日野二小	馬場 武	高橋 健	山口 正夫	渡辺 敏子	
3	日野三小	増賀 従男	長谷部志美夫	諏訪 英樹	秋山 照子	
4	日野四小	片岡千寿子	藤岡 和子	小柳利栄子	丸山 幸江	
5	日野五小	野村 武郎	茅野とめ子	斎藤 弥生	常盤 町子	
6	日野六小	清水 七郎	丸茂 洋子	市川 光男	金野 峰子	
7	潤 徳 小	石黒 健	中村 大	間島 春美	反町麻佐子	
8	平 山 小	内藤 康	加藤 和俊	石黒 芳子	田中 延子	
9	日野七小	小幡 建	居城 文雄	河野 千秋	関根 敦子	
10	日野八小	石川 耀子	小島 義範	宇野有斐子	小澤 和子	
11	百草台小	小笠原久雄	定森 正治	玉置 順子	船山 陽子	
12	滝 合 小	草刈 喜一	大上 琢磨	林 亀三	戸塚美由紀	
13	高幡台小	小泉 宣夫	銭廣 芳子	比嘉 道子	古越 富子	
14	南 平 小	有泉 徹郎	太田由紀夫	秋葉 榮一	井上久美子	
15	程久保小	倉重 利恵	吉野美智子	近藤 裕治	佐藤 徳子	
16	旭が丘小	飯沼 宏	窪田 正子	奈良 悦子	久保 起世	
17	平山台小	波多野 担	村上 貞司	渡部 キヨ	加藤 幸子	
18	東光寺小	志村 桂次	笹本 竹司	会田 尚子	笠井 祐子	
19	三沢台小	西田 敦子	山浦 幸子	川田 浩子	太島真知子	
20	仲 田 小	岩下 和夫	雨宮 充	小俣 靖江	清水 妙子	
1	一 中	宮本 裕子	佐藤 至正	浅野 和也	高橋 恵子	千葉 英明
2	二 中	大野 隆久	浜本 敏朗	野口 英一	中山ひとみ	石川 秀一
3	七 生 中	村田 志信	瀬川 昭英	大谷 良光	根岸 智子	柳沢 宣子
4	三 中	高木 宏文	新井 教旦	山口 俊浩	小林 浄子	木附美紗恵
5	四 中	桑原 和正	並木 修	秋山 剛徳	佛圓 京子	井出 芳江
6	三 沢 中	阿部 忠志	吉池美紀子	須貝 光一	三輪ひとみ	宮下 文夫
7	大坂上中	名塚 三雄	星野 晴一	木嶋 健	樋口由紀子	小原 俊昭
8	平 山 中	北原 景昭	三浦 義次	鈴木 浩	阿部貴美子	斉藤 妙子

学 年 主 任

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
矢口由美子	風野 敏子	三浦理恵子	長澤佳津子	花田 僚子	土井 公子
高木 映子	石郷岡日出子	榎 圭子	針田 和子	田中 和子	中島 寿子
信夫 頼子	廣嶋とし子	橋本 清明	井上 文子	古家 静子	前田佐和子
倉津 節子	岡田 充生	安達 美武	半沢万智子	逸見 明男	高田 光夫
鈴木知英子	酒匂由美子	鈴木 映子	本多 和美	後藤 絢子	御木 茂
脇田千恵子	垣内奈緒美	和田 雅実	宗近 孝子	川井田和子	野村 治子
西山 正文	間島 春美	秋葉 秀茂	小林 浜子	山口 恵久	志村 道子
加藤 和美	松井 清美	加藤 和俊	池田 雅子	港 澄江	渡辺 学
渡辺 悦子	川原田和子	井浦 弘	有馬佳代子	落合 幸子	小畑由美子
赤松 紀子	安西 利江	栗原 悦子	神 幸子	加藤 征子	酒井 誠
宮崎 亘	加藤 暉子	菊池 静枝	大島ルミ子	大島真理子	高橋 茂子
逸見 黎子	小林 和子	長浜 和子	高橋 孝子	平島 孝夫	今野すみ子
国領美那子	銭廣 芳子	千葉 正美	比嘉 道子	三浦 仁	野口真佐子
吉澤佐久子	松本 香	野口すみ子	泉 芳夫	山田 栄子	依田 逸夫
田中 悦子	遠藤 路子	竹内 勝美	西森 恵子	吉野美智子	佐藤 徳子
窪田ヤヨイ	吉川 都子	赤松 昭子	太田 敬子	山崎 富子	伊東あき子
加藤 幸子	坂井ミチ子	加藤 タイ	増田 滋子	渡部 キヨ	遠藤 正
青山 幸江	富澤 和子	市川 博子	小林むつみ	三枝 光子	笠井 祐子
川井 尚美	鶴間 紀子	小木美智子	斉藤 美代	松岡 隆二	桐生 雅行
小俣 靖江	小山 富子	宇土 悦子	吉田 弘	土方 久枝	田中 晴美
酒井 徳行	平沢 明雄	賀川 秀人			
鶴田 恵彦	橋本 幹雄	三條 正善			
真柴 哲子	白沢 修	大坪久美子			
飯島 利三	辰巳 恵子	鈴木 渉			
杉村 智秋	高橋 清子	石川 明人			
富沢 幹彦	福地 和子	逸見 守			
内田耕一郎	鈴木 良身	田熊 裕			
升川 綾子	阿部 晃一	北野 一也			

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	研究・研修主任	人権尊重教育	国 語 科	社 会 科	算数・数学
1	日 野 一 小	和田いさを	徳田 崇	三浦理恵子	長澤佳都子	中村 麗子
2	日 野 二 小	宮川征三郎	駒形 富子	松澤 和代	内田 知子	秋葉 恵子
3	日 野 三 小	馬場 延子	諏訪 英樹	菱田美恵子	大類 英美	市川 典子
4	日 野 四 小	逸見 明男	坂本 有子	滝島 欣子	西 俊幸	小柳利恵子
5	日 野 五 小	馬場 富男	川上さち子	酒匂由美子	岩本 高明	馬場 富男
6	日 野 六 小	佐藤 静雄	川井田和子	垣内奈緒美	佐藤 静雄	森田 隆子
7	潤 徳 小	西山 正文	臼井 知子	志村 道子	渋江 美雪	小林 浜子
8	平 山 小	渡辺 学	加藤 和俊	乙津 秀敏	田中 延子	渡辺 学
9	日 野 八 小	石岡 房子	宇野有斐子	石岡 房子	酒井 誠	栗原 悦子
10	百 草 台 小	遠藤佐知子	遠藤佐知子	磯部 麻理	広瀬 逸子	高橋 茂子
11	滝 合 小	高橋 孝子	大上 琢磨	長浜 和子	今野すみ子	上條かなゑ
12	高 幡 台 小	三浦 仁	国領美那子	高橋 智子	三浦 仁	咲花 香澄
13	日 野 七 小	斉藤美智子	河野 千秋	斉藤美智子	矢島 優子	渡辺 悦子
14	南 平 小	依田 逸夫	秋葉 榮一	浅田 光子	泉 芳夫	西川 朝子
15	程久保小	西森 恵子	竹内 勝美	竹内 勝美	鎌田 博志	吉川 美幸
16	旭が丘小	菱山 芳徳	窪田 正子	吉川 都子	近藤 千穂	赤松 昭子
17	平山台小	遠藤 正	内田 芳枝	坂井ミチ子	小林 良江	内田 芳枝
18	東光寺小	市川 博子	會田 尚子	笠井 祐子	高木 宏	富澤 和子
19	三沢台小	小木美智子	大屋いずみ	山浦 幸子	中江 智明	斉藤 美代
20	仲 田 小	吉田 弘	雨宮 充	宇土 悦子	岩崎 英夫	小山 富子
1	日 野 一 中	吉田 俊明	江坂 正人	鈴木あや子	寺沢 義雄	陣内真理子
2	日 野 二 中	鬼頭 昭	濱本 敏朗	江森奈津子	倉橋 延男	松元 郁子
3	七 生 中	松井 保子	真中 祐一	高森 和子	真中 祐一	松原 清
4	日 野 三 中	原沢 和江	辻野 良子	乙黒 義夫	菊池 淑子	賀川 郁子
5	日 野 四 中	新井 幹	柏木 実	露木 克子	森 紀子	伊藤 誠治
6	三 沢 中	長友 良嗣	山口 律子	清水 良子	山中ひろみ	吉田 和彦
7	大坂上中	加藤 千泉	星野 晴一	大貫 米子	大矢 芳生	内田耕一郎
8	平 山 中	升川 綾子	斉藤 妙子	古橋あつ子	村田 和美	池田 純二

及び担当一覧（その１）

理 科	音 楽	図工・美術	体育・保健体育	技術・家庭(男)	技術・家庭(女)
土井 公子	徳田 崇	山木 雅子	黒川 和彦		馬場 俊子
渋谷 一彦	板野 宏	川名 勝紀	綾部 耕基		中島 寿子
矢野百合子	大久保光子	宗像ゆき子	大西 一成		馬場 延子
豊田 光	斉藤富美子	久保田孝子	福田 功		藤岡 和子
鈴木 節子	岡田 恵子	北野 義昭	乙津 優子		河谷 圭子
丸茂 洋子	村上 悦子	杉村 光子	清水 良夫		小松美代子
中村 大	中島豊美子	志賀千恵子	山木 和也		盛 恭子
平良 格	福田 栄子	木村 令子	成井 大祐		港 澄江
宇野有斐子	鈴木 栄一	丸 カズ子	澤田 利哉		海老原眞知子
定森 正治	大谷美由紀	高尾三枝子	松本 善秀		大島真理子
遠田 弘	鳥山 悦子	河合 香子	林 亀三		栗山 洋子
塚本 純子	安藤美佐子	岡本 美治	鈴木 克巳		野口真佐子
小畑由美子	椎名 圭子	伊東 茂	森 良三		渡辺 かほ
田中 理恵	遠藤 信元	秋葉 栄一	村山 栄一		加藤 久子
近藤 祐治	馬場美津子	藤沢由美子	粕谷 吉弘		佐藤 徳子
上條 茂	鶴蘭美代子	野村 好伸	鎌田 清美		奈良 悦子
加藤 タイ	二宮 弘美	久保 雅子	中村 康成		渡部 キヨ
黒木 桂子	弥延あつ子	田倉 昭代	藤井 義啓		小林むつみ
川井 尚美	村田那智子	倉林 晴夫	桐生 雅行		鷹尾富貴江
小俣三佳子	保坂たか子	鶴田久美子	吉田 健		土方 久枝
平沢 明雄	横溝 明子	相原 茂生	賀川 秀人	小笠原英夫	荒 延江
濱本 敏朗	吉村富美子	中里 久子	水沢 光子	永谷 豊	田倉 正子
松井 保子	大野 滢子	常松 瑞穂	土橋 好	大谷 良光	佐藤 寿枝
原沢 和江	大宅 寛	服部 圭助	佐藤 恵美	飯島 利三	木附美紗恵
青木 裕美	新井 幹	渡辺 圭子	町田 孝夫	並木 修	高橋 清子
長友 良嗣	植松 松子	吉岡 泰光	井原千恵子	宮下 文夫	田畑 恵子
谷丈 太郎	近藤 和子	松本 優治	市村 博保	小原 俊昭	渡辺やす子
新沼 葉子	渡辺 京子	阿部 晃一	小池 展世	三浦 義次	斉藤 妙子

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	道 徳	特 別 活 動	学 校 行 事	視 聴 覚	学校図書館
1	日 野 一 小	志賀 由具	風野 敏子	志賀 由具	寺本 喜和	風野 敏子
2	日 野 二 小	宮川征三郎	針野 和子	駒形 富子	渋谷 一彦	内田 知子
3	日 野 三 小	高野 好子	前田佐和子	長谷部志美夫	大西 一成	市川 典子
4	日 野 四 小	逸見 明男	安達 美武	藤岡 和子	高田 光夫	半沢万智子
5	日 野 五 小	川上さち子	越地 則之	茅野とめ子	北野 義昭	赤井 光子
6	日 野 六 小	川井田和子	中込 久美	丸茂 洋子	和田 雅美	宗近 孝子
7	潤 徳 小	臼井 知子	渋谷 美雪	志賀千恵子	山口 恵久	五十嵐明子
8	平 山 小	加藤 和俊	木村 令子	加藤 和俊	乙津 秀敏	池田 雅子
9	日 野 八 小	浅野すみれ	丸 カズ子	小島 義範	酒井 誠	沼田恵美子
10	百 草 台 小	遠藤佐知子	高橋 茂子	定森 正治	宮崎 亘	加藤 暉子
11	滝 合 小	柴田佳代子	河合 香子	大上 琢磨	剣持 仁美	西尾 京子
12	高 幡 台 小	国領美那子	黒川 武良	銭廣 芳子	鈴木 克己	富田 郁子
13	日 野 七 小	河野 千秋	井浦 弘	居城 文雄	居城 文雄	桑沢 悦子
14	南 平 小	太田由紀夫	溝江恵美子	秋葉 榮一	泉 芳夫	吉澤佐久子
15	程久保小	吉野美智子	鎌田 博志	吉川 美幸	近藤 裕治	遠藤 路子
16	旭が丘小	佐藤 智子	栗原 茂	星野 洋	中村 光雄	太田 敬子
17	平山台小	内田 芳枝	中村 康成	村上 貞司	青木 利夫	久保 雅子
18	東光寺小	會田 尚子	高木 宏	笹本 竹司	青山 幸江	富澤 和子
19	三沢台小	川田 浩子	松岡 隆二	松岡 隆二	倉林 晴夫	小木美智子
20	仲 田 小	雨宮 充	田中 晴美	吉野 健	小山しおり	小山 富子
1	日 野 一 中	中村理英子	森山 喜明	賀川 秀人	浅田 敏之	中村理英子
2	日 野 二 中	北原八重子	北原八重子	小谷 幸二	加藤 弘一	江森奈津子
3	七 生 中	横田 恵子	井尻 郁夫	瀬川 昭英	野沢 雄介	塩谷 直子
4	日 野 三 中	原沢 和江	乙黒 義夫	新井 教旦	服部 圭助	大宅 寛
5	日 野 四 中	竹田 和彦	高津 良幸	並木 修	鈴木 直也	森 紀子
6	三 沢 中	長友 良嗣	長友 良嗣	吉池美紀子	若松 民雄	松岡 淑子
7	大坂上中	羽生 幸一	佐藤 玲子	内田耕一郎	倉田 和俊	宇田川 修
8	平 山 中	吉野 豊生	吉野 豊生	三浦 義次	鈴木 照美	坂井 悦子

及び担当一覧（その２）

給 食	安 全 教 育	養 護	管 財	事 務	㊦ 生活科 ㊦ 外国語
川上美穂子	長門 彰	佐藤ヒサ子	古河 哲三	古河 哲三	風野 敏子
槇 圭子	渋谷 一彦	渡辺 敏子	山口 朝子	山口 朝子	小口 澄代
高野 好子	大類 英美	尾上 慶子	橘田 晟	橘田 晟	秋山 昭子
陶山 葉子	小柳利栄子	丸山 幸江	藤本 新八	藤本 新八	陶山 葉子
岡田 恵子	斎藤 弥生	常盤 町子	富田 且枝	富田 且枝	大熊 孝子
小松美代子	市川 光男	金野 峰子	須藤 茂	須藤 茂	脇田千恵子
中島豊美子	間島 春美	反町麻佐子	太田美登理	太田美登理	西山 正文
港 澄江	石黒 芳子	加治 雅子	鈴木 照子	鈴木 照子	松井 清美
加藤 征子	安西 利江	小澤 和子	吉岡 興村	吉岡 興村	赤松 紀子
菊池 静枝	木附 隆三	船山 陽子	田中 典子	石坂 郁子	霜島 幸子
和泉 陽子	藤澤 恵子	戸塚美由紀	原 早苗	原 早苗	和泉 陽子
咲花 香澄	若松富紀子	古越 富子	曾根原 守	宮岸みず枝	若松富紀子
渡辺 かほ	斉藤美智子	中山 伸子	吉岡 範子	福島智恵子	国崎 桑子
西原美枝子	秋葉 榮一	井上久美子	横田 昭子	横田 昭子	遠藤 信元
西森 恵子	山浦 由美	田島 佳子	榎本 昌代	榎本 昌代	遠藤 路子
窪田 弥生	奈良 悦子	小島 典子	三輪佐和子	三輪佐和子	星野 洋
杉坂 昌子	遠藤 正	岡部 哲子	新沼 敏和	新沼 敏和	遠藤 正
三枝 光子	笠井 祐子	石田志津子	川島 仁子	川島 仁子	青山 幸江
村田 那智	川井 尚美	太島真知子	植松 一枝	中村やす子	鶴間 紀子
宇土 悦子	土方 久枝	清水 妙子	平沼 譲	平沼 譲	八木 正子
能勢 典子	奈良 佳功	高橋 恵子	藤本 直美	藤本 直美	橋本 咲子
水澤 光子	橋本 幹雄	中山ひとみ	高橋 一江	島崎三和代	高橋 一江
高森 和子	今井 正喜	根岸 智子	森 昇市	森 昇市	白沢 修
杉本 洋子	大野 敏則	小林 浄子	原田 憲吾	志波 恵子	御木 聖子
浅田 豊子	久山 洋介	佛圓 京子	金子 好一	金子 好一	富沢 隆
田畑 恵子	富沢 幹彦	三輪ひとみ	永長 裕子	八木 最一	逸見 守
天野 節子	樋口由紀子	樋口由紀子	池谷 昌二	池谷 昌二	岡部 隆男
新沼 葉子	北野 一也	阿部貴美子	大野 馨	大野 馨	樋口 芳伸

授 業 研 究 主 題 一 覧

№	学 校 名	研 究 テ ー マ
1	日 野 第 一 小 学 校	1人1人の児童が意欲的に学習に取り組むための指導法の工夫 — 1人1人の読みの力を育てる —
2	日 野 第 二 小 学 校	地域の自然・社会を生かした生活科の研究 — 興味を持って積極的に取り組む子どもの育成を目指して —
3	日 野 第 三 小 学 校	ひとりひとりの児童に考える力をつけるための指導法の工夫
4	日 野 第 四 小 学 校	思いやりある子を育てる指導法の研究 — 性教育を通して —
5	日 野 第 五 小 学 校	豊かな心をもち、楽しく学び合う児童の育成 — 子どもに豊かな体験を —
6	日 野 第 六 小 学 校	自ら学ぶ子どもを育てる指導法の研究 教科 — 体育
7	潤 徳 小 学 校	主体的な学習態度を育てる指導法の研究（図工科）
8	平 山 小 学 校	自分で考え最後までやり抜く力を育てる
9	日 野 第 八 小 学 校	児童の主体性を高める指導法の研究
10	百 草 台 小 学 校	考える力を育てる指導法の研究
11	滝 合 小 学 校	子どもが意欲的に学ぶ指導法の研究 — 地域の素材を生かして —
12	高 幡 台 小 学 校	子どもが意欲をのばす指導法
13	日 野 第 七 小 学 校	児童一人ひとりが自ら学ぶ学習活動の工夫 — 文学教材の読みを深めるための工夫（国語） —
14	南 平 小 学 校	児童が主体性を生かす学習活動の研究
15	程 久 保 小 学 校	子どもの意欲を引き出す学習指導 — 地域教材の活用をとおして —
16	旭 が 丘 小 学 校	子どもによく考えさせる授業のあり方
17	平 山 台 小 学 校	めあてを持ち、生き生きと学習する指導法の研究
18	東 光 寺 小 学 校	一人ひとりが生き生きと学習に取り組む指導法
19	三 沢 台 小 学 校	集団の中で意欲的にやりぬく子どもを育てる指導法 — 体育科を通して —
20	仲 田 小 学 校	健康な心と体づくり — 一人一人を大切に、互いに高めあう学習指導の工夫 —
21	日 野 第 一 中 学 校	教材による授業研究
22	日 野 第 二 中 学 校	視聴覚機器の活用
23	七 生 中 学 校	生徒の自主的活動を育てる指導の工夫
24	日 野 第 三 中 学 校	個性・創造性・自主性を育てる指導の工夫 — 生き生きとした中学校生活を過ごさせるために —
25	日 野 第 四 中 学 校	・人権尊重教育の推進 ・新学習指導要領（導徳・特別活動） の研修と指導計画の立案および指導実践
26	三 沢 中 学 校	生徒の主体的な活動を促す指導
27	大 坂 上 中 学 校	3年間を見通した進路指導のあり方
28	平 山 中 学 校	小集団を生かした学級活動、学習活動のすすめ方 小・中学校の連帯を生かした生徒指導のあり方

研 究 奨 励 一 覧

学 校 奨 励

	学 校 名	研 究 テ ー マ
1	仲 田 小 学 校	一人一人を大切にし、互いに高めあう学習指導法の工夫
2	日野第一中学校	生徒一人一人が自己を正しく理解し、主体的に活動する指導法の研究
3	大 坂 上 中 学 校	一人一人を生かす進路指導の研究 ― 豊かな経験と広い視野をもって―

団 体 奨 励

1	日野第一小学校	児童の主体的な学習活動を推進するための評価の在り方
2	日野第四小学校	地域の素材を生かした体験的な歴史学習
3	日野第六小学校	老人と共に心豊かに生きる子どもの育成
4	日野第六小学校	豊かな人間性の育成“触れ合い”を通して
5	日野第七小学校	ソプラノ・リコーダの導入と演奏法
6	滝 合 小 学 校	生活科の趣旨を生かした授業の在り方
7	滝 合 小 学 校	子どもが意欲的に取り組む学習の在り方―稲づくりの体験を通して―
8	滝 合 小 学 校	地域の郷土史を生かした社会科の授業
9	三 沢 台 小 学 校	体験的な学習活動を通し、豊かなやさしい心を育てる
10	程久保小学校	小規模校における望ましいチーム・ティーチングの在り方 ― 特に異年齢集団による教育活動を中心として―
11	仲 田 小 学 校	一人一人を高める指導の工夫
12	三 沢 中 学 校	コンピュータを活用した個に応じる指導の基礎研究
13	平 山 中 学 校	英語指導助手とのチーム・ティーチングによるコミュニケーション能力の育成
14	日野第四中学校	コンピュータを活用したドリル学習、チュートリアル学習の基礎研究

個 人 奨 励

1	日野第一小学校	一人一人の生き方をみつめる性の指導の在り方
2	百草台小学校	人間的な触れ合いを重視した学級活動・児童会活動の在り方
3	旭が丘小学校	多摩地方を中心とした地層の観察とその教材化
4	仲 田 小 学 校	本校における肥満傾向児の指導について
5	仲 田 小 学 校	肥満傾向児の指導
6	仲 田 小 学 校	児童自身がお互いを高め合える体育学習（グループ学習）

日野市立小・中学校使用教科書

1. 小 学 校

国 語 科	「小 学 国 語」	(日 本 書 籍)
	「小学書き方」	(日 本 書 籍)
社 会 科	「新訂 新しい社会」	(東 京 書 籍)
	「小学校社会科地図帳 四訂版」	(帝 国 書 院)
算 数 科	「小学校算数」	(学 校 図 書)
理 科	「新訂 新しい理科」	(東 京 書 籍)
音 楽 科	「新訂 新しい音楽」	(東 京 書 籍)
図画工作科	「図 画 工 作」	(日本文教出版)
家 庭 科	「新訂 新しい家庭」	(東 京 書 籍)

2. 中 学 校

国 語 科	「新版 中学国語」	(教 育 出 版)
	「中 学 書 写」	(光 村)
社 会 科	「社会科中学新地理 四訂版 世界の人々とわが国土」	(帝 国 書 院)
	「中学社会 歴史的分野」	(日 本 書 籍)
	「新訂 新しい社会 公民」	(東 京 書 籍)
	「中学校社会科地図 四訂版」	(帝 国 書 院)
数 学 科	「新訂 新しい数学」	(東 京 書 籍)
理 科	「新訂 新しい科学(1.2分野)」	(東 京 書 籍)
音 楽 科	「新訂 中学音楽」	(教 育 出 版)
	「新訂 中学生の器楽」	(音 楽 の 友 社)
美 術 科	「美 術」	(日本文教出版)
保健体育科	「改訂 中学 保健体育」	(学 習 研 究 社)
技術家庭科	「技術・家庭 上・下」	(開 隆 堂)
外国語科	「NEW CROWN ENGLISH SERIES NEW EDITION」	(三 省 堂)

就職・進学状況の推移（昭和60～平成2年度）

（ ）はパーセント

年 度	性 別	高 等 学 校 本 科															職業教育機関等	就業・その他			卒 業 者 総 数	
		総 計	高等学校全日制課程							高等学校定時制課程				高等 専門 学校	高等 学校 通信 制	盲養 ・ 護 ろ う 学 校		専修 職業 訓練 各種 学校	計	就 職 者		無 (在 家 庭 者)
			計	公 立			私 立			計	公 立		就 職 進 学 者									
				普 通 科	職 業 科	小 計	普 通 科	職 業 科	小 計		普 通 科	職 業 科										
60	計	2,260	2,174	1,016	160	1,176	929	69	998	71	40(私6)	25	19	5	1	9	53	60	48	12	2,373	
	男女	1,198	1,132	519	80	599	486	47	533	54	24(私6)	24	17	5	1	6	34	43	33	10		1,275
		1,062	1,042	497	80	577	443	22	465	17	1	1	2	0		3	19	17	15	2		1,098
61	計	2,418	2,341	1,127	174	1,301	984	56	1,040	66	36	16	14	8	2	1	100	60	36	24	2,578	
	男女	1,248	1,187	554	92	646	502	39	541	50	24(私4)	8(私1)	13	8	2	1	49	37	23	14		1,334
		1,170	1,154	573	82	655	482	17	499	16	8	7	1	0	0	0	51	23	13	10		1,244
62	計	2,384	2,284	1,005	190	1,195	1,017	72	1,089	74	46	9	19	4	15	7	65	49	21	28	2,498	
	男女	1,201	1,128	483	105	588	487	53	540	52	31(私1)	7	13	4	14	3	31	35	16	19		1,267
		1,183	1,156	522	85	607	530	19	549	22	14	2	6	0	1	4	34	14	5	9		1,231
63	計	2,398	2,320	1,092	201	1,293	924	103	1,027	48	35	13	4	6	19	5	96	44	29	15	2,538	
	男女	1,260	1,202	594	111	705	432	65	497	36	26	10	1	4	17	1	45	29	19	10		1,334
		1,138	1,118	498	90	588	492	38	530	12	9	3	3	2	2	4	51	15	10	5		1,204
元	計	2,108	2,002	871	183	1,054	864	84	949	67	39	28	13	4	30	4	59	47	31	16	2,216	
	男女	1,117	1,032	449	83	532	448	52	500	49	27	22	8	4	29	3	28	26	19	7		1,173
		991	970	422	100	522	416	32	949	18	12	6	5	0	1	1	31	21	12	9		1,043
2	計	1,983	1,886	830	195	1,025	802	59	861	67	32(私6)	28(私1)	10	10	18	8	63	52	30	22	2,098	
	男女	1,018	939	440	89	529	375	35	410	57	24(私6)	26(私1)	8	10	12	6	28	44	26	18		1,090
		965	947	390	106	496	427	24	451	10	8	2	2	0	6	2	35	8	4	4		1,008

園児・児童・生徒、学級数

＜平成3年5月1日現在＞

上段3年度
下段2年度 () 学級数

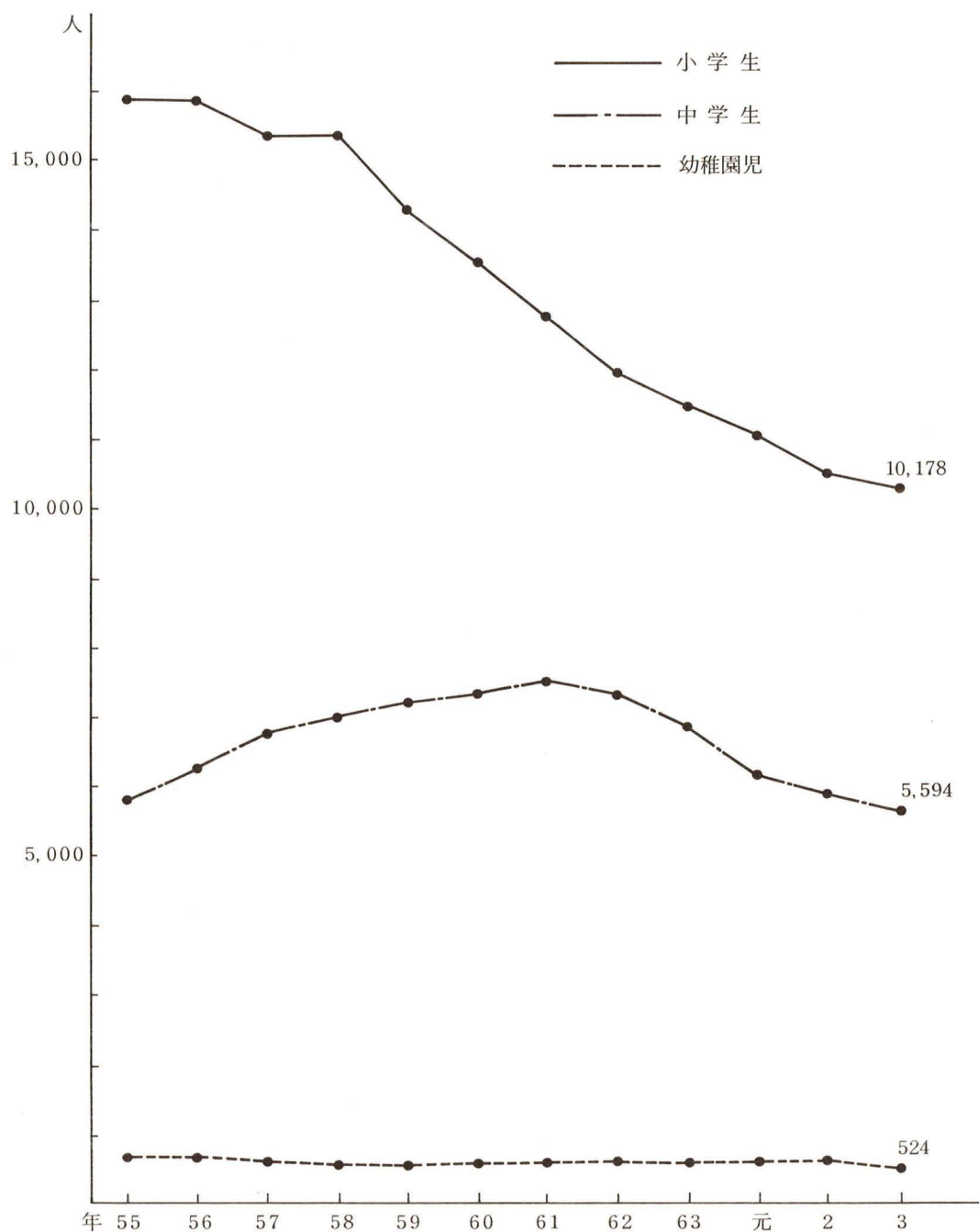
№	小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	心障
1	日野第一小学校	71 (2) 76 (2)	72 (2) 84 (3)	85 (3) 83 (3)	78 (2) 87 (3)	88 (3) 95 (3)	96 (3) 95 (3)	488 (15) 520 (19)	
2	日野第二小学校	106 (3) 108 (3)	108 (3) 112 (3)	116 (3) 130 (4)	124 (4) 114 (3)	108 (3) 144 (4)	149 (4) 121 (3)	711 (20) 729 (20)	
3	日野第三小学校	77 (2) 71 (2)	73 (2) 75 (2)	75 (2) 109 (3)	106 (3) 94 (3)	93 (3) 86 (3)	83 (3) 106 (3)	507 (15) 541 (16)	15 (3) 15 (3)
4	日野第四小学校	73 (2) 74 (2)	70 (2) 81 (3)	78 (2) 96 (3)	98 (3) 92 (3)	94 (3) 92 (3)	90 (3) 87 (2)	503 (15) 522 (16)	
5	日野第五小学校	90 (3) 105 (3)	105 (3) 113 (3)	108 (3) 121 (3)	120 (3) 111 (3)	105 (3) 106 (3)	108 (3) 99 (3)	636 (18) 658 (19)	3 (1) 3 (1)
6	日野第六小学校	97 (3) 89 (3)	87 (3) 89 (3)	90 (3) 113 (3)	106 (3) 103 (3)	103 (3) 97 (3)	98 (3) 111 (3)	581 (18) 602 (18)	
7	潤徳小学校	60 (2) 47 (2)	44 (2) 60 (2)	62 (2) 50 (2)	50 (2) 61 (2)	60 (2) 72 (3)	70 (2) 67 (2)	346 (12) 357 (12)	
8	平山小学校	67 (2) 68 (2)	65 (2) 75 (2)	77 (2) 73 (2)	70 (2) 89 (3)	88 (3) 93 (3)	93 (3) 105 (3)	460 (14) 503 (15)	
9	日野第八小学校	101 (3) 103 (3)	99 (3) 107 (3)	112 (3) 84 (3)	87 (3) 101 (3)	100 (3) 89 (3)	89 (3) 99 (3)	588 (18) 583 (18)	
10	百草台小学校	79 (2) 88 (3)	84 (3) 76 (2)	71 (2) 87 (3)	82 (3) 81 (2)	79 (2) 103 (3)	96 (3) 107 (3)	491 (15) 542 (16)	
11	滝合小学校	99 (3) 125 (4)	117 (3) 121 (4)	113 (3) 102 (3)	101 (3) 121 (4)	116 (3) 128 (4)	125 (4) 136 (4)	671 (19) 733 (23)	
12	高幡台小学校	69 (2) 71 (2)	68 (2) 71 (2)	69 (2) 78 (2)	76 (2) 72 (2)	71 (2) 92 (3)	88 (3) 82 (2)	441 (13) 466 (13)	
13	日野第七小学校	96 (3) 102 (3)	102 (3) 116 (3)	118 (3) 111 (3)	113 (3) 92 (3)	91 (3) 110 (3)	110 (3) 120 (3)	630 (18) 651 (18)	
14	南平小学校	74 (2) 88 (3)	83 (3) 75 (2)	76 (2) 83 (3)	82 (3) 80 (2)	87 (3) 99 (3)	99 (3) 111 (3)	501 (16) 536 (16)	
15	程久保小学校	61 (2) 75 (2)	74 (2) 54 (2)	55 (2) 57 (2)	57 (2) 70 (2)	71 (2) 78 (2)	76 (2) 58 (2)	394 (12) 392 (12)	
16	旭が丘小学校	164 (5) 149 (4)	147 (4) 145 (4)	151 (4) 133 (4)	134 (4) 120 (4)	125 (4) 138 (4)	139 (4) 129 (3)	860 (25) 814 (23)	
17	平山台小学校	39 (1) 32 (1)	33 (1) 43 (2)	41 (2) 43 (2)	45 (2) 44 (2)	47 (2) 63 (2)	66 (2) 58 (2)	271 (10) 283 (11)	12 (2) 14 (2)
18	東光寺小学校	52 (2) 72 (2)	73 (2) 73 (2)	67 (2) 61 (2)	60 (2) 51 (2)	50 (2) 66 (2)	63 (2) 61 (2)	365 (12) 384 (12)	
19	三沢台小学校	50 (2) 52 (2)	50 (2) 66 (2)	70 (2) 59 (2)	61 (2) 49 (2)	54 (2) 78 (2)	77 (2) 78 (2)	365 (12) 382 (12)	
20	仲田小学校	56 (2) 56 (2)	55 (2) 66 (2)	66 (2) 61 (2)	61 (2) 46 (2)	46 (2) 58 (2)	58 (2) 52 (2)	342 (12) 339 (12)	
計		1,583 (48) 1,651 (50)	1,612 (49) 1,702 (51)	1,704 (49) 1,734 (54)	1,718 (53) 1,678 (53)	1,685 (53) 1,887 (57)	1,876 (57) 1,882 (53)	10,148 (309) 10,534 (318)	30 (6) 32 (6)

№	中学校名	1 年	2 年	3 年	計	心 障
1	日野第一中学校	225 (6) 244 (7)	241 (7) 246 (7)	248 (7) 246 (6)	714 (20) 736 (20)	
2	日野第二中学校	195 (5) 263 (7)	261 (7) 223 (6)	219 (6) 253 (6)	675 (18) 739 (19)	
3	七 生 中 学 校	176 (5) 239 (6)	248 (7) 191 (5)	192 (5) 230 (6)	616 (17) 660 (17)	11 (2) 11 (2)
4	日野第三中学校	242 (7) 303 (8)	297 (8) 258 (7)	256 (7) 286 (7)	795 (22) 847 (22)	
5	日野第四中学校	276 (7) 272 (7)	269 (7) 276 (7)	280 (7) 293 (7)	825 (21) 841 (21)	
6	三 沢 中 学 校	199 (5) 240 (6)	240 (6) 232 (6)	232 (6) 265 (6)	671 (17) 737 (18)	
7	大 坂 上 中 学 校	242 (7) 242 (7)	240 (6) 241 (7)	243 (7) 275 (7)	725 (20) 758 (21)	9 (1) 8 (1)
8	平 山 中 学 校	181 (5) 175 (5)	177 (5) 192 (5)	195 (5) 241 (6)	553 (15) 608 (16)	
計		1,741 (47) 1,978 (53)	1,979 (53) 1,859 (50)	1,874 (50) 2,089 (51)	5,574(150) 5,926(154)	20 (3) 19 (3)

№	幼稚園名	4 歳 児	5 歳 児	計
1	第 一 幼 稚 園	57 (2) 60 (2)	65 (2) 64 (2)	122 (4) 124 (4)
2	第 二 幼 稚 園	24 (1) 30 (1)	40 (2) 37 (2)	64 (3) 67 (3)
3	第 三 幼 稚 園	30 (1) 30 (1)	34 (1) 38 (2)	64 (2) 68 (3)
4	第 四 幼 稚 園	29 (1) 24 (1)	25 (1) 27 (1)	54 (2) 51 (2)
5	第 五 幼 稚 園	23 (1) 16 (1)	15 (1) 31 (1)	38 (2) 47 (2)
6	第 六 幼 稚 園	26 (1) 25 (1)	26 (1) 31 (1)	52 (2) 56 (2)
7	第 七 幼 稚 園	60 (2) 60 (2)	70 (2) 66 (2)	130 (4) 126 (4)
計		249 (9) 245 (9)	275 (10) 294 (11)	524 (19) 539 (20)

公立幼稚園児、小学校児童、中学校生徒の数の推移

(平成3年5月1日現在)



東京都教育研究員・教育開発委員会委員

＜教育研究員＞

日野第一小学校	教 諭	寺 本 喜 和	社 会 科
滝 合 小 学 校	教 諭	平 島 孝 夫	算 数 科
日野第六小学校	教 諭	小 松 美代子	家 庭 科
日野第四小学校	教 諭	逸 見 明 男	道 徳
百草台小学校	教 諭	高 橋 茂 子	特別活動
三沢台小学校	教 諭	鶴 間 紀 子	課 題 B（生活科）
程久保小学校	養教諭	田 島 佳 子	学校保健
七 生 中 学 校	教 諭	井 尻 郁 夫	社 会 科
大坂上中学校	教 諭	渡 辺 やす子	家 庭 科
日野第一中学校	教 諭	清 水 肇	特別活動
大坂上中学校	教 諭	大 矢 芳 夫	教育課題

＜教育開発委員会委員＞

日野第二幼稚校	教 諭	強 矢 るり子	幼児教育
仲 田 小 学 校	教 諭	吉 田 健	体 育 科
三 沢 中 学 校	教 諭	吉 岡 泰 光	美 術 科

市 立 小 ・ 中 学

番 号	校 名	開校 年度	建 築 年 度 増改築	校地面積 ㎡	校舎保有 面 積 ㎡	普通教室 (保有)
1	日 野 一 小	M 6	37. 38. 39	20,947	4,370	22
2	日 野 二 小	M 7	42. 43. 48. 53～54	11,640	4,728	24
3	日 野 三 小	S 23	41. 42. 47. 49～50	16,806	6,012	26(5)
4	日 野 四 小	M 6	49. 40. 44	15,292	3,839	19
5	日 野 五 小	S 34	H 2	16,765	6,349	23
6	日 野 六 小	S 40	38. 40. 43. 48.	19,833	6,025	31
7	潤 徳 小	M 6	39. 40. 45	15,376	4,784	28
8	平 山 小	M 6	39. 40. 41. 44	15,845	4,388	22
9	日 野 八 小	S 44	44. 47. 49.	17,601	5,102	25
10	百 草 台 小	S 45	44. 48. 50	15,482	5,248	26
11	滝 合 小	S 46	45～46	20,458	5,544	26
12	高 幡 台 小	S 47	46. 48. 52	16,017	4,983	25
13	日 野 七 小	S 48	47～48. 52～53. 57	13,509	4,806	22
14	南 平 小	S 49	48～49. 53. 56	16,020	5,254	26
15	程 久 保 小	S 52	49～50. 50～51	16,988	4,092	18
16	旭 が 丘 小	S 52	51～52. 56	16,642	5,463	26
17	平 山 台 小	S 53	52～53. 54	18,536	4,939	18(2)
18	東 光 寺 小	S 54	53～54	19,586	4,356	18
19	三 沢 台 小	S 55	54～55	15,170	4,463	18
20	仲 田 小	S 59	58～59	15,660	3,434	12
1	日 野 一 中	S 22	37. 38. 40. 41. 50. 58	19,386	6,113	25
2	日 野 二 中	S 29	34. 35. 38. 41. 49～50. 60～61	21,150	6,596	25
3	七 生 中	S 22	36. 38. 44. 45. 50～51. 59～60	20,367	5,934	21(2)
4	日 野 三 中	S 45	45. 47. 49. 58～59	21,520	7,287	28
5	日 野 四 中	S 48	47. 49. 52. 61～62	18,955	6,486	25
6	三 沢 中	S 52	51～52. 58～59	23,623	7,147	25
7	大 坂 上 中	S 55	54～55. 57	19,389	6,630	25(3)
8	平 山 中	S 56	55～56	18,200	5,967	22

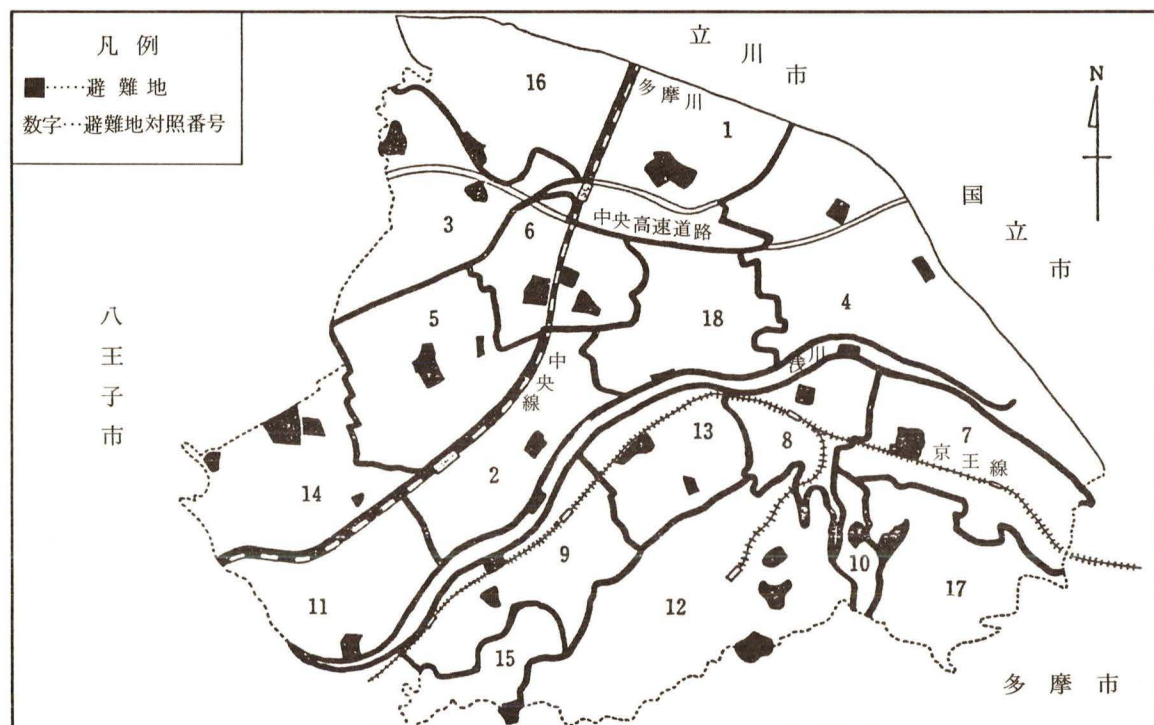
校 施 設 一 覧

平成3年5月1日現在

教											体育館 ㎡	プー ル 大(25×11m) 小(10×5m)	給食室 ㎡	学級数 ()心障学級
特 別 教 室														
理科	音楽	図工	美術	技術	家庭	視覚	図書	食堂	特別活動	教育相談				
1	1	2			1		1				760	大・小	179	15
1	2	1			1	1	1		1		761	〃	172	20
1	2	2			2		1		1		761	〃	144	15 (3)
1	1	1			1		1				765	〃	130	15
2	2	1			1		1				809	〃	349	18 (1)
1	1	1			1		1		1		795	〃	213	18
1	1	1			1		1				779	〃	204	12
1	1	1			1		1				545	〃	147	14
1	1	1			1		1				710	〃	231	18
1	1	1			1		1				752	〃	188	15
1	2	1			1		1				701	〃	256	19
1	1	1			1		1				714	〃	226	13
1	1	1			1		1				736	〃	219	18
1	1	2			1		1				734	〃	188	16
1	1	1			1		1				760	〃	216	12
1	1	1			1		1				760	〃	213	25
1	1	1			1		1		1		760	大・小12×5m	268	10 (2)
1	1	1			1		1				760	大・小	214	12
1	1	1			1		1				757	〃	215	12
1	1	1			1		1				760	〃	224	12
2	2		2	2	2		1	1		2	842	大	765	20
2	2		2	2	2		1	1			1,075	〃	701	18
2	2		2	2(1)	2(1)		1	1	1		765	〃	654	17 (2)
3	3		2	3	2		1	1			1,067	〃	878	22
2	2		2	2	2	2	1	1			1,136	〃	805	21
2	2		2	2	2	2	1	1			1,118	〃	718	17
2	2		1	2(1)	2(1)		1	1		1	1,118	〃	599	20 (1)
2	2		2	2	2		1			1	1,189	〃	197	15

避難場所と地区割当表

番号	避難場所	収容人口	避難地区	番号	避難場所	収容人口	避難地区
1	第1中学校・市民の森スポーツ公園	人 28,000	日野の一部	11	滝合小学校	人 8,500	東平山1.2.3.丁目 西平山1.2.3.4丁目
2	豊田児童公園 第二小学校	11,000	東豊田1.2.4丁目 豊田1～4丁目	12	高幡台小学校 第三中学校 明星大	22,000	程久保の大部分 高幡台団地
3	第三小学校 日野自動車グラウンド	23,000	新町1.2.4.5丁目 日野台1.2.3.4.5丁目	13	鹿島台公園 南平小学 南平体育館	12,500	南平1～5丁目
4	日野総合グラウンド 第四小学校	22,500	日野の一部、新井 石田、下田の一部	14	旭が丘小、第四中 都立科学技術大学 旭が丘東公園	30,000	旭が丘の全部 西平山5丁目
5	多摩平団地自然公園 第二中学校 多摩平第一公園	21,000	多摩平1～6丁目 東豊田3丁目	15	平山台小学校	7,500	平山1.2.3丁目 平山苑
6	第七小学校 日野中央公園 実践女子大	23,000	多摩平の一部、神明 上区画整理区域内	16	東光寺小学校	8,600	栄町1～5丁目 新町3丁目
7	第八小学校 三沢中学校	16,000	百草、落川、三沢の 一部	17	三沢台小学校 百草台自然公園	13,000	百草、三沢の一部 日本信販造成地
8	新井橋際河川敷 潤徳小学校	11,000	高幡、新井の一部	18	駒形公園	10,000	日野の一部、堀之内 上田、宮の全部
9	平山小学校 平山中学校	13,000	平山4.5.6丁目 南平6.7.8.9丁目	計	18箇所	286,600	
10	百草台小学校	6,000	百草団地、百草、 程久保の一部				





園 名 日野市立第一幼稚園
所 在 地 日野市多摩平 4-3
電 話 0425-81-4124・4105
順 路 豊田駅より北へ徒歩約 10 分
園 児 数 男 57 名 女 65 名 計 122 名

園長氏名 三 上 道 子

1. 沿革の概要

- 昭 40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置
さる。学級 7、定員 280 名、職
員教諭 8 名、用務員 1 名。
園敷地 2,700 m²、園舎 777 m²、
プレハブ 1 棟。
4. 10 開園、園児 280 名
5. 25 創立記念日とする。
5. 30 園章制定
- 昭 43. 9. 6 プール完成（中庭）
12. 20 ホール増築完成
- 昭 44. 6. 1 プレハブ園舎、ベランダ増設工
事完成
- 昭 48. 3. 14 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会（第一年次）
10. 23 同上研究発表会（第二年次）
- 昭 50. 3. 10 10 周年記念発表会、園歌制定
12. 20 園舎（プレハブ）改築完成
保育室 3、プレイコーナー、図
書コーナー各 1、資料室 1、屋
上、トイレ、物置 1
- 昭 58. 9. 1 幼児教育センターの開設
昭 60. 12. 17 園舎外周緑化工事完成
昭 61. 11. 29 ホール屋根改装工事完成

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
江 角 正 子	昭 40. 4. 1～昭 56. 3. 31
光 永 久 夫	昭 56. 4. 1～昭 57. 3. 31
田 中 光 一	昭 57. 4. 1～昭 60. 3. 31
上 山 洋一郎	昭 60. 4. 1～昭 62. 3. 31
高 橋 千鶴子	昭 62. 4. 1～平 3. 1. 9
三 上 道 子	平 3. 1. 10～現在

3. 地域の環境

多摩平団地および周辺住宅地の中心にある。

園舎西側は豊田駅に通じる道路、北側は甲州街
道に平行する道路に面し、騒音と交通量が多い。
いちょう並木が続き、近くには公園が点在し、
比較的自然環境には恵まれている。

4. 教育目標

教育基本法に基づき、人間尊重の精神を基調
として、生涯にわたる人間形成の基礎を培い、
社会変化に主体的に対応し、たくましく生きる
心身ともに健康で、豊かな情操を育むとともに、
創造性豊かな幼児の育成を目指す。

- 明るく元気な子ども
- 仲良く遊べる子ども
- 思いやりのある子ども

5. 本年度の指導の重点

- 児ひとりひとりの特性を理解した上、主体
性、協調性を培い、望ましい友達関係や正し
い生活習慣の確立をはかる。そして安全を確
保して園生活が楽しくすごせる子供を育てる。
- 四季の自然や飼育栽培物との触合いを多くも
たせ、健康と心情面の豊かさを培う。
- 幼稚園教育の円滑化と活性化を図るため、園
と家庭との連携を密にする。

6. 本年度の研究主題

「幼児理解と指導のあり方」

－異年令児との交流を通して－

7. 本園の特色

- 幼児教育センターとの連携により、隣接する
「たまだいら保育園」との保育交流を密にし
て、地域の幼児教育という広い視点に立ち改
善を図る。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳	研 究 員
1	井 上 宏 子（H 2 年）



園 名 日野市立第二幼稚園
所 在 地 日野市平山 4-5-4
電 話 0425-91-4125
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩 10 分
園 児 数 男 25 名 女 40 名 計 65 名

園長氏名 槇 島 静 子

1. 沿革の概要

- 昭 40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校内に設置
5. 10 開園記念日と定める
5. 30 園章制定
昭 46. 3. 10 日野市研究協力園として研究発表を行う
昭 48. 2. 21 東京都交通安全教育推進学校研究発表会（第一年次）
昭 49. 10. 22 東京都交通安全教育推進学校研究発表会本発表（第二年次）
12. 14 創立 10 周年記念式典開催
昭 51. 4. 6 保育室、廊下、職員室、医務室床、改装完成
昭 53. 9. 30 図書コーナーに改装完成
昭 56. 4. 6 市水道管引込工事完了
昭 57. 3. 8 屋根・ホール床塗装完成
昭 57. 4. 10 二年保育再開
昭 58. 8. 23 園舎内装完成
昭 60. 4. 1 新園舎完成移転

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
後 藤 正 太	昭 40. 4 ～ 昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4 ～ 昭 47. 3
小 野 晃	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
深 澤 真 人	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
林 元 美	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
伊 藤 智 章	昭 58. 4 ～ 昭 61. 3
蓮 池 守 一	昭 61. 4 ～ 昭 62. 3
坂 口 嘉津子	昭 62. 4 ～ 平 元 3
槇 島 静 子	平 元 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

市の南西部にあり、平山小学校に隣接している。南に多摩丘陵がづらなり、近くには平山城

址公園、浅川土手、梨畑や田んぼなどがあり自然環境に恵まれている。四季を通じて野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、幼児、保護者、地域の実態及び環境をふまえて心身共に健康で、豊かな心をもち、主体的に生きようとする幼児の育成をめざす。

- たくましい身体と心をもつこども（重点目標）
- 進んで取り組みよく考えてやりぬくこども
- 身近かな自然を大切にすることも
- 感動する心をもち素直に表現できるこども
- 友達と一緒に仲良く遊べるこども

5. 本年度の指導の重点

幼児一人一人の個性を生かす指導計画を作成し、主体的に生きようとする幼児を育てる。

4 才児○教師と幼児の信頼関係を築き安定した情緒で自己を十分に発揮し、心身の調和のとれた発達を促す。

○基本的な生活習慣の自立や集団の中での望ましい態度を育成する。

5 才児○いろいろな活動、友だちへ自ら関わっていく中で、相手を尊重する気持ちや思いやり、協力する態度を育てる。
○自然等、身近な環境へ興味・関心をもち、積極的に身体を動かし、様々な経験を積み重ねる中で、感じたことや考えたことを表現する力を育てる。

6. 本年度の研究主題

「一人ひとりの幼児を的確に理解するために個人観察のとり方と生かし方」

7. 本園の特色

○平山城址公園や河原など、自然環境を利用し四季を通じて自然に親しめる活動を、多くとり入れている。



園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野本町 2-14-1
電 話 0425-81-7127
順 路 J R 日野駅下車 東へ 10 分
園 児 数 男 32 名 女 31 名 計 63 名

園長氏名 山 本 智恵子

1. 沿革の概要

- 昭 41. 4. 11 日野市立第三幼稚園として日野
第一小学校内に設置
学級数 4、園児数 143 名
5. 4 開園記念日と定める
- 昭 42. 5. ブロック塀完成
11. 観察池設置
- 昭 46. 4. 市研究協力園
- 昭 47. 3. 屋外飼育舎新設
- 昭 51. 2. 区画整理のため、正門移動
園庭整備 10 周年記念研究発表
- 昭 53. 8. ホール、保育室等床改装完成
- 昭 54. 8. 廊下床改装完成
- 昭 56. 3. 園歌制定
- 昭 56. 4. 2 年保育再開
- 昭 60. 8. 保育室内装
- 昭 63. 8. ホール屋根改装
- 平 2. 3. 正門扉改装

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
吉 田 辰 次	昭 41. 4 ～ 41. 5
永 野 林 弘	昭 41. 6 ～ 42. 3
吉 田 辰 次	昭 42. 4 ～ 44. 3
下 田 忍	昭 44. 4 ～ 50. 3
溝呂木 桂 次	昭 50. 4 ～ 55. 3
村 田 安 正	昭 55. 4 ～ 58. 3
古 谷 洋 太	昭 58. 4 ～ 62. 3
平 向 邦 江	昭 62. 4 ～ 63. 3
沖 山 英 代	昭 63. 4 ～ 平 3. 3
山 本 智恵子	平 3. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれた所に位置する。最近、宅地化が進み周囲

の自然も失われ、こども達の遊び場は限られてきている。その反面、市役所、市民会館、図書館、公民館、生活保健センター、公園など文化的な環境に恵まれた場所になりつつある。

4. 教育目標

一人一人の個性を尊重し、心身共に健康なからだと自主・自律の精神の育成を図り、人間形成の基礎を培うために、

○丈夫なからだで、元気に遊ぶ子ども。

○よく考えて取り組み、自分から進んで行動できる子ども。

○豊かな心をもち、思いやりのある子ども。

5. 本年度の指導の重点

○幼児の生活実態、心身の発達に即して指導計画・内容・方法の改善、充実に努める。

○基本的生活習慣を身につけさせ、望ましい社会性の芽ばえを培い、豊かな情操を涵養する。

○地域の特性を生かし、多様な体験を通して、豊かな感性を涵養すると共に、心身の健全な発達を促す。

6. 本年度の研究主題

鬼遊びを通して幼児理解と教師の援助のあり方を考察する。

7. 本園の特色

○クラス同志や異年齢児が交流できる場を多く設け、互いに育ち合う機会をつくる。

○自然環境を生かした園外保育や親子で共通体験できる活動を多く取り入れ、自然に親しませたり、幼児期の経験を豊かにしたりする。

8. その他

内 訳	研 究 員
1	渡 辺 明 子 (63 年)



園 名 日野市立第四幼稚園
所 在 地 日野市石田 431-6
電 話 0425-83-3903
順 路 立川―高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩 5 分
園 児 数 男 23 名 女 31 名 計 54 名

園長氏名 上 野 美津枝

1. 沿革の概要

- 昭 48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園
学級数 2、園児数 41 名
10. 9 落成式挙
11. 1 開園記念日と定める
昭 51. 8. 30 各保育室前、テラス完成
昭 54. 9. 8 廊下床、足洗い場改装完成
昭 56. 9. 30 各保育室、教材整理棚完成
昭 57. 11. 11 創立 10 周年記念式典挙
園歌制定
昭 60. 8. 31 職員室床木製改装完了
昭 62. 8. 26 廊下改修、屋根、外装塗装
平 2. 8. 30 各保育室床、遊戯室床、壁塗装

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
内 藤 達 夫	昭 48. 4. 1 ～ 52. 3. 31
釜 池 博	昭 52. 4. 1 ～ 57. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭 57. 4. 1 ～ 60. 3. 31
田 中 光 穂	昭 60. 4. 1 ～ 62. 3. 31
梶 村 和 子	昭 62. 4. 1 ～ 平元 3. 31
上 野 美津枝	平 元 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野橋より東へ約 1 km 入った多摩川の土手近くにあって、日野第四小学校に隣接している。田畑や梨園、農業用水路等自然環境にめぐまれているが、宅地化が進み、子どもの遊べる場所は少ない。

4. 教育目標

人間形成の基礎・基本を身につけ、個性豊かな主体的に生活する幼児の育成をめざす。

- 明るく元気な子ども
- 心の豊かな子ども
- 意欲的な子ども

5. 本年度の指導の重点

園外保育・動植物の世話・絵本・童話・音楽等本物に触れる機会をできるだけ多く持ち、幼児自身が直接体験をし、感動することにより、感性豊かな子どもを育てる。

4 歳児○教師との信頼関係を築き、一人一人が安定した遊びの中で自分を出しながら多様な経験を積み重ねる。

5 歳児○友達と一緒に遊びを進めたり、深めたりしながら自己充実をはかり、お互いの個性や能力を認めあう。

6. 本年度の研究主題

「表現力を育てるための指導法」

7. 本園の特色

○異年令の交流を計画的に取り入れ、互いに学び合うようにする。

○自然環境を生かし、園外保育を通して、四季折々の動植物への関心と親しみを持たせ、自然の中で存分遊ぶようにする。

○ひまわり号の活用や、音楽などを積極的に取り入れ、教師と子どもが共感しあい、自己発揮できる環境の設定に配慮している。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳	研 究 員	開 発 委 員
1	上野美津枝(53年)	上野美津枝(52年)



園 名 日野市立第 5 幼稚園
所 在 地 日野市三沢 175
電 話 0425-92-0432
順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ徒歩 13 分
園 児 数 男 19 名 女 19 名 計 38 名

園長氏名 酒 匂 瑠美子

1. 沿革の概要

- 昭 49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置される。
学級数 2、定員 80 名
教諭 3 名、用務員 1 名
4. 15 第一回入園式挙行 園児数 61 名
11. 1 落成式を挙行 同日を開園記念日とする。
- 昭 50. 1. 20 園庭拡張される。
- 昭 50. 3. 20 第一回修了式 修了児 70 名
- 昭 53. 4. 1 1 学級増のためプレハブ教室増築、学級数 3、定員 120 名
- 昭 56. 4. 1 学級数 2、定員 80 名
- 昭 59. 2. 25 創立 10 周年記念式挙行
- 昭 59. 3. 31 プレハブ教室撤去
- 昭 60. 4. 1 二年保育開始、学級数 2
- 昭 61. 3. 15 教材室増設
- 昭 63. 3. 31 園庭整備と側溝・危険物倉庫・浄化槽フェンス設置
- 昭 63. 8. 31 園舎外壁と屋根塗装
- 平 2. 10. 6 ホール屋根取替・トイレ改修
- 平 3. 3. 16 第 17 回修了式挙行 修了児 32 名、進級児 14 名
- 平 3. 4. 10 第 18 回入園式挙行
二年保育 23 名
一年保育 15 名) 38 名

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	昭 49. 4. 1 ～ 53. 3. 31
古 谷 洋 太	昭 53. 4. 1 ～ 58. 3. 31
渋谷 義 一	昭 58. 4. 1 ～ 61. 3. 31
櫻 田 鈴 子	昭 61. 4. 1 ～ 平 3. 3. 31
高 野 英 男	平 3. 4. 1 ～ 平 3. 4. 30
酒 匂 瑠美子	平 3. 5. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の位置にあり、周囲はまだ自然に恵まれており、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動尊、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

- 明るく元気な子ども
- 豊かな心と思いやりのある子ども
- 望ましい生活習慣を身につけた子ども

5. 本年度の指導の重点

- 興味・関心・友達関係などを通して幼児理解を深め、自信を持って取り組める活動を工夫し自己充実を図る。
- 遠足・園外保育・運動会など異年齢児との交流を多く持ち、学び合ったり育ち合ったりする心を育てる。

6. 本年度の研究主題

- 園内研究では「望ましい教材精選と教師の援助の在り方」を中心に研究を進めていく。

7. 本園の特色

- 園外保育を多くとりいれ、自然の中で遊ぶ楽しさ、解放感を味わわせている。
- 園庭に畑をつくり、こどもたちが自らの手で育て、収穫する喜びを味わわせている。
- 広い園庭を生かした遊びを多くとり入れている。



園 名 日野市立第六幼稚園
所 在 地 日野市程久保 876-2
電 話 0425-92-6330
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスで
高幡台団地下車 徒歩 5 分
園 児 数 男 26 名 女 26 名 計 52 名

園長氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭 50. 9. 6 園舎新築工事起工
昭 51. 3. 19 園舎完成、鉄筋平屋建
4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
学級数 2、定員 80 名
園長 1 名、教諭 3 名、用務員 1 名
4. 10 入園式挙行、園児数 73 名
5. 29 開園記念式典挙行
開園記念日とする
昭 52. 5. 30 プール（ヤマハ・キューティメ
イト DX）設置
昭 53. 3. 12 1 学級増設のためプレハブ教室
増設、学級数 3、定員 120 名
昭 55. 4. 1 学級数 2、定員 80 名
昭 58. 8. 5 プールのフェンス、園庭フェン
ス防球ネット完成
昭 60. 4. 1 2 年保育開始、定員 70 名、学級
数 2、4 才児 30 名、5 才児 40 名
昭 60. 11. 1 園歌制定
昭 60. 12. 14 創立 10 周年記念式挙行
昭 61. 9. 10 園庭拡張、園舎外壁塗装

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
手代木 和 夫	昭 51. 4. 1 ～ 54. 3. 31
近 内 信 輝	昭 54. 4. 1 ～ 58. 3. 31
津野田 昭 二	昭 58. 4. 1 ～ 62. 3. 31
上 野 美津枝	昭 62. 4. 1 ～ 平成 . 3. 31
坂 口 嘉津子	平成 . 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地と百草団地との境に位置し、園舎は緑の森林に囲まれ、起伏に富んだ所である。

近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動尊などがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然に親しむことができる。

4. 教育目標

人間尊重の精神に基づき主体的に生きようとする、心身ともに健康で人間性豊かな幼児の育成を図る。

- 思いやりのある子ども
- 自分で考え最後までやりぬく子ども
- 元気で仲よく遊べる子ども

5. 本年度の指導の重点

幼児一人一人の発達や特性を理解し、一人一人に応じた指導を行うことによって、豊かな人間形成の素地を育てる。

4 歳児 ○感動を共有できるように多様な活動を積極的に展開し、自己を表現する力を育てる。

○幼児相互のかかわりのある活動を展開し、自立心を育て基本的な習慣を身につける。

5 歳児 ○友達と積極的に遊びを展開する中で、人とかかわることの楽しさ、大切さを味わい、十分に自己を表現する力や思いやりの心を育てる。

6. 本年度の研究主題

「主体的に活動する幼児を育てるために、一人一人を理解するとは」

7. 本園の特色

- 動植物の飼育栽培を子ども達が行い、育てることの喜びを味わわせている。
- 園周辺の自然環境を利用した園外保育を多く取り入れ、思う存分に体を動かし、自然に親しませている。

8. 教職員の研究歴

内訳 No	研 究 員	開発委員
1	坂口嘉津子(44年)	坂口嘉津子(51年)



園 名 日野市立第七幼稚園
所 在 地 日野市旭が丘 2-42
電 話 0425-86-3770
順 路 J R 豊田駅下車 京王バス 都立科学技術大学前
園 児 数 男 71 名 女 55 名 計 126 名

園長氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭 59. 10. 6 園舎新築工事起工
昭 60. 4. 1 日野市立第七幼稚園として設置
鉄筋コンクリート 2 階建
学級数 2、定員 70 名
教職員 3 名、園地面積 2599 m²
昭 60. 4. 10 第 1 回入園式挙行園児数 49 名
昭 60. 6. 30 開園記念日とする
昭 62. 4. 1 4 才児 1 クラス増、定員 100 名
昭 63. 3. 11 園舎増築工事完成
昭 63. 4. 11 学級数 4、定員 140 名
平 2. 2. 20 園歌制定

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
石 井 三 士	昭 60. 4. 1 ～ 62. 3. 31
沖 山 英 代	昭 62. 4. 1 ～ 63. 3. 31
平 向 邦 江	昭 63. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

市の西端に位置し、地域の約半分が工業地区である。職住接近による住宅公団や社宅により、若年層の人口が増加している。周辺道路の交通量は多いが道路は整備され、街路樹やグリーンベルトが四季折々に美しい。大学、中学校、保育園、児童館、障害者や老人のための施設が隣接し、文化福祉ゾーンとして地域のかなめとなっている。

4. 教育目標

一人一人の個性を尊重し、幼児が主体的に生活する意欲をもち、人間性豊かで、未来にたくましく生きようとする幼児の育成を図るために
○明るく元気で、がんばる子ども
○よく見よく聞きよく考える子ども
○心のやさしい素直な子ども

5. 本年度の指導の重点

- 主体的に生活する中で意欲・充実感・満足感・向上心を味わえるように指導内容・方法を工夫し、基本的生活習慣、行動様式の自立を図るようにする。
- 遊びや活動の内容、経験の実態を把握し、遊びの方向性に応じた環境構成を工夫する。
- 一人一人が安心して自己発揮をする環境を整え、幼児と教師・職員、幼児同士が相互交渉し合うようなかわりをもてるよう努める。

6. 本年度の研究主題

「感じたことや考えたことを喜んで表現する幼児を育てる指導法」

7. 本園の特色

- 通園区域は広く、住居は高層住宅、社宅等が多い。「自分で考え、行動し、責任をもつ幼児を育てる」ことを今年度の重点としている。
- 幼児が園・家庭・地域の中で連続した生活を営めるように園の行事や地域の催しを通して保護者や地域との連携を深めるようにする。
- 園内の施設や身近な教材・教具を使った遊びを多くとり入れ、友達と遊びを創り出していく喜びを味わわせる。
- 飼育物の世話や栽培などの直接体験を通して情操豊かな心を育てている。菜園では、年間を通して、多種多様の草花や野菜の種播から収穫まで連続して体験学習を行い、園庭で経験できない四季折々の遊びに親しんでいる。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 1/6	研 究 員	開 発 委 員
1	平向 邦江(49年)	平向 邦江(58年)



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 一 小 学 校
所 在 地 日 野 市 日 野 本 町 2-14-1
電 話 0425-81-0073・0061
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 6 分
児 童 数 男 239 名 女 249 名 計 488 名

校長氏名 山 口 武 彦

教頭氏名 飯 田 国 代

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。
第一大学区第八中学区第五十四
番小学日野学校と称す。（現在
の中央公民館のとなり。）
- 明 45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎増改築、
校地拡張
- 昭 11. 4. 29 校旗寄贈（古谷剛次郎氏）
- 昭 15 日野 2800 番地（現在地）に土
地 900 余坪、新校舎建築開始。
（戦時中、軍徴用）
- 昭 23. 4. 25 新校舎に移転完了
- 昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教
育課程の研究発足
- 昭 27. 3. 5 上記の研究発表
- 昭 28. 8. 22 80 周年記念プール竣工
- 昭 38. 11. 3 日野市制施行により日野市立日
野第一小学校と校名を変更
- 昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育
環境の整備」を主題として研究
発足
8. 1 日野市集会場を屋内運動場 兼
講堂として移管
- 昭 44. 2. 21 日野市研究協力校として「教育
環境の整備について」発表
5. 1 東京都学校花壇協力校となる
- 昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置
5 月 17 日開級
- 昭 47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開
始 校庭南側一部縮小
- 昭 48. 11. 創立百周年記念祭
- 昭 55. 8. 排水溝改修、受水槽設置
- 昭 57. 6. 体育館新設
- 昭 58. 8. 校内塗装、窓アルミサッシ化

- 昭 58. 11. 開校 110 周年記念集会、式典
- 昭 59. 3. 仲田小分離
- 昭 59. 8. 屋上全面防水、プレハブ撤去
- 昭 60. 3. 体育倉庫新設
- 昭 60. 11. 南・北側ブロックべい撤去、植
込とする
- 昭 62. 2. 東京都教育委員会「健康づくり
推進校」として公開発表
- 平元. 8. 校庭整備工事
- 平元. 11. 校舎建具等改修、建築工事
- 平元. 11. 温度保持設備工事新設
- 平 2. 8. 旅送室改修工事
- 平 3. 1. 日野市研究協力校として「一人
一人の読みの力を育てるための
指導法の工夫」を副主題として
研究発表

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月
1	日野 義順	明 6. 5 ～ 明 9. 7
2	国府田 学	明 9. 7 ～ 明 11. 3
3	小川 則要	明 11. 4 ～ 明 15. 3
4	鈴木 宗也	明 15. 4 ～ 明 16. 8
5	上野 兼松	明 16. 9 ～ 明 18. 3
6	二見友三郎	明 18. 4 ～ 明 19. 4
7	八木岡寛制	明 19. 5 ～ 明 21. 10
8	佐野 鶴松	明 21. 11 ～ 大 5. 3
9	古谷剛次郎	大 5. 4 ～ 大 12. 1
10	河合 平作	大 12. 2 ～ 大 15. 3
11	古谷剛次郎	大 15. 4 ～ 昭 11. 1
12	宮川 海三	昭 11. 2 ～ 昭 18. 3
13	貫井 半蔵	昭 18. 4 ～ 昭 23. 8
14	小池 嘉一	昭 23. 9 ～ 昭 34. 3
15	尾崎半次郎	昭 34. 4 ～ 昭 37. 3
16	五十嵐 光	昭 37. 4 ～ 昭 38. 3

	氏 名	年 月 ～ 年 月
17	木村 清	昭 38. 4 ～ 昭 41. 3
18	吉田 辰次	昭 41. 4 ～ 昭 44. 3
19	下田 忍	昭 44. 4 ～ 昭 50. 3
20	溝呂木桂次	昭 50. 4 ～ 昭 55. 3
21	村田 安正	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
22	古谷 洋太	昭 58. 4 ～ 昭 62. 3
23	山口 武彦	昭 62. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

校区は広く、農地、工場、商店、住宅により構成される地域である。本校は日野駅より徒歩6分の所に位置する。駅周辺は開発も進み、かつての日野宿のおもかげも失われつつある。しかし、まだ随所に歴史をとどめる史跡も残り、自然も美しく、心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は、地域社会 児童の実態に即し、自主的に人格の完成につとめる児童の育成を旨とし、次のことを中心に展開する。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 科学性を身に付ける子ども | 事実を正しくみる力を養い、正しい判断力、順序立った思考力を伸ばして、基礎的学習の充実をはかる。 |
| 1. 豊かな心情を持った子ども | 真、善、美に対する感受性を養うと共に、自然の動植物愛護、他人に対する思いやりの心を強める。 |
| 1. 強い意志を育てる子ども | 目標に向かって最後までやりとげる実行力を培い、困難にあってもくじけない気持ちを育成する。 |
| 1. じょうぶな体をつくる子ども | 節度のある生活態度を身につけ、継続して体力の向上増進を図る児童を育成する。 |

上記の中から今年度の重点目標を2の「豊かな心情を持った子ども」に設定する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

ア. 各教科

生涯にわたって主体的に学び続ける意欲や能力・態度の基礎・基本を身につける。また、児童の心をゆさぶる魅力的な授業の創造に努める。そのため、

- 指導内容の重点化を図ることにより、考える、調べる、確かめる等の時間を十分にとり、考える力、問題解決の力、表現力、創造性の育成を目指す。
- 教材、教具を整備・活用し、児童の学習意欲の喚起を図ると共に学習活動を工夫し、児童が成就感、満足感を持つ授業の創造を図る。
- 一人一人の児童に楽しく、自ら進んで学習に取り組ませ学ぶ楽しさを味わわせる。

イ. 道徳

社会規範、生活規範のもととなる道徳的価値の高揚・内面化を図り道徳的实践力を高める。そのため、

- 道徳の時間の充実を図り、意図的・計画的な指導を行う。
- 全教育活動を通じて生命尊重、他を思いやる心、基本的生活習慣の定着を重視した指導を推進する。

ウ. 特別活動

児童の協同・協力活動を通して、助けあい、学び合う心を育てる。また、児童の自主的・自治的活動を通して個性や社会性を培う。そのため、

- 児童の主体的活動を促し、望ましい集団行動を行う中で一小児童としての連帯感や好ましい人間関係、豊かな人間関係を育てる。
- 多様な教育活動を行う中で、個人の持つ特性の発見に努め、良い面を伸ばすよう指導する。
- 勤労生産・奉仕活動を通して、友だちや地域・社会のために役立とうとする心を育てる。

(2) その他の活動

- ア. 学校裁量の時間を通して個別指導の充実、学級係活動の充実を図り、児童一人一人が学校生活を円滑に、ゆとりと充実をもって送れるよう指導する。
- イ. 水泳初心者指導の期間を設け、水泳に関する個別指導を行い、児童の泳力や気力の向上を図る。
- ウ. ふれあいタイムを設定し、教師が児童と共に遊ぶ中で児童理解を深める。
- エ. 教師の読み聞かせ、すこやかカード、栽培活動を通して心と体の健康づくりに努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教職員の共通理解のもとに基本的行動様式の定着を推進する。そこで、「五つの約束」を重点とし、集団の秩序と安全保持の立場からの指導の徹底を図る。

イ. 進路指導

- 児童一人一人の個性・能力の開発・伸長をめざす。そのため、児童のよい面の発見に努め、認め、誉め、或いは児童の持つ悩みや願いの相談にのり、励まし力づける。一人一人の児童がめあてをもって生きる指導を推進する。

6. 本年度の研究主題

一人一人の児童が自ら意欲的に学び、文を読む力がつくためにはどんな指導を工夫したら良いかについて追求する。本年は国語科になって三年目の研究である。過去二年間の研究で明らかになった指導法を焦点化して検証する。また集団の中での個に応ずる指導を明らかにする。

7. 本校の特色

- (1) 本校は、開校118年目を誇る歴史と伝統のある学校で、父母・地域の方の中にも卒業生が多く、地域の学校に対する愛情や期待は大きい。古き良きものを愛し、大切にし、地域からの信頼、地域との連帯を深めながら更により校風を築く努力を重ねている。
- (2) 教科指導と両輪をなす生活指導に教職員の結束をはかり、生活指導報告日、生活指導協議会の設置により、「全校児童、わがクラスの子」を合言葉にして指導にあたり、児童の健全な成長を計っている。
- (3) 一輪車、木のぼり、竹馬、ふれあいタイムなど、他校にはみられないような施設や特性を生かし、児童が楽しく学校生活を送れるよう保護者の協力を得ながら組織的に取り組んでいる。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	中央研	研究員	開発委員	研究生、他
1	山口 武彦 (49)	山口 武彦 46 (社会)	志賀 由具 59 (体育)	山口 武彦 47 (研究生、社会)
2		中村 麗子 47 (給食)		和田いさを 53 (研究生、教育方法)
3		志賀 由具 59 (体育)		山口 武彦 58 (海外派遣)
4		佐藤ヒサ子 60 (保健)		長谷川一彦 平成3 (研究生、道徳)
5		飯田 国代 60 (特別活動)		
6		長谷川一彦 63 (道徳)		
7		寺木 喜和 平成3 (社会)		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 二 小 学 校
所 在 地 日 野 市 東 豊 田 2-14-1
電 話 0425-81-0070・0851
順 路 J R 豊 田 駅 南 口 下 車 徒 歩 10 分
京 王 線 南 平 駅 下 車 徒 歩 15 分
児 童 数 男 395 名 女 319 名 計 714 名

校長氏名 馬 場 武 教頭氏名 武 内 忠 雄

1. 沿革の概要

- 明 7. 3. 神奈川県 9 大区 4 区 豊田村 尋常小学校として創設、戸長山口平大夫氏長屋を仮校舎にする
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等級に分ける。
- 明 12. 2. 豊田 1320 番地、善生寺の西隣に新校舎建築
- 明 26. 4. 東京府に編入される
- 明 41. 3. 日野小学校豊田分教場となる
- 昭 17. 豊田 218 番地に新校舎建築、平屋建 6 教室
- 昭 21. 6. 南多摩郡豊田国民学校として再び独立
- 昭 27. 12. 第 1 次増築、2 階建 8 教室、日野町立日野第二小学校と校名変更
- 昭 31. 4. 第 2 次増築、2 階建 6 教室
- 昭 38. 11 日野市立日野第二小学校と校名変更
- 昭 43. 6. 第 1 次防音、4 階建校舎完成
- 昭 44. 3. 第 2 次防音、4 階建校舎完成
- 昭 46. 2. 体育館工事、落成
- 昭 49. 3. 第 3 次防音、4 階建校舎完成
11. 創立百周年記念式典を行う
- 昭 55. 3. 1 階建校舎完成
- 昭 56. 5. 新プール完成
9. 校庭整備完成
- 昭 57. 8. 普通教室内部塗装完了
- 昭 58. 12 校庭歩道完成
- 昭 59. 6. 創立百十周年記念式典を行う
- 昭 61. 12. 新通学路使用始
- 昭 63. 8. 体育館改装
- 平 元. 8. 高置水槽取替
- 平 2. 8. 校舎大規模改修完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 山 茂 平	昭 21. 6 ～ 27. 9
増 島 光 一	昭 27. 10 ～ 34. 3
小 池 嘉 一	昭 34. 4 ～ 38. 3
森久保 惣 次	昭 38. 4 ～ 42. 3
後 藤 正 太	昭 42. 4 ～ 47. 3
安 積 利 治	昭 47. 4 ～ 50. 3
永 井 雅 夫	昭 50. 4 ～ 53. 3
鈴 木 英 夫	昭 53. 4 ～ 57. 6
篠 宮 忠 男	昭 57. 7 ～ 61. 3
荒 木 健 治	昭 61. 4 ～ 平成元. 3
馬 場 武	平成元. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

- 本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれた静かな農村であったが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が激減している。それでも、浅川を中心として田畑が広がり、屋上から見る景観はすばらしい。
- 近くにローラースケートのできる駒形公園、市民プール、市立中央図書館など、公共施設にも恵まれている。
- 保護者は、学校教育に対する関心が深い。登校時の交通指導を積極的に進めるなど、きわめて建設的であり、また、協力的である。
- 学校前の都道をはじめとして学区内の道路はどれも道幅がせまく、そのほとんどに歩道がない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきたので、新たに農道を補修し、通学路に指定した。
- 現在、豊田南土地区画整理事業が進行している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神に徹し、日本人としての自覚を高め国際社会に奉仕できる、心身共に豊かな子ども
の育成を目指して次の目標を定める。

○からだも心も強く明るい子

○みんなと仲よく力を合わせられる子

◎よく考え、進んで行動する子（重点目標）

○責任をもって最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指し、全職員の共通理解を大切にし意図的・計画的・
継続的・組織的に教育活動を進める。

そこで、次のことを基本方針とする。

① 児童一人一人を大切にし個性・能力に応じた指導に努める。

② 心の陶冶を図り人権感覚を育て高めると共に実践的行動力を培うことを教育活動の全体を通し
て行う。

③ 授業研究を重視し指導法の改善に努め児童一人一人の実態に応じた指導を工夫し児童の意欲を
喚起すると共に新学習指導要領への移行を行い基礎的・基本的事項が定着するよう努める。

④ 基本的な行動様式に対する職員の理解を深め組織的に生活規範の高揚、児童の自立を促す指導
の徹底を図る。

⑤ 自己の住む地域への理解を深め愛着の心を培うために地域の教材を取り入れた教育活動の充実
を図ると共に家庭・地域社会との連携を基盤においた指導を進める。

⑥ 児童の自主性を育て、楽しくて充実した学校生活の創造に向かった児童自身の工夫を大切に
していく。

⑦ 生活科等、新学習指導要領の全面実施に告げて、児童が主体的に活動できるように、環境の整備
を図る。

⑧ 生活科を「重点研究」として取り上げ、具体的な活動や体験を通して、生活上必要な習慣や技
能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

生涯にわたって学び続ける意欲や能力・態度の基礎を身に付けさせる。そのため

○指導内容の重点化、体験を通した活動、考える時間の確保などの工夫により思考力・表現力・
創造力・問題解決の力を育てる。

○児童一人一人に学習のめあてを明確に自覚させると共に教材・教具の整備活用、主体的学習の
重視などにより、児童の学習意欲を喚起し、成就感・満足感を持たせる授業の創造を目指す。

イ. 道徳

新教育課程に基づき全体計画のもと全教育活動を通して4つの側面について下記の事項を重点
として指導すると共に道徳の時間を通して児童の道徳的判断力を高め、道徳的实践力を育てる。

○自分自身……………自分の生活を振り返り良く考えて行動する。

○他 人……………誰に対しても思いやりの気持ちを持つ。

○自然や崇高なもの……………自他の生命を大切にする。

○集団・社会……………規則・きまりの大切さを知り規範意識を高める。

ウ. 特別活動

新教育課程に基づき望ましい集団活動を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図ると

共に協力してより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

そのため、○学級活動の指導の工夫を図る。

○児童の自主的な取り組みが盛り上がる活動を行う。

○学級・学年の枠にとらわれない異学年集団の活動を行う。

(2) その他の活動

○なわとび、うす着等の指導を通して体力の向上を図る。

○学年・学校・地域社会の諸行事に主体的に参加しようとする態度を培い、連帯感の育成を図る。

○働く喜びを味わわせながら、からだを通して学ぶ基本姿勢を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア．生活指導………全職員の共通理解のもと組織的に基本的生活習慣の定着を推進すると共に家庭・地域社会および幼・中等との連携を図り児童の健全育成を進める。

イ．進路指導………児童一人一人の個性・能力の開発・伸長を目指す。そのため、児童の良い面の発見に努め、認め誉める、あるいは児童の持つ悩みや願いの相談にのり、励まし力づける等一人一人の児童がめあてを持って生きる指導を推進する。

6. 本年度の研究主題

地域の自然や社会を生かした生活科の研究

7. 本校の特色

本校は創立117年という伝統をもつ歴史のある学校である。59年度は創立110周年記念式典およびその思い出をつくる活動として「米づくり」「いもづくり」の体験学習を行い生産にまつわる苦労や自然とのかかわりあい、さらには構造的思考力育成など、物心両面で大きな収穫を得た。学校が子どものために努力すれば、それに対し全面理解と協力を図ってくれる地域である。そこで、これらのことをふまえ、地域の教育力を十分に活用するため、地域の自然や文化財・人材の教材化を進めてきた。このことと併せて児童がより主体的に、しかも意欲的に学習に取り組むことができるようにするため、「興味をもって積極的に取り組む子ども」をめざし研究に取り組んでいる。本年度はさらに研究を深め、日々の授業の充実を図ることによって、郷土を愛する心を培っていきたいと考えている。

また、本校は市内有数の大規模校である。それに反し、校庭は狭小である。このことから、日常の運動量の不足や運動技能、能力の低下につながらないよう、授業を通して子どもが主体的、意欲的に学習していく指導法をうち出している。なわとびや薄着の奨励などを計画的に行ってきた。このことによって心身ともに健康な子ども達の姿が見られるようになってきている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	現代化委員・開発委員	研究生・海外研
1	馬場 武（48 理科）	馬場 武（50 理科）	馬場 武（54 ヨーロッパ）
2	高木 映子（50 教育方法）	武内 忠雄（59 体育）	
3	武内 忠雄（52 体育）		



学 校 名 日野市立日野第三小学校
所 地 日野市日野台 2-1-1
電 話 0425-81-0101・0850
児 童 数 男 268 名 女 254 名 計 522 名
(内 ひ ば り 15 名)

校長氏名 増 賀 従 男

教頭氏名 江 口 耕 一

1. 沿革の概要

昭 23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童 1～3 年 340 名、教室 4、全学年 2 部授業

昭 25. 6. 10 日野台小学校として独立する児童数 696 名、教室 9、4 年生迄 2 部授業

7. 18 校章制定

9. 19 4 教室増築、教室数 13、3 年まで 2 部授業

昭 27. 4. 15 4 教室増築、教室数 17、2 年まで 2 部授業

6. 10 校歌制定

昭 28. 6. 10 校地 850 坪拡張、6 教室増築、教室数 23、2 部授業を解消

昭 30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更

昭 32. 3. 4 旧教室 4 を取除き 6 教室を増築教室数 25、児童数 869 名

昭 33. 8. 3 給食調理室完成・大小プール落成

昭 34. 3. 校地 1,100 坪拡張

昭 35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される

昭 38. 11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更

昭 42. 4. 7 防音校舎新築起工式

昭 43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野台 2 丁目 1 番地 1 号

昭 46. 2. 16 体育館落成式、校章制定

昭 48. 4. 1 鉄筋新校舎 9 教室増築落成

昭 50. 2. 25 鉄筋新校舎竣工

6. 1 校旗制定

昭 54. 4. 1 東光寺小と分離

昭 58. 4. 2 ひばり学級教室増設

昭 58. 4. 20 無人化(夜間・日曜・祝祭日等)機械警備始

昭 59. 3. 10 藤だな改修

3. 25 給食調理室天井塗装
体育館渡り廊下天井改修
体育館ステージホリゾント幕改修

8. 29 音楽室床全面改修・黒板灯設備
用務員室改修

12. 20 南校舎非常階段手すり改修

昭 60. 3. 20 給食雑排水経路改修・浄化槽整備・プール内シート防水・排水バルブ改修・消防水利設備

3. 31 裏門拡張・門扉改修

昭 61. 3. 31 道路側防球ネット生垣完成

8. 31 体育館内部塗装

10. 31 北校舎屋上改修

昭 62. 7. 7 プール更衣室等照明取付

8. 31 ひばり教室改装

9. 8 体育館外部塗装

昭 63. 1. 20 体育館屋根塗装・北校舎外壁修理

8. 20 体育館床塗装・渡り廊下外壁修理

8. 31 屋外幹線改修・校庭整備

平 元. 3. 31 プールフェンス・プールサイド改修

平 2. 8. 21 南校舎玄関塗装

平 2. 8. 30 理科室床研磨、実験机交換

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高 野 忠 正 (事務取扱)	昭 25. 6. 10 ～ 26. 3. 12
高 野 忠 正 (校 長)	昭 26. 3. 13 ～ 27. 9. 30
尾 崎 半次郎	昭 27. 10. 1 ～ 34. 3. 31
五十嵐 葆 光	昭 34. 4. 1 ～ 37. 3. 31
塚 本 正	昭 37. 4. 1 ～ 41. 3. 31
池 田 瑞 男	昭 41. 4. 1 ～ 47. 3. 31
岩 井 庄 三	昭 47. 4. 1 ～ 50. 3. 31
平 松 健太郎	昭 50. 4. 1 ～ 54. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭 54. 4. 1 ～ 57. 3. 31
古 田 耿 介	昭 57. 4. 1 ～ 62. 3. 31
内 藤 康	昭 62. 4. 1 ～ 平 2. 3. 31
増 賀 従 男	平 2. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔 80 m の日野台地を中心とした地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり台地のため公害も少ない。

日野台地（学区域）の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法及び教育基本法に基づき民主的社會人としての人間形成の基礎づくりを旨とし次の目標を定める。

- じょうぶな子ども
- よく考える子ども
- 明るく思いやりのある子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の教育の立場にたち、心身ともに健康で心豊かな人間の形成の基礎づくりをめざす。

特に「よく考える子ども」を重点目標に掲げ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を基盤にすえ、授業の改善充実が心かけるとともに調和のとれた教育活動を推進する。

- 具体的な学年学級目標を設定し、その具現化をめざし学年学級経営に創意と工夫を生かし、一層の充実をはかる。
- 子ども達一人一人の個性能力をひき出し、生涯学習の視点に立った学び方を学ぶ学習指導を推進する。
- 創意ある教育活動を展開し、地域の教育力、教材を生かした指導内容、体験学習の充実をめざす。
- 生命を大切にすることの育成をめざし、心身障害児とともに手を取り合って活動する機会を設定し、思いやりの心の育成を図る。
- 健康づくりと体力の向上を年間を通して計画的意図的に実践し、たくましい子どもの育成に努める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 教材教具を工夫し、課題をねばり強く追求させる学習指導を推進し、基礎的基本的学習事項の定着をめざした指導の充実をはかる。
- 体験的学習を通し気づかせ発見させる学習を推進し、学習を意欲的にし、思考力、判断力を培う。
- 達成感、成就感のある授業を確立し、意欲的に学び方を学ぶ態度の育成を図る。
- 個人差を的確にとらえて、学習形態や学習過程を工夫し、学習効果を高める学習方法を工夫する。

イ. 道徳

- 子どもがすすんでやりぬく道徳的実践力の育成をめざし、全教育活動における道徳教育の充実を図る。特に心障児との交流、全校菊づくり、特別活動を通して人間愛自然愛を培い豊かな心を育てる。
- 道徳の授業の改善を図り、各教育活動で培われた道徳的実践力の深化、補完、統合を図る。

ウ．特別活動

- 子どもの自主的実践力と連帯感を培うことをめざし、集団活動を充実する指導を行う。
- 集団活動を通して、集団の成員としての自覚を高め共に向上していく気持ちを高める。
- 所属する集団を自主的に建設しようとする態度能力を高めるとともに、他者にはない自分を自覚し、個性的な実践力を高める。

(2) その他の活動

- 遊びの時間を設定、いきいきとした楽しい教育の場とし、体力の向上をめざす。
- 火曜日六校時を児童会活動の日と設定、集団活動を通して心身の調和のとれた発達を図る。
- 学年の日を有効に使用した学年経営の充実をはかり、個別指導の徹底をはかる。
- 心身障害学級と普通学級との教師相互児童相互の交流の場を積極的に設け、障害を持つ児童に対する理解を深めるとともに連帯感の育成に努める。

(3) 生活指導・進路指導

- 心身ともに健全な子どもの育成をめざし、指導体制を整え、全職員の組織を通じた指導を徹底する。
- 児童理解につとめ心のふれあいを大切にする指導を充実する。
- 父母、地域との連携を深め、協力補完しあって指導にあたり、児童の健全育成を図る。
- 社会に多様な生き方があることに気づかせるとともに、児童一人一人の良さを発見し、その良さを将来にわたって生かすことのすばらしさに気づかせ、社会人となるための基礎となる力を育てる。

6. 本年度の研究主題

児童に考える力をつけるための指導の工夫

7. 本校の特色

児童は明るくすなおであるが、やや主体性を欠き、ねばり強くやりぬこうとする力がたりない。

校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童に考える力をつける授業研究を実施している。また、心障学級（ひばり学級）があり、交流教育にも力を入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 生	研 究 員	開 発 委 員	中 央 研	海 外 派 遣
1		増加 従男 56 (国語)			
2		江口 耕一 53 (特活)			
3		椿坂 俊夫 63 (心障教育)			



学 校 名 日野市立日野第四小学校

所 在 地 日野市石田 430

電 話 0425-81-0038・3076

順 路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩7分
立川駅北口から高幡不動駅行バス四小前下車 徒歩3分
京王線高幡不動駅から立川北口行バス四小前下車 徒歩3分

児 童 数 男 277 名 女 226 名 計 503 名

校長氏名 片 岡 千壽子

教頭氏名 森 野 豊

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5 下田学舎

明 21. 11. 下田小学校

明 41. 3. 日野小学校下田分教場

昭 29. 8. 18 校地決定 4,259.14 坪

昭 30. 4. 4 落成式並びに開校式 この日を
開校記念日とする

12. 22 校章制定

12. 25 第三期校舎竣工

昭 31. 3. 5 校旗完成

昭 35. 7. 20 プール落成式並祝賀会

昭 36. 11. 1 校歌発表会、以後この日を開校
記念日とする。

昭 40. 3. 31 防音校舎 9 教室完成

昭 41. 3. 31 防音校舎第 2 期工事完了

7. 9 下田学舎創立 92 周年記念式典

昭 43. 11. 27 統計教育研究指定校として研究
発表会をする（都、市指定校）

昭 45. 3. 31 体育館落成

防音校舎 7 教室増築完成

昭 54. 3. 20 受水槽改修、渡り廊下改修

3. 25 防火戸改修、非常放送装置設備、

6. 22 プールサイド全面コンクリート
塗装工事

昭 55. 2. 2 給食室作業場及び休憩室改修工
事

6. 20 プール内塗装工事

昭 56. 8. 25 新校舎への親子方式 TV 配線、
放送室内のスタジオ形式の改装

昭 56. 8. 27 屋上高置水槽改造

8. 30 都市ガス化にともなう配管取替

昭 57. 3. 27 旧校舎屋上ネットフェンス貼替

昭 57. 4. 4 プール便所の水洗化、更衣室等
の改修

9. 4 非常階段設置

昭 58. 3. 27 自転車置場設置

昭 59. 3. 31 仲田小学校分離 141 名転出

9. 28 校庭の体育倉庫新設

昭 60. 8. 31 校舎棟工事（窓枠・天井張替等）
給食室改修工事

昭 61. 2. 28 体育館玄関・天井・屋上修理
校庭東側フェンス張替工事

8. 4 給食調理室、配膳空間壁撤去工
事

昭 62. 2. 23 プールシャワー、目洗い場等工
事

昭 63. 3. 27 プール内塗装工事

昭 63. 7. 31 小プール排水工事完了

8. アスベスト撤去工事

8. 3 集水樹工事完了

8. 8 放送室調整卓取替工事

平元. 8. 31 校庭改修工事

平元. 8 校舎外塗装工事

平元. 8 1・2 階トイレ扉取替工事

平 2. 3. 17 体育館自動巻き上げバスケット
取り付け工事

平 2. 7. ～ 10. 体育館内外壁・床工事

平 2. 8. 31 1 階職員・3 階トイレ扉取替工
事

平 2. 9. ～ 10. 消火栓ポンプ取替工事

平 3. 3. 1 保健室エアコン設置工事

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月		氏 名	年 月 ～ 年 月
1	浦 上 増太郎	昭 30. 3. 29 ～ 36. 3. 31	6	竹 永 秀 雄	昭 57. 4. 1 ～ 60. 3. 31
2	田 中 善 次	昭 36. 4. 1 ～ 44. 3. 31	7	田 中 光 穂	昭 60. 4. 1 ～ 63. 3. 31
3	森 厳	昭 44. 4. 1 ～ 47. 3. 31	8	波多野 坦	昭 63. 4. 1 ～ 平 3. 3. 31
4	内 藤 達 夫	昭 47. 4. 1 ～ 52. 3. 31	9	片 岡 千壽子	平 3. 4. 1 ～
5	釜 池 博	昭 52. 4. 1 ～ 57. 3. 31			

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯 9 地区である。甲州街道から約 1 km 南にへだたった多摩川あたりに位置する。近年、万願荘の集団住宅をはじめ、万願寺、新井地区の区画整理・宅地造成化がすすめられ、田園地域より住宅化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

社会の変化に自ら対応できる心豊かな児童の育成をめざして、次の教育目標を達成するように努める。

- みんなと協力する子
- 自分の力で考える子
- じょうぶな体をつくる子
- 最後までやりぬく子

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ア. 本年度は「みんなと協力する子」を重点目標とする。
- イ. 集団活動を通して共同・協力の態度を身につけさせる。
- ウ. 国際社会に貢献できる日本人としての素地を養う。
- エ. 思考力を高める授業の充実を通して、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力の育成をはかる。
- オ. 基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、個性を生かす教育の充実につとめる。
- カ. 教育活動全般を通して健康安全について理解を深め、生涯にわたって体力の維持向上を図る能力や態度を育成する。
- キ. 地域および家庭との交流を緊密にし学校の教育目標に対する理解と協力を得て全人的な児童の育成をめざす。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各 教 科

- 自主的な学習態度を育て、各教科の基礎的な学力を高める。
- 具体的な学習を通して思考力と創造力の育成をはかり、生涯を通して学習を継続する意欲と態度を養う。
- 体験的な学習を重んじひとりひとりを大切にする授業の充実をはかる。

イ. 道 徳

- 教育活動全般を通して、児童相互の人間関係、児童と社会、自然とのかかわりを深める中で、児童の内面に根ざした道徳性の育成をはかる。

- 家庭や地域社会との連携を図る中で、日常生活における基本的な生活習慣や望ましい人間関係を育てる実践的な態度を培う。

ウ．特別活動

- 異学年交流活動の充実を図り、思いやりの心と連帯意識を育てる。
- クラブ活動では児童の自発的、自治的な活動を通して集団の一員としての自覚を深め、自主的、実践的な態度の育成をはかる。
- 学級活動では、男女仲よく協力することの楽しさを体得させる。

(2) その他の活動

- 創意ある教育活動を通して児童の個性や能力を伸ばし、学習の楽しさや成就感の体得をさせる。
- 学級における日常の指導を通して望ましい人間関係を育てるために、積極的にできめ細かな指導を行う。

(3) 生活指導・進路指導

- 集団生活の中で必要な基本的な生活習慣の指導・徹底を図る。
- 家庭・地域との連携をいっそう深め児童の健全育成をはかるとともに、自然や文化を大切にする態度を育てる。
- 児童の発達段階に即して主体的な学び方を身につけさせるとともに、進級、進学への適切な指導を行う。

6. 本年度の研究主題

「思いやりのある子を育てる指導法の研究」

——性教育を通して——

7. 本校の特色

本校の児童は、豊かな自然環境の中で、明るく素直にのびのびと育っている。目標をつかめば、額に汗して働くことや友だちと協力し合ってよく努力する。しかし、発表力・表現力には、不十分などころがあり、意欲が空まわりしがちである。生活面では、思いやりのない行動にでしてしまう児童もいる。

そこで、今年度は、上記のような副主題を設定し、思いやりのある子、男女認めあう児童の育成をはかるため、全職員で指導にあたっていく。

さらに、児童の自主性・協力性を培うために、特別活動を中心として、児童集会、先生と遊ぶ日、たてわり活動等を通して教師と子ども、異年齢集団での子ども同士がふれあう場を設けて、思いやりのある心の豊かな児童を育て、人間性豊かでうるおいのある学校づくりをめざしている。

基本的な生活習慣の育成にあたっては、生活指導委員会を核として教師の共通理解を深め、一貫した教育方針で指導にあたるようつとめている。そして、これらの指導方針については、学校・学年だよりはもとより、保護者会、地域懇談会、運動会等あらゆる機会を通して家庭・地域へ広めていく。幸い本校は、創立117年の歴史と伝統を持つ学校であり、PTAとの結びつきも強い。

今後、教師・保護者・地域住民と一層連携を深めながら、本校の教育の充実を図っていく。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員
1	片 岡 千壽子（57・給食）
2	小 柳 利栄子（2・算数）
3	逸 見 明 男（3・道徳）



学 校 名 日野市立日野第五小学校
所 在 地 日野市多摩平 6-21-1
電 話 0425-81-0407・0445
順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
五小前にて下車 徒歩 3 分
甲州街道を通るバス（京王・都）に乗
り日野自動車工場前下車 徒歩 5 分
児 童 数 男 333 名 女 304 名 計 637 名（病弱児 2 名）

校長氏名 野 村 武 郎

教頭氏名 信 夫 清 彦

1. 沿革の概要

昭 34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の校舎を借用し授業開始
6. 8 第 1 期工事完成 新校舎にて授業開始（現在地）
昭 35. 9. 13 第 2 期工事完成 2 部授業解消
昭 36. 5. 31 第 3 期工事完成
8. 28 大プール、小プール 竣工
昭 38. 2. 20 校章制定
昭 39. 3. 11 校歌発表会
3. 25 校旗制定（卒業記念寄贈品）
昭 40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
昭 42. 2. 23 都、市研究協力校発表会
昭 43. 5. 20 体育館竣工
昭 44. 3. 3 創立 10 周年記念式典
昭 50. 4. 1 訪問学級設置
昭 51. 3. 31 校舎全面的改修着手
昭 54. 3. 31 校舎 5 教室改修
昭 55. 3. 31 校舎 5 教室改修
昭 56. 3. 31 校舎 6 教室改修（H 校舎）
昭 57. 3. 31 校庭側旧校舎サッシ改修（外側）
昭 58. 3. 31 南側旧校舎サッシ窓改修（1 階）
昭 59. 3. 31 理科室改修、玄関ドア取付
昭 60. 3. 31 体育館床研磨
昭 61. 3. 31 渡り廊下屋根取替
昭 62. 9. 校舎新築本決まり
昭 63. 4. 18 改築設計予算決定
平 元. 3. 29 校舎改築工事予算承認
平 元. 7. 17 校舎改築工事着工
平 2. 3. 26 一年校舎取りこわし工事
平 2. 4. 5 さやか学級新校舎に引越し

平 2. 7. 24 バスケットゴール設置工事
平 2. 7. 30 新校舎へ引越し
平 2. 8. 1 旧校舎解体工事
平 2. 9. 1 新校舎で授業始
平 2. 11. 30 30 周年記念・校舎落成記念式典
平 2. 12. 1 航空写真撮影
平 2. 12. 5 校庭工事検査完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
増 島 光 一	昭 34. 4. 1 ～ 昭 36. 3. 31
浦 上 増太郎	昭 36. 4. 1 ～ 昭 39. 3. 31
福 寿 文 雄	昭 39. 4. 1 ～ 昭 42. 3. 31
星 野 正 男	昭 42. 4. 1 ～ 昭 47. 3. 31
荒 井 一 男	昭 47. 4. 1 ～ 昭 49. 3. 31
三 井 知 夫	昭 49. 4. 1 ～ 昭 52. 3. 31
多 昌 直 之	昭 52. 4. 1 ～ 昭 56. 3. 31
田 中 光 一	昭 56. 4. 1 ～ 昭 60. 3. 31
上 山 洋一郎	昭 60. 4. 1 ～ 平 3. 3. 31
野 村 武 郎	平 3. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

昭和 33 年日本住宅公団により日野台地が開発され、多摩平団地が建設された。この一角に日野第五小学校が設置された。南は中央線、北は国道 20 号線（甲州街道）にはさまれ、バス網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、付近には日野自動車など 4 つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場などが整備され立

木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で個性豊かな民主的国民の基礎作りをめざし、国際社会に貢献できる児童の育成につとめる。

- 健康でたくましい子ども
- 心豊かで明るい子ども
- 進んで学び工夫する子ども
- 認めあい助け合う子ども

本年度の重点目標

「みんななかよし楽しい学校をつくります」

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 一人一人の児童の基礎学力の伸長を期するため、教材の徹底的分析、それに基づく指導計画の作成と授業研究を行う。
- 地域の自然や文化、伝統を生かした、体験的学習をとり入れ、主体的に生きる力を育てる。

イ. 道徳

本年度の重点目標の具現化を図るため、特に本校児童の実態に即して、1.自分にかかわること（自主・自律） 2.他人とのかかわり（礼儀・思いやり） 3.自然や崇高なものとのかかわり（生命の尊重・美しいものに感動する心） 4.集団や社会とのかかわり（公共心・愛校心・勤労・責任）の10項目を強調し、道徳的心情を深化して、道徳的实践力のある児童の育成に努める。

ウ. 特別活動

学級や学校生活の充実と向上をめざし、学級活動、児童会活動、クラブ活動、たて割り集団の活動の実践を通して、集団の一員としての自覚を深めるとともに、自主性、自治性を育て、協力的態度をもった個性豊かな人間形成に努め実践力を育成する。

(2) その他の活動

- 創意を生かした教育活動として、1～2時間の集会活動を企画し、1～6年のたて割り活動、兄弟学級の間を設定し、重点目標の達成を図る。
- 多目的ホール・多目的教室・視聴覚機器等の新しい施設、設備の効果的な活用を通して学習活動の充実を図る。
- 毎週火曜日を「学級の日」とし学級活動を中心に各学級学年で年間を通して活動計画をたて、個人指導・教育相談・花づくり・集会活動などを行う。

(3) 生活指導・進路指導

- 教育目標の具現化を図るため、重点を「力を合わせてなかよくしよう」とし、毎日の目標、具体的方法を設定し、計画実践評価のサイクルの中で徹底を図る。
- 進路については、児童の個性や能力の伸長、生涯教育の立場から、中学進学・将来の希望などについて、道徳・特別活動の中で指導する（中学に対する不安を解消し、希望をもって進学するように留意する。）。
- 安全指導・避難訓練は、年間11回実施し徹底を図る。
- 美化デー・安全点検日は年間11回設け、校舎内外の清掃・危険箇所を除く。
- 生活指導全体会（年間3回）職員会議・土曜職員朝会で生活指導・教育相談・心身障害児の問題・指導について協議し、共通理解を図る。

6. 本年度の研究主題

豊かな心をもち、楽しく、学び合う児童の育成

7. 本校の特色

住宅公団の進出に伴い、新しい建築様式により建設された。当時は少ない児童数と広く静かな校域の中で理想的教育活動をめざしていた。しかし児童数の急増により、8回に亘る増改築を行ない様相は一変したが、校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位のものが多く、肥満児は最近減少している。学校では、地域や児童の実態に即し、創意をもって日々実践し、成果をあげている。

本年度は特に、心身ともに健全な児童の育成をめざし、望ましい基本的行動様式の習慣化・定着化をめざし、指導の徹底を図るため「みんななかよし、楽しい学校をつくります」を重点目標にとり上げた。さらに具現化させるため、学級の日や学校行事では体力づくり・運動会・音楽会・演劇教室や兄弟学級による教育活動を設定した。

○各学年では発達段階に応じ、学習意欲を高める指導法の研究を主題に校内研修活動に力を入れ、自主協力学習を進めていく。

○火曜日に学級の日を設け、児童相互、児童・教師相互の交流を通じ、教育相談・個別指導・創意ある教育活動を実践していく。

○兄弟学級の活動を通じ、児童の創意や発想を大切に、ミニハイキング・七夕行事等を通じ、最後までねばり強い活動を推進させる。

○体力調査を基に、児童が自分の目標をもって、最後までねばり強く挑戦する児童を育成する。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研究員	開発委員	中央研修	研究生	海外派遣
1	野村 武郎 (46 体育)	野村 武郎 (51 体育)	野村 武郎 (60)	野村 武郎 (48 体育)	野村 武郎 (63 ヨーロッパ)
2	信夫 清彦 (54 体育)	北野 義昭 (60 図工)		信夫 清彦 (57 体育)	信夫 清彦 (60 アメリカ)



学 校 名 日野市立日野第六小学校
所 在 地 日野市多摩平3-21
電 話 0425-81-4686・0366
順 路 中央線豊田駅北口下車 徒歩13分
京王バス 小西六裏門下車3分
児 童 数 男286名 女296名 計582名

校長氏名 清 水 七 郎

教頭氏名 上 田 憲 二

1. 沿革の概要

- 昭39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として
設置 児童1年～3年
7学級 263名
- 昭40. 4. 1 日野第六小学校として開校
14学級 児童数515名
教職員21名
9. 6 プール完成(6コース25m)
- 昭42. 2.21 校歌の発表会
- 昭43. 2.22 児童の体力づくりの研究発表会
- 6.17 南校舎(普通教室11、職員室、
校長室)完成
- 昭45. 2.28 屋内体育館完成
- 3.16 落成式挙行(学校、PTA共催)
- 昭47. 2.28 正門前舗装、北西門取付
3. 「児童の社会性育成の実践指導」
発表(市研究協力校)
4. 「考えさせる授業への手だて」
発足
- 昭49. 4. 南校舎3階増築(普通教室5、
音楽室、管理室4)
5. 南門完成
- 昭50. 3.18 49年度都愛鳥モデル校に指定
4. 1 32学級にまで児童が増加
- 6.28 開校十周年を祝う会
- 12.22 東京都選挙管理委員会より感謝
状を受ける(永年選挙ポスター
コンクールに協力したため)
- 昭52. 1.10 体育倉庫完成
4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭54. 9. 北校舎非常階段完成
- 昭56.11.18 六小こどもまつりの実施
- 昭58.11.26 展覧会開催(昭和42年以来16
27 年ぶり)

- 昭58. 3.～ 体育館屋根等の塗装、大プール
ビニール張り、南校舎内装改修
- 昭59. 7. 北校舎廊下の張り替え
8. 中庭の舗装及び排水溝の整備
- 昭60. 6.29 創立20周年記念 六小子どもま
つりを行う
円形花壇完成
- 昭61. 9. 北校舎窓枠交換工事完成
12. 校庭南側生垣完成
- 昭63. 8. 体育館の床・壁面改修
- 11.12 第1回音楽会開く。この年より、
学芸会、展覧会、音楽会を順に
行う
- 平 1. 8. 北校舎玄関、下駄箱新設
- 平 2. 3. 1 ランチルームが新装なる

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月 ～ 年 月
加々美 良 英	昭40. 4. 1～昭43. 3. 31
峰 岸 敬次郎	昭43. 4. 1～昭46. 3. 31
新 海 圭 三	昭46. 4. 1～昭50. 3. 31
安 積 利 治	昭50. 4. 1～昭53. 3. 31
光 永 久 夫	昭53. 4. 1～昭57. 3. 31
石 井 三 士	昭57. 4. 1～昭62. 3. 31
清 水 七 郎	昭62. 4. 1～現在

3. 地域の環境

日野市開発の先駆けとなった多摩平団地と静かな住宅地域の中に位置し、近くにコニカ、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、次のような児童の育成をめざす。

- 身体と心をきたえる子
- 考えながら学ぶ子
- みんなと仲よくする子
- がんばりぬく子
- 進んで働く子
- 生きものを大切にする子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア．豊かな心をもち、たくましく生きる児童をめざす。特に「身体と心をきたえる子」「進んで働く子」を重点目標に掲げ、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を基盤にすえ、自己教育力を高める教育活動の充実を図る。
- イ．児童の自ら学ぶ意欲を育てるために、学習の基礎的基本的な内容を重視するとともに、個性と能力をひき出す教育活動の推進を図る。
- ウ．具体的な学年・学級目標を設定し、その具体化を目指す。学年・学級間の協力体制を強め効率の高い教育活動の展開と、教師の研修・研究を推進し、学年・学級経営の充実に努める。
- エ．生命を大切にする児童の育成をめざし、すべての児童の交流を大切にし、相互理解と協力の機会を設定して、思いやりの心の育成を図る。
- オ．開かれた学校を目指して、児童・教師・父母の交流と地域の連携を図る。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア．各教科

- 研究主題「自から学ぶ子どもを育てる指導法」について追求する。特に体育科を中心に学習指導法の研鑽を図る。
- 研究や日々の授業を通して体験的学習や問題解決的学習を推進する。
- 児童のつまづきをなくし、基礎基本の学力を充実するため、学年を中心にした研究を推進する。

イ．道徳

- 心ゆたかで、助けあい、認めあう、人間関係の育成をめざす。
- 進んではたらき、最後までがんばる態度の育成をはかる。
- 動植物を愛護することを通して、生命の尊厳についての意識を育てる。

ウ．特別活動

- 学級活動の充実を図るため、児童の自発的・自治的活動を促するとともに進んで働く機会を多くする。
- 児童会活動を楽しい学校、規律ある生活をめざす児童の自主的な活動の場とし、特に委員会活動、学級活動との関連を強める。
- 楽しいクラブ活動をめざし、児童相互に協力し、助け合う自主的な活動を大切にする。

(2) その他の活動

- たてわり集団を組織し、異年齢集団における助け合いや遊びの機会を多くする。
- 児童の創意を大切に、自発的に参加できる行事を企画実践する。

(3) 生活指導・進路指導

- 進んで働く態度とがんばりぬく力を育てるとともに、基本的な生活習慣の定着をはかる。
- 児童の個性を理解し、ひとりひとりの心身の発達に応じた指導をはかる。

○心身に障害のある児童に対し、共通理解をはかり、学校全体で見守り、育成にあたる。

6. 本年度の研究課題

今年度授業研究のテーマを「自ら学ぶ子どもを育てる指導法の研究」と定め、特に体育科を通して一人一人の児童の体力向上、技能の習熟を旨として研究を進めていく。

又、日常の学習態度を育てるために、特に「聞くこと」の指導も全校で取り組んでいく。

7. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 保護者の教育的関心は高く、保護者会の出席状況はよい。
- (4) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を作成し、学校緑化と環境整備に効果をあげている。都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努めている。
- (5) 子どもが創る学校づくりの一環として、すすんで働く子の育成を旨としている。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳 No	研 究 員	現 代 化 委 員	文 部 省 中 央 研 修
1	村上 悦子（45・音 楽）	清水 七郎（49・学校経営）	清水 七郎（50）
2	清水 七郎（49・教育方法）		
3	清水 良夫（54・僻 地）		
4	上田 憲二（62・教育課題）		
5	川井田和子（平2・道 徳）		
6	佐藤 静雄（平2・社 会）		
7	小松美代子（平3・家 庭）		



学 校 名 日野市立潤徳小学校
所 在 地 日野市高幡 402 番地
電 話 0425-91-0409・0410
順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩 5 分
児 童 数 男 190 名 女 157 名 計 347 名

校長氏名 石 黒 健

教頭氏名 影 山 健

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 三沢医王本堂を仮校舎として
開校、潤徳学舎と称す
- 明 11. 11. 三沢 701 番地に移転し、潤徳
学校と称し校舎を新築する
- 明 20. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変
更
- 明 26. 4. 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明 34. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変
更
- 明 42. 5. 分学校昭景尋常小学校を廃止し、
落川分校とする
- 昭 16. 4. 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭 22. 4. 校名を七生村立潤徳小学校と変
更
- 昭 27. 5. 創立 80 周年記念として、白鳥
省吾作詩、信時潔作曲の校歌を
作成する
- 昭 33. 2. 校名を日野町立潤徳小学校と変
更
- 昭 34. 4. 給食調理室完成
- 昭 37. 10. 大・小プールならびに更衣室完
成
- 昭 38. 11. 校名を日野市立潤徳小学校と変
更（90 周年記念式典挙行、記念
事業として水棲動物園、河川模
型完成）
- 昭 40. 12. 安全教育優良校として都教委及
び都学校保健会より表彰される
- 昭 41. 3. 現在地に鉄筋コンクリート三階
建防音校舎完成、落川分校廃止
- 昭 44. 2. 屋内体育館落成
9. 日野市立日野第八小学校分離開
校

- 昭 45. 4. 日野市立百草台小学校分離開校
- 昭 46. 2. 日野市研究協力校として「学級
指導の計画と実践」の主題のも
とに研究発表協議会を開催
4. 普通教室 9 教室、学校図書館増
築
- 昭 48. 5. 開校百年記念式典挙行記念碑植
樹完成
- 昭 49. 4. 日野市立南平小学校分離開校
- 昭 52. 4. 日野市立程久保小学校分離開校
- 昭 55. 9. 校庭整備完了
- 昭 55～57. 校舎内の塗装完了
- 昭 58. 2. 研究発表会（国語）
5. 開校 110 周年記念式典挙行
- 昭 60. 2. 研究発表会（全学級公開、国語）
- 昭 61. 8. 体育館バスケットゴール新設
- 昭 62. 1. プールのフェンス工事完了
- 昭 62. 7～8. 家庭科室、音楽室改修工事完成
- 昭 63. 3. プール・シート防水完成、図書
室本館に移動・新設
- 昭 63. 8～
平成 3. 外壁、放送室、体育倉庫改修工
事完成
- 平成 7. 7～9. 体育館補修工事完成
- 平成 7. 7～8. 理科室のガス・水道工事完成
- 平 2. 8. 3 階普通教室・廊下塗装、ロッ
カー改修

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	大塚四郎右衛門	創 立
2	覚 井 諦 暁	明 9. 12～明 11. 11
3	和 田 作太郎	明 11. 11～明 15. 11
4	土方 喜久太郎	明 15. 11～明 17. 2
5	宮 倉 保五郎	明 17. 2～明 19. 10

6	小 宮 太之助	明 19. 10～明 20. 10	18	重 松 正 顕	昭 7. 9～昭 14. 7
7	須 崎 和 蔵	明 20. 10～明 31. 3	19	鈴 木 慶 蔵	昭 14. 7～昭 22. 2
8	小 宮 彌一郎	明 31. 2～明 34. 4	20	赤 坂 元 春	昭 22. 2～昭 27. 9
9	加 藤 菊次郎	明 34. 4～明 36. 1	21	塚 本 正	昭 27. 10～昭 37. 3
10	佐 藤 良 輔	明 36. 1～明 42. 4	22	尾 崎 半次郎	昭 37. 4～昭 41. 3
11	沖 倉 与 一	明 42. 4～明 43. 4	23	塚 本 正	昭 41. 4～昭 43. 3
12	荒木田 大 夫	明 43. 5～明 45. 3	24	溝呂木 桂 次	昭 43. 4～昭 47. 3
13	小 宮 彌一郎	明 45. 4～大 12. 3	25	星 野 正 男	昭 47. 4～昭 51. 3
14	平 杉 蔵	大 12. 4～大 13. 3	26	村 田 守 正	昭 51. 4～昭 55. 3
15	矢 沢 久 司	大 13. 3～大 14. 9	27	黒 沢 保 雄	昭 55. 4～昭 61. 3
16	小 泉 栄 一	大 14. 10～昭 3. 3	28	篠 宮 忠 男	昭 61. 4～昭 62. 3
17	広 井 博 昭	昭 3. 4～昭 7. 9	29	石 黒 健	昭 63. 4～現 在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するに至った。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の心配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

4. 教育目標

- | | |
|-----|---------|
| 敬 愛 | ○考える子 |
| 自 由 | ○はたらく子 |
| 勤 労 | ○心ゆたかな子 |
| | ○健康な子 |

学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の精神に徹し、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成をめざすと共に、教育目標達成のため、「自主的に問題に取り組み、やりぬく子どもを育てる」ことを指導の重点として、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。

- ① 児童の実態に即して具体的な学年・学級目標を設定し、その具現化をめざして学年・学級経営を充実する。
- ② 教育活動全体を通して、児童が自主的・自発的に参加できるように配慮する。
- ③ 児童が主体的に学習する能力の育成をめざし、授業研究を全員の協力のもとに推進する。
- ④ 保護者、地域との連携を深め、教育内容の充実につとめると共に、開かれた学校をめざす。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各 教 科

- ① 児童ひとり一人の個性、能力を生かす学習指導法を工夫し、基礎的基本的な内容の徹底を図る。
- ② 地域の自然や文化を生かした体験的学習を取り入れ、自ら生きる力を育てる。
- ③ 自主的・意欲的な学習態度を育て、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

イ. 道 徳

- ① 教育活動全体を通して、生命尊重・他を思いやる心・基本的生活様式の定着を重視した指導

を推進する。

② 道徳の授業の充実を図り、道徳的实践力を育てる。

③ 児童相互・児童と教職員との信頼関係を深め、望ましい人間関係を育てる。

ウ・特別活動

① 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達を図り、個性を伸長する。

② 主体的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

(2) その他の活動

① 学年を越えたたてわりの交流により、社会性や連帯感を育てる。

② 委員会活動やその他さまざまな活動の場を通して、すすんで働き、物事を意欲的にやりぬく態度を培う。

③ 「読み聞かせ」の時間を設け、豊かな情操を高める。

④ 地域の豊かな自然や文化に親しませ、自然や文化を大切にする態度を育てる。

⑤ 国際的な視野を持ち進んで国際理解の教育をすすめる。

(3) 生活指導・進路指導

① 教師と児童、および児童相互の心のふれあいを大切にする。

② 教師と児童との信頼関係および児童理解にもとづき、児童の個々に応じた指導に努める。

③ 全教職員の共通理解のもとに、基本的生活習慣の定着を図る。

④ 児童の健康に安全を確保し、危険防止に努める。

⑤ 家庭および地域との連携を深め、協力して指導にあたる。

6. 本年度の研究主題

主体的な学習態度を育てる指導法の研究（体育）

7. 本校の特色

創立118年の歴史と伝統をもつ学校である。潤徳小を母校とする父母、新しく住居を構えた父母、集団住宅に住む父母等があり、教育に対する関心や意識が多様である。

○保護者、地域との連携を強め、教育力を高め、児童の健全育成につとめている。

○一つ一つの教育活動、経営の意義を全職員で共通理解し、教育目標の具現化につとめている。

○とくに本年度は、教育目標の「心ゆたかな子」「健康な子」に重点をおいた校内研究及び生活指導を推進し、教育目標の具現化につとめる。

8. その他（教職員の研究歴）

研 究 生	教 育 研 究 員
石 黒 健（50 体育）	影 山 健（47 算数）
	反 町 麻佐子（2 保健）
	山 木 和 也（2 体育）



学 校 名 日 野 市 立 平 山 小 学 校
所 在 地 日 野 市 平 山 4-8-6
電 話 0425-91-4123・0512
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩 7 分
児 童 数 男 240 名 女 220 名 計 460 名

校長氏名 内 藤 康 教頭氏名 岡 田 壽美子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といい、修業年限は8カ年）
明 17. 平山 598 番地に新築移転
校名を平山尋常小学校と改める
明 35. 5. 校名を平山尋常高等小学校と改める
明 41. 尋常科を6カ年、高等科を2カ年とする
昭 16. 4. 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める
昭 22. 4. 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める
昭 32. 2. 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める
昭 38. 11. 市制施行により日野市立平山小学校と改める
昭 42. 5. 平山 4-8-6 に移転する
昭 46. 3. 滝合小の新設に伴う学区変更、平山小学校は浅川の南側の地区となる
昭 53. 4. 平山台小の新設に伴う学区変更、平山苑と京王住宅地区を分離する
昭 57. 8. 校舎窓、屋上、体育館内部補修
昭 58. 5. 開校 110 周年祝賀式典挙行
8. 本館南側残部 特別教室北側窓取替
昭 59. 1. 本館北非常用階段設置
11. 体育館外壁改修
昭 60. 3. 第二幼稚園移転校庭拡張
8. 教室廊下側窓改修
昭 61. 7. 正門改修
昭 62. 1. 校庭整地
本館北側窓アルミサッシに改修
工事 本館防火シャッターおよ

び扉改修工事 本館外壁全面塗装工事

昭 63. 体育館屋根塗装工事、保健室校庭出入口増設工事

平元. 西門改修、フェンスの生垣化

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	梁 義 伯	明 6. 5 ～ 明 12. 1
2	大 沢 教之助	明 12. 1 ～ 明 20. 3
3	石 井 芳 丸	明 20. 4 ～ 明 30. 5
4	吉 永 信 丸	明 30. 6 ～ 明 35. 5
5	小 宮 彌一郎	明 35. 6 ～ 明 45. 3
6	古 屋 障 司	明 45. 4 ～ 大 2. 5
7	勝 又 房太郎	大 2. 5 ～ 大 4. 5
8	平 杉 藏	大 4. 6 ～ 大 9. 3
9	上 田 富 弥	大 9. 4 ～ 大 15. 3
10	杉山 喜知太郎	大 15. 4 ～ 昭 6. 3
11	石 川 雄 丸	昭 6. 4 ～ 昭 11. 2
12	鳥 羽 照 司	昭 11. 2 ～ 昭 13. 3
13	石 谷 倉太郎	昭 13. 4 ～ 昭 21. 3
14	飯 塚 節 三	昭 21. 3 ～ 昭 22. 3
15	田宮五郎右衛門	昭 22. 4 ～ 昭 28. 3
16	森久保 惣 治	昭 28. 4 ～ 昭 34. 3
17	高 橋 本 義	昭 34. 4 ～ 昭 37. 3
18	加々美 良 英	昭 37. 4 ～ 昭 40. 3
19	後 藤 正 太	昭 40. 4 ～ 昭 42. 3
20	安 積 利 治	昭 42. 4 ～ 昭 47. 3
21	小 野 晃	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
22	深 沢 真 人	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
23	林 元 美	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
24	伊 藤 智 章	昭 58. 4 ～ 昭 61. 3
25	蓮 池 守 一	昭 61. 4 ～ 平 2. 3
26	内 藤 康	平 2. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれ、西は八王子市に接する平地、田んぼ、畑等の農地もいくらか残り自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年は、団地、都営住宅、造成地住宅が建造され、学校周辺は農地の区画整理もすすみ、道路や橋も拡張され市街化されつつあり、他地域からの転住者が多い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法・学校教育法に基づき、特に人間尊重の精神を基調に知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざして、次の教育目標を設定する。

○すすんで学び やりぬく子

（自ら学ぶ意欲をもち、失敗や障害を乗り越えて主体的に生きる力）

○思いやりをもち 助け合う子

（自らをみつめ、他を思いやる心と自然や物、人を大切にする態度）

○からだをきたえ 元気な子

（自他の健康・安全に努め、すすんでからだを鍛え、たくましく生きる力）

なお本年度は「すすんで学び やりぬく子」の育成を重点とする。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

児童一人ひとりが、個性・能力を発揮し、自己の目標に向かって主体的に行動する意欲と、最後まで粘り強くやり抜く実践的な態度を育てるための教育課程の編成と実践に努める。

特に本年度は新学習指導要領への移行完了の年度にあることを留意し、教育活動の改善工夫に努める。

○強い意志と丈夫な体力づくりをめざし、児童が自ら目あてをもって、継続的に取り組める指導法の工夫と環境整備に努める。

○自ら進んで学習する態度を養い、各教科等における基礎的・基本的内容を確実に身につけさせるために、教材研究を深める学年会を重視する。

○集団の一員としての自覚を高め、児童の自主的・実践的態度を身につけさせるために特別活動や、その他の体験活動を充実し、変化に富んだ魅力ある学級、学校づくりをめざす。

○教育活動全体を通して、自然や人との触れ合いを深め、人権尊重の教育と、思いやりのある心の教育の充実を期していく。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

○児童一人一人の基礎学力の定着をめざし発達段階・個に応じた指導法の研究に努める。

○児童自らが考え、課題に向かって努力していく主体的学習の開発に努め、思考力と探求の態度を育てる。

○指導内容の精選を図り、系統化と組織化により、楽しく豊かな授業の創造に努める。

イ. 道徳

○教育活動全体を通して、思いやりと自己抑制力をもった、心の教育に努める。

○社会の一員としての役割を自覚し、相互に認め合い、協力しあっていく実践的態度を身につけさせる。

○基本的行動様式の定着化と、社会生活規範の確立に努める。

ウ. 特別活動

- 児童の実態、学年の発達に応じた指導を適切に行い、楽しい学校・学級づくりを目ざす。
- 児童の主体性・創意性を生かした児童会活動、委員会活動、クラブ活動を通して自主的、実践的態度を育てる。
- 教師と児童、児童相互の触れ合いを広め、豊かな人間関係を創り出す活動を工夫していく。

(2) その他の活動

- 児童が主体的・創造的に取り組む集会活動を活発化し、学校生活に変化と潤いを持たせる。
- 学級の時間を設定し、教師と児童、児童相互の触れ合いを通して、人間関係を深める。
- 地域の特性を生かした勤労体験学習の展開と地域の教育力を導入し、「いろいろの部屋」の効果的活用を図る。

(3) 生活指導・進路指導

- 自己を確立し、社会・集団の一員として、希望を持って、明るく強く生きる力を、身につけさせる。
- 地域、学校での生活のあり方を自ら考え、基本的行動様式と、社会生活の規範を守った行動がとれるようにする。
- 日常の行動の中で、正しく判断し、行動できる子ども、友だちを大切にする子どもを育てる。
- 生命尊重、人間尊重の精神を基本とした、安全教育に努める。

6. 本年度の研究主題

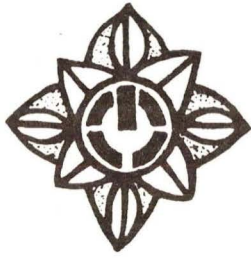
自分で考えて最後までやりぬく力を育てる。

7. 本校の特色

- (1) 本校は開校110余年の歴史と伝統を持つ学校である。児童の中には曾祖父母、祖父母、父母と4世代にわたって在校した者もあり、地域の学校に対する愛着が強い。又一方、学校周辺の開発が進み、新しく居住する者も多い。したがって、地域からは多様な要望が多く、また期待も大きい。この中で、伝統として残されてきた古き良きものを大切にし、そして新しいものを取り入れることにより、良い校風をつくることに励んでいる。
- (2) 児童は素直であるが、やや主体的な活動力を欠き、ねばり強さが少ない。そこで、今年度は「すすんで学び やりぬく子」を教育目標の重点に定め、教育をすすめている。
- (3) 校内には、130㎡余りの広い花壇、100㎡余りの田んぼと同様の飼育小屋・広場があり、花や稲の栽培、がちょうやあひる等の飼育、又、学校周辺の自然を活用した体験的学習を通して、児童の心と体の育成に努めている。さらに、地域の旧家を移築した「いろいろの部屋（和室）」での古老による「お話会」や、そこに展示してある昔の農耕機具等を使った歴史学習など地域の教育力を生かした活動を行っている。この「いろいろの部屋」はPTA活動にも開放し、地域に開かれた学校づくりを目指している。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 生	研 究 員	中 央 研	海 外 派 遣
1	内 藤 康 49 (体 育)	内 藤 康 45 (体 育)	内 藤 康 56	内 藤 康 58
2		加 藤 和 俊 57 (理 科)		
3		港 澄 江 59 (国 語)		
4		岡 田 壽美子 平2 (学 校 保 健)		



学 校 名	日野市立日野第八小学校
所 在 地	日野市三沢 200
電 話	0425-91-2411・2412
順 路	京王線高幡不動駅より東へ徒歩 15 分
児 童 数	男 286 名 女 303 名 計 589 名

校長氏名 石 川 耀 子

教頭氏名 小 杉 博 司

1. 沿革の概要

- | | | | |
|-------------|---|-------------|---|
| 昭 44. 1. 2 | 開設が決定 工事に着手 | 昭 49. 3. 1 | 校門が完成 |
| 4. 1 | 八小関係の教員並びに児童を分離し、授業を開始 | 4. 1 | 学級増のため、プレハブ 5 教室を使用 |
| 8. 16 | 日野第八小学校開校
校長 金子武夫 教頭 長井新次郎着任
教諭 16 名 事務主事 1 名が補せられる | 8. 15 | プレハブ 2 教室が増設され、図書室、教材室として使用 |
| 9. 1 | 415 名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のためそのまま潤徳小で授業を行う | 9. 10 | 都水道に切替え |
| 11. 1 | 開校式を挙行 開校記念日と決定 | 昭 50. 1. 20 | 校地拡張 西門整備完了 |
| 11. 25 | 校舎落成祝賀式挙行 | 2. 20 | 第 3 期増築完了 普通教室 6、教材室 2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板 |
| 昭 45. 1. 15 | 公募により校章決定 | 7. 15 | プール市水切替工事完了 |
| 4. 1 | 14 学級となり、プレハブ 2 教室増築 | 10. 25 | 体育館床塗替え |
| 7. 15 | 校旗ができる | 12. 20 | 砂防 (10×8m) 完成 |
| 7. 16 | 25m 6 コースのプールが完成し、プール開きを行う | 昭 52. 4. 16 | プレハブ教室、調理室改修工事完了 |
| 9. 7 | 校歌完成 作詩 米津千之、作曲 渡辺浦人 | 昭 53. 4. 15 | プレハブ 2 階建工事完了 教室 8、図書室、音楽室として使用 |
| 昭 46. 4. 1 | 15 学級 プレハブ教室増築 | 昭 54. 3. 31 | プレハブ 2 階建 2 教室増築工事完了 |
| 6. 4 | 社会教育のための校庭開放を実施する | 11. 17 | 開校十周年記念式典 |
| 9. 15 | 体育館工事着工 | 昭 55. 3. 31 | 三沢台小学校を分離
プレハブ全教室を撤去 |
| 昭 47. 2. 15 | 体育館落成式を挙行する | 昭 57. 9. 10 | 運動場全面改修完了 |
| 4. 1 | プレハブ 2 教室増築
プレハブ 5 教室使用 | 昭 59. 8. 31 | 防球フェンス (5×90m) 完成
図書室 (2 教室打抜き) 完成 |
| 6. 20 | 西武百草団地入居のため 250 名の児童転入 | 昭 60. 9. 26 | 花壇防球フェンス (5×35m) 完成
花壇増設 (5×1.5m, 3ヶ所)
プール更衣室通路舗装 |
| 昭 48. 3. | 本校舎 8 教室の増築完了 | 昭 61. 3. 24 | 体育館屋根塗装・雨どい工事完了 |
| 5. | 校地前程久保川の工事完了 | 8. 27 | 体育館照明設備新設 |
| | | 昭 62. 1. 31 | プール機械室改装 |
| | | 平 元・ 8. 31 | 西校舎屋上改修 |
| | | 平 元・11. 25 | 創立 20 周年記念式典 |

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
金 子 武 夫	昭 44. 8 ～ 48. 3
岡 本 省 吾	昭 48. 4 ～ 53. 3
古 谷 洋 太	昭 53. 4 ～ 58. 3
澁 谷 義 一	昭 58. 4 ～ 63. 3
草 薊 和 志	昭 63. 4 ～ 平 3. 3
石 川 耀 子	平 3. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩で 40 分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲りくねっていて危険な所もある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、次のような子どもを育成する。

- ア. 健康でたくましい子ども
- イ. 美しい豊かな心の子ども
- ウ. 深く考えやりぬく子ども
- エ. 力をあわせはげみあう子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 教師と児童、児童相互の人間関係を深め、互いに尊重しあう教育を推進する。
- イ. 全教育活動を通して、特に深く考え、やりぬく子どもの育成をはかると共に、ゆたかな心やたくましい体力を養うよう努める。
- ウ. 国語科の授業研究を中心にすえ、日々の授業の充実を図り、主体性を高める指導法の研究、推進を図る。
- エ. 児童理解に基づいた、一人一人を大切にした学級・学年経営の実現に努める。
- オ. 家庭、地域との連携を深め、地域の実態に即した教育活動を工夫するよう努める。
- カ. 帰国子女教育を推進し、児童の国際理解を深める。
- キ. 心身に障害のある児童の指導を充実させると共に、理解を深めるよう努める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 教材を精選し、基礎的基本的事項が身につくように、指導法の工夫を図る。
- 児童の主体性を高めるための、個に応じた指導法を工夫し、学ぶ喜びを味わわせ、学ぶ意欲を育てる。

イ. 道徳

- 社会の中で、人として生きるための基本的行動様式を身につけさせ、正しい判断力や実践力を高める。
- 自然や生命を大切にする心を育てる。
- 学校、地域社会を見なおし、郷土や自然を愛する心を育てる。

ウ．特別活動

- 児童会行事（八小祭、夏休み作品展等）に児童の創意工夫を生かし、実践力を育てる。
- 学級活動、代表委員会等の活動を通して、話し合いのルールや方法を身につけさせ、自主性、自発性を育て、望ましい集団の育成を図る。

(2) その他の活動

- 異年齢集団による諸活動で、連帯感、責任感を育てる。
- 家庭、地域との連携を深めるため、保護者との連絡や話し合いを大切に、地域の実態に即した教育を進める。老人福祉にも目を向けさせる。
- 帰国子女教育、心身障害理解教育にとりくみ、国際理解、人間尊重の心を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

- 「八小、8つのやくそく」をもとに、正しい言葉づかい、人との接し方を身につけ、物を大切に
する心を育てるため、次の事項を指導する。
 - すすんであいさつする。 ●言葉づかいの乱れを直し、きちんと話をする。
 - 整理整頓をし、持ち物に記名する。 ●掃除などを通し、勤労意欲を育てる。
- 自ら正しく判断し、行動できる態度を養う。

6. 本年度の研究主題

「児童の主体性を高める指導法の研究」

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいあいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。そこで、広い意味での教育環境づくりに力を入れている。
- ② 教師手づくりの各種遊具を使用しての体育活動や遊びを通して、子どもの体力づくりや創造性を伸ばしている。
- ③ 地域と連携のもと、3～6年児童のサッカークラブ員が、放課後、練習に励んでいる。サッカー技術の向上、体力づくり、健全育成の面で効果をあげている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生	道徳助言研
1	小 杉 博 司 (57・社会)	小 杉 博 司 (61・社会)	石 川 耀 子 (53・幼児)	石 川 耀 子 (61)
2	石 岡 房 子 (63・国語)	宇 野 有斐子 (元・道徳)		宇 野 有斐子 (3)
3	小 澤 和 子 (元・保健)			



学 校 名 日野市立百草台小学校
所 在 地 日野市百草 999
電 話 0425-91-0997・0998
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
百草センター下車 徒歩 5 分
児 童 数 男 271 名 女 272 名 計 543 名

校長氏名 小笠原 久 雄

教頭氏名 鈴 本 利恵子

1. 沿革の概要

- 昭 44. 8. 2 校舎新築起工
12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校
として潤徳小学校内で授業開始
昭 45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新
校舎に移転開校する 学級数 8、
児童数 118 名、教職員 16 名、市
職員 3 名
6. 1 開校式挙行、6 月 1 日を開校記
念日とする
昭 46. 3. 8 校旗、校歌発表会を開き、3 月
8 日を制定記念日とする
4.30 校舎北側の埋立工事完了
7.31 プール工事完了、大プール、小
プール、シャワー、更衣室、機
械室竣工
昭 47. 2.12 調理室火入れ式、調理開始
6.17 体育館完成
昭 48. 9.26 校舎新築工事開始
昭 49. 3.31 増築 7 教室竣工
昭 51. 3.20 増築校舎完成 普通教室 9、図
工室 1
昭 54. 5.31 開校 10 周年記念式挙行 記念
誌、タイムカプセル作成
10.31 校庭南側の階段上に正門落成
昭 4. 1 学区域変更により、梅が丘団地
が本校学区に編入される
昭 58. 8. 6 屋上フェンス取替完了
9. 7 校庭改修工事完了
昭 61. 4. 3 小プール底改修工事完了
昭 62. 3.19 校庭西門改修工事完了
昭 63. 2. 8 本校舎南面外壁修理及び塗装
6.25 A V 卓設置工事完了

- 昭 63. 9.10 外壁塗装工事完了（本校舎北面）
平 1. 2.21 プール管理棟外壁修理塗装完了
1.10. 3 体育館、補修、改修工事完了
（床面、外壁塗装含）
平 2. 3.10 新校舎漏水配管修理完了
5.18 アメリカンスクール訪問
7.21 電動バスケットボール設置
8. 3 給食室シャッター取り付け
10.26 プール、足洗い場設置、とびこ
み台撤去
11.16 開校 20 周年記念式挙行 記念
誌発行
平 3. 3.29 クーラー設置（保健室）

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	45. 4. 1 ～ 48. 3. 31
村 田 安 正	48. 4. 1 ～ 51. 3. 31
田 中 春 男	51. 4. 1 ～ 55. 3. 31
竹 内 音 治	55. 4. 1 ～ 58. 3. 31
志 賀 頼 治	58. 4. 1 ～ 59. 9. 8
村 松 徹 二	59. 10. 1 ～ 63. 3. 31
草 刈 喜 一	63. 4. 1 ～ 3. 3. 31
小笠原 久 雄	3. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成され、百草団地と梅が丘団地とが主な学区域である。

団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑豊かな、静かで変化に富んだ高台がある。

眼下には、浅川がゆっくりと流れ、その向う

には日野市外に続いて立川まで一望することができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には都塵をさけたリクリーションの人々でにぎわう。

自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法、教育基本法の精神に基づき、児童の実態をふまえ、これからの社会を担う児童を育てるために、目標として下記の4つの教育目標を設定した。

- 元気な子ども ○考える子ども
- 働く子ども ○助け合う子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

教育目標を総合的に達成するために自らよく考え行動できる児童を育成することを最重点とし創意を生かした教育活動の充実をはかる。

- 基礎的・基本的内容を身につけ日々の授業を大切に、児童自ら学ぶ力を養える楽しい授業の創造をはかる。
- 児童の心と体の健康づくりを全教育活動を通して組織的・計画的に指導し、児童自らが健康の保持増進や体力の向上を図る能力や態度を育てる。
- 児童一人ひとりの持つ個性、創造性をのばすとともに互いに励まし協力する態度を育てる。
- 児童の豊かな心情を育てる上に大切な環境の美化と整備をはかる。
- 家庭や地域との連携をいっそう深め地域社会の一員としての資質を育てることに協力を求める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童自らが意欲的にとりくむ学習をめざす。

- 創意ある発問や課題の提示をはかる。
- 体験や行動をとり入れた学習を大切にする。
- 教材や教具の活用をすすめる。
- 教職員の協力による授業研究をすすめる。

イ. 道徳

道徳の時間だけでなく、学校生活全体の中から問題をほりおこし、ひとりひとりの子どもの心情にはたらきかけ、実践化につながる指導をすすめる。

ウ. 特別活動

- 児童の創意や発想を大切に、児童が自発的に参加する学年の行事を積極的に企画推進する。
- 児童会役員を中心とし、児童総会、代表委員会、学級会、各種委員会など相互に連絡協力し合わせることによって、指導効果を高める。

(2) その他の活動

- 学校裁量の時間の活用をはかり、学年、学級間他の協力体制を密にした体験的活動をすすめ、児童の学校生活にうるおいと充実をもたせる。
- 常に他人の立場に立って物事を見たり、行動したりする自主的な態度を育てる。
- 多目的教室の計画的活用を通して児童一人ひとりに豊かな心情を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

- 学校全体を通して集団生活のきまりを身につけさせ、秩序ある安全な生活と協力の心を育てる。
- 学校の環境の美化、清掃活動への積極的参加をとおして、公共物を大切にする態度や勤労の精神

を養う。

- 基本的生活習慣を身につけさせ、より良い社会人となることをめざす。
- 指導内容、評価の共通理解のもと、成就感、満足感を味わわせるとともに、定着化をはかる。
- 児童の自主的・自発的活動を通して個性豊かな人間としての成長をはかる。

6. 本年度の研究課題

「考える力を育てる指導法の研究」

—— 教科指導を通して ——

7. 本校の特色

在学児童のおよそ85パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専門の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高いが、学区域は狭い。変化を求め土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

特色ある行事

- 毎週木曜日を児童集会とし、勤労体験的内容（草とり集会、石ひろい集会他）も加味した児童主体の活動をする。
- 心障理解教育推進協力校として、近隣の養護学校との交流に力を入れている。

8. その他（教職員研究歴）

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員
1	小笠原 久 雄（49.特活）	小笠原 久 雄（55.特活）
2	鈴 本 利恵子（59.国語）	
3	玉 置 順 子（61.給食）	



学 校 名 日野市立滝合小学校
所 在 地 日野市西平山2-3-1
電 話 0425-83-5172・5173
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩10分
児 童 数 男337名 女333名 計670名(4月7日現在)

校長氏名 草 刈 喜 一

教頭氏名 八 木 文 夫

1. 沿革の概要

- 昭44.12.26 敷地購入(仮称第11小学校)
昭46.3.31 南校舎(A棟)完成。プレハブ校舎仮設使用
4.1 日野市立滝合小学校開校
20学級編成、教職員27名
市職員6名
4.6 第1回入学式、始業式
4.30 運動場体育固定施設の設置
5.30 北校舎(B棟)完成
6.1 開校記念日
6.5 掲揚塔、水飲場、足洗場完成
6.30 給食室竣工
7.20 プール竣工
10.1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成
12.1 校章、校歌制定
昭47.1.21 エルサドバドル国教育局次長視察
2.20 体育館・校内通路完成
2.25 落成式
3.25 第1回卒業式(卒業生78名)
昭50.2.18 体力作り研究発表
4.~ 校庭植樹250本
昭51.8. 動物園完成
3. 旭が丘小分離(児童201名)
4. 校庭内に学童保育所完成
昭53.9.26 校庭全面整備完了
昭58.8. 中庭舗装排水工事完了
昭59.8.30 給食室タイル・壁修理完了
昭61.5.6 体育館内工事完了
昭62.1.29 プールシート防水加工工事完了
2.6 シューティングボード工事完了
8.31 A棟外装工事完了
昭63.8.31 B棟外装工事完了、校庭南側フ

ェンス移設工事完了

平元.8.31 給食室ダム、ウエータ工事完了
平2.8. 校舎北側舗装

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
峰 岸 敬次郎	昭46.4 ~ 50.3
鈴 木 英 夫	昭50.4 ~ 53.3
梅 田 茂	昭53.4 ~ 56.3
鈴 木 敏 郎	昭56.4 ~ 59.3
野 口 昭 平	昭59.4 ~ 62.3
有 泉 徹 郎	昭62.4 ~ 平 3
草 刈 喜 一	平 3.4 ~ 現在

3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南に浅川が流れ、その向こうに緑の多摩丘陵が続く。周囲に田畑が多く、屋敷森等も残る田園の中に位置している。小鳥のさえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥がみられる。

しかし、学校周辺には数多くの住宅が建ちつつあり、児童数は多く、日野市の学校の中でも一二といわれるほどになっている。学区域は、中央線の南側まで広がっており、通学時間で30分ぐらいの児童もいる。

近年、学校前の道路を通過する自動車が増え交通事故の危険は増大しつつある。

4. 教育目標

本校の教育は、日本国憲法、教育基本法、学校教育法に基づき、東京都教育委員会並びに日野市教育委員会の基本方針である人間尊重の精神を基調とし、生涯にわたる学習の基礎を培い地域社会の特性や児童の実態をふまえ、自主的に人格の完成につとめる児童の育成をめざす。

- ア. 健康でたくましい子ども（心と体の健康）
- イ. 勉強に努力する子ども（本気で取り組む、根気よく努力する）
- ウ. すすんで協力し、実行する子ども（心のふれあいと友情の育成）
- エ. 生きものをいたわる子ども（思いやりと信頼）

●学校の教育目標を達成するための基本方針

知情意体の調和のとれた児童の育成をめざし、日々の授業の充実を図り、児童一人一人の個性、能力に応じた指導を推進する。

- ア. 教育目標を日常の指導に生かしていくために、学年、学級の実態、児童の発達段階に即した具体的目標を設定し、日々の実践活動をすすめる。
- イ. 学習指導に際しては、児童に学習課題をつかませ、その課題解決指導にあたっては、一人一人を生かす授業の展開等を工夫していく。
- ウ. 基本的生活習慣、自主的生活態度について、教職員の共通理解を広げ、相互指導体制により児童の指導にあたる。
- エ. 個々の教師の特性を生かし、協力的で創意ある活動を充実し、学年、学級経営を推進する。
- オ. 地域の自然や文化財を取り入れた教育活動の充実を図り、家庭、地域との連携を深め、児童の社会性を育てる指導をすすめる。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 1) 児童の実態に即し、計画を密にした指導をすすめ、各教科の目標をふまえて、基本的・基礎的事項を確実に身につけさせる。
- 2) 児童一人一人の能力や個性を大切にし、集団の中で個を生かす指導の実現をめざす。
- 3) 教材、教具を整備し、児童の学習意欲の喚起を図る。
- 4) 学習活動を工夫し児童が成就感、満足感を持つ授業の創造を図る。

イ. 道徳

- 1) 全体計画を作成し、道徳の時間の充実を図り、意図的、計画的な指導を行う。
- 2) 人間尊重の精神に基づき思いやりのある心と自らを厳しく律する強い意志と態度を育成する。

ウ. 特別活動

- 1) 児童の自主性、思考力、想像力、表現力を高め活発にさせ、一人一人の積極性を重視して感動と喜びのある児童の活動を行う。
- 2) 学級集団の一員としての自覚を高め、自主性、社会性を養い、個性の伸長を図る学習活動を更に充実していく。
- 3) 学校、学年、学級の連帯感を高めるために、実施計画を作成し、協力し合いながら実践していく態度を培う。

(2) その他の活動

- 1) 創意ある教育活動を充実させるため、各学年、学級でさまざまな体験学習等を計画し目標達成に努力する。
- 2) 委員会活動、クラブ活動、集会活動を充実し、学校生活の活性化を図り、異年齢集団や個々のふれあいを意図的に求める。

3) 学校の教育環境の整備、美化を積極的にすすめながら勤労の精神を培う。地域にも目を向けさせ、開かれた学校づくりをすすめる。

(3) 生活指導

1) 基本的な生活行動様式や規律ある生活態度の充実を図りながら、地域、社会や家庭と密接な連絡をとっていく。

2) 自他の長所や短所を見つけ出し、お互いに認め合いながらより一層個性を伸ばそうとする意欲を高める。

6. 本年度の研究主題

子どもが意欲的に学ぶ指導法の研究 —— 地域の素材を生かして ——

地域のフィールドワーク、地域の人々の話などから地域の自然、歴史や文化、仕事について調べ資料を集めていく。そして、それをもとに教材化への研究をすすめ、授業で教材の改良を図っていく。最終的にはいくつかの学年の授業で使用できるような資料集を作成する。

7. 本校の特色

校地面積 20,458 m^2 という恵まれた校地の中に一周 200 m のトラック、バスケットコート二面、二の字形にならんだ校舎、周辺部に動物園、花だん、プール、体育館があり、おちついた空間を作っている。

校庭に作られた、児童・職員の労作による古材利用の遊具、滝合峠・ピョンピョン丸太・世界一周や、固定施設（砂場・遊び山・シーソー・ジャングルジム・すべり台・ブランコ・登り棒・雲梯・鉄棒・回転シーソー・タイヤ群 すもう土俵）は、本校を象徴するものであり、児童の体力向上に役立っている。

児童は全般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。父母の学校教育への理解は深く、きわめて協力的である。学校行事には、積極的に取り組み、大いに内容を盛り上げている。交通安全指導には PTA と協力して主体的に計画実施するなど、学校と家庭との連携の協力の実を上げている。

○たてわり班での全校遠足

○児童会主催、学区オリエンテーリング

○児童会実行委員会の活躍による運動会

○児童会の意見を生かしたクラブ活動

8. その他

内訳 No	研 究 員	開 発 員	現 代 化 委 員
1	草 刈 喜 一 (51 学校給食)	林 亀 三 (63 体育)	大 上 琢 磨 (50 体育)
2	八 木 文 夫 (59 体育)		
3	大 上 琢 磨 (53 特活)		
4	林 亀 三 (57 体育)		
5	平 島 孝 夫 (平3算数)		



学 校 名 日 野 市 立 高 幡 台 小 学 校
所 在 地 日 野 市 程 久 保 550
電 話 0425-91-7011・7012
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
5分 高幡台団地下車
児 童 数 男 232 名 女 210 名 計 442 名

校長氏名 小 泉 宣 夫

教頭氏名 山 下 法 昭

1. 沿革の概要

昭 46. 8. 7 校舎新築工事起工
昭 47. 3. 10 日野市立高幡台小学校として開校
鉄筋三階建校舎 普通教室 12、特別教室 4、特別室 9、学級数 12、児童数 402 名、教職員 18 名、市職員 2 名
5. 27 高幡台小学校 PTA 設立総会
6. 24 開校式
本日を開校記念日とする
8. 1 プール完成、プール開き挙行
昭 48. 2. 24 校旗、校歌制定
3. 24 第 1 回卒業式
卒業生 1 学級 33 名
10. 6 体育館落成式
昭 49. 3. 25 第 2 回卒業式
卒業生 2 学級 46 名
4. 1 第一期増築工事完成
普通教室 9、図書室 1、職員室
改造工事
昭 50. 3. 25 第 3 回卒業式
卒業生 2 学級 55 名
昭 51. 3. 25 第 4 回卒業式
卒業生 2 学級 63 名
昭 52. 3. 25 第 5 回卒業式
卒業生 3 学級 97 名
昭 53. 3. 25 第 6 回卒業式
卒業生 3 学級 78 名
4. 1 第二期工事完成
普通教室 9、特別教室 3
昭 54. 3. 24 第 7 回卒業式
卒業生 3 学級 98 名
昭 55. 3. 25 第 8 回卒業式

卒業生 3 学級 108 名
昭 56. 3. 25 第 9 回卒業式
卒業生 3 学級 116 名
昭 57. 3. 25 第 10 回卒業式
卒業生 3 学級 127 名
昭 58. 3. 25 第 11 回卒業式
卒業生 3 学級 109 名
昭 59. 3. 31 非常階段（旧館）完成
昭 59. 3. 25 第 12 回卒業式
卒業生 3 学級 137 名
昭 60. 3. 25 第 13 回卒業式
卒業生 3 学級 134 名
昭 61. 3. 25 第 14 回卒業式
卒業生 3 学級 120 名
昭 62. 3. 25 第 15 回卒業式
卒業生 3 学級 109 名
昭 63. 3. 25 第 16 回卒業式
卒業生 2 学級 84 名
平 元. 3. 25 第 17 回卒業式
卒業生 2 学級 91 名
平 2. 3. 24 第 18 回卒業式
卒業生 3 学級 89 名
平 3. 3. 25 第 19 回卒業式
卒業生 2 学級 82 名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
平 松 健太郎	昭 47. 4. 1 ～ 50. 3. 31
手代木 和 夫	昭 50. 4. 1 ～ 54. 3. 31
近 内 信 輝	昭 54. 4. 1 ～ 58. 3. 31
津野田 昭 二	昭 58. 4. 1 ～ 62. 3. 31
小 泉 宣 夫	昭 62. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地が、おもな学区である。高幡台団地は、5階から11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。

4. 教育目標

(1) 学校教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして次のような子どもを育成する。

たすけあう子ども……………あたたかい心で助け合う子ども

かんがえる子ども……………よく考え自分から進んでやりぬく子ども

はたらく子ども……………働くことのすばらしさを身につけた子ども

たくましい子ども……………健康で明るい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 自然愛・人間愛に根ざした教育を推進し、やさしく思いやりのある子どもの育成をめざす。
- ② 個を生かす指導法を工夫し体験的な活動を通して思考力を高める授業をめざすとともに、生涯にわたる学習の基礎的・基本的事項の学習内容を確実に身につけさせる。
- ③ 本校児童の実態をふまえ全教育活動を通じて道徳的心情を培い、自主的・自律的な態度・勤労を尊ぶ実践的態度を養う。
- ④ 健康安全への関心を高め、健康づくりと体力の向上を年間を通して意図的・計画的に実践する。
- ⑤ 個々の教師の特性を生かし、協力的で創意ある学年・学級経営の充実を図る。
- ⑥ 保護者・地域との連携を密にし、開かれた学校をめざして、地域の自然や文化を積極的に教育活動に取り入れる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 教材内容を精選し、ゆとりある授業の展開につとめ、基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせる。
- 体験的な活動を通して自ら学ぶ態度を育成するとともに、豊かな心情を育てる。
- 教育機器の活用、学習形態の工夫につとめ、児童にわかりやすく楽しい授業の確立を図る。

イ. 道徳

- 集団行動のきまりや望ましい行動の習慣化を図り、公德心の内面化につとめる。
- 相手の立場を認め合い、力を合わせてものごとをやりぬく態度や思いやりの心を涵養する。
- 人や自然を大切にする態度や公共心の育成を図り、物を大切にする実践的態度を身につけさせる。

ウ. 特別活動

- 内容相互の関連を図り、児童の自主的・自律的な実践力を育成する。特に児童会活動では、日常活動の充実を期し、児童の主体性の育成につとめる。

(2) その他の活動

- 学年を越えた子どものたてわり活動と校外地区班の連携を図り、地区児童の連帯意識を高める。あわせて、学校生活における望ましい人間関係を育成する。

○学校生活全体を通して言語に対する意識や関心を高め、言語環境を整え、児童の言語活動が適切に行われるようにつとめる。

(3) 生活指導・進路指導

- 日常生活に必要な基本的な行動様式を身につけさせ、安全で秩序ある学校生活を送らせる。
- 全教育活動を通して温かい人間関係を培い、児童一人ひとりが意欲的に学校生活を送れるようにつとめる。そして学校生活が望ましい自己表現の場になるよう、児童一人一人の個性や能力・特性を相互に尊重し合う態度を育成する。
- 児童理解に努めると共に、児童が自己の個性を自覚するように教育相談的手法を生かし、児童一人一人がより高い目標をめざして努力する態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

子どもの意欲をのばす指導法

7. 本校の特色

団地校であるから家庭の生活程度は平均しており、児童の知能程度も比較的高く較差が小さい。反面閉鎖的傾向が見られ、他の人との連り、連帯意識に弱さがある。また、団地の中だけに固まりがちな傾向が、子どもの遊び等に顕著である。このような実態を考え、子ども相互の縦横の連りを深め、広げること、また、隣接地域の風にふれさせることにより広い視野を持つ目を育てる意味等から次のことを重点にして実践する。

○たてわり活動

たてわりミニ遠足

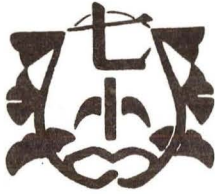
子ども祭り 六年生を送る会

○隣接校（程久保小）との交流

クラブ交流

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 /No	都・文部省委員	海外派遣	研 究 員
1	小泉 宣夫 (43.都・44) (63.文部)	小泉 宣夫 (51)	小泉 宣夫(38. 社会)
2			山下 法昭(51. 体育)
3			岡本 美治 (56.へき地教育) (62. 図工)
4			塚本 純子(元. 理科)
5			高橋 智子(63. 保健)



学 校 名 日野市立日野第七小学校
所 在 地 日野市神明 3-2
電 話 0425-83-3907・3908
順 路 J R 中央線日野駅下車 徒歩約 10 分
児 童 数 男 325 名 女 305 名 計 630 名

校長氏名 小 幡 建 教頭氏名 畑 野 元 一

1. 沿革の概要

- 昭 48. 4. 日野市立日野第七小学校として
開校 12 学級 児童 384 名
トラックを除く運動場全面に洋
芝の植付け
6. 校章制定
9. 校旗制定
12. 校歌制定
- 昭 49. 3. 日野市立日野第七小学校「校舎
体育館落成記念式」及び「校歌」
発表会
3 月 1 日を開校記念日に制定
第 1 回卒業式 45 名卒業
4. 開校 2 年めの入学児童 77 名
- 昭 52. 4. 開校 5 年め 入学児 79 名、13
学級となる。教室不足のため、
プレハブ 2 教室増設
10. 校舎の増築工事着工
- 昭 53. 4. 学級数 14 となる
5. 増築工事竣工 普通教室 6 図
書室 1 教室
- 昭 54. 4. 第 7 回入学児童 93 名
15 学級となる
- 昭 55. 4. 第 8 回入学児童 111 名
17 学級となる。
- 昭 56. 4. 第 9 回入学児童 128 名
転入児童 2 年以上 82 名
18 学級となる
- 昭 57. 4. 第 10 回入学児童 128 名
19 学級となる
- 昭 58. 4. 増築工事竣工、普通教室 4、教
材室等 3、昇降口、便所
創立 10 周年記念式典
- 昭 62. 4. 第 15 回入学児童 103 名

- 昭 63. 4. 第 16 回入学児童 115 名
平 元. 4. 第 17 回入学児童 120 名
平 2. 4. 第 18 回入学児童 102 名
平 3. 4. 第 19 回入学児童 96 名

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月
初代	星 野 武 之	48. 4. 1 ～ 52. 3. 31
2 代	上 部 正 彦	52. 4. 1 ～ 56. 3. 31
3 代	梅 田 茂	56. 4. 1 ～ 58. 7. 27
4 代	和 田 国 平	58. 9. 1 ～ 63. 3. 31
5 代	小 幡 建	63. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から西へ線路ぞいに徒歩で約 10 分。日野台地に設置されている。本校の所在地は、日野市神明にあり、校舎の周囲は、住宅が建ち始め、昔ほどの緑は眺められなくなっている。

屋上に登ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地をへだてて富士の秀麗が眺められる。また、この日野台地には、遺跡が発掘されるという。まことに環境に恵まれた場所に設置されている。

本校の児童の約 60 % は中央線の線路を経だてた西側の住宅地に居住している。この地域はここ 10 年余りの間に、旧甲州街道ぞいに急に増設されてきた新興住宅地帯で、都営住宅・分譲住宅が主である。尚本校の周囲には、大学、市庁舎、日野ふるさと博物館、消防署等、子どもが学習するに最適の地域として恵まれている。しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通量のピークが、児童の登校時刻と合致し、しかも

中央線をまたぐ陸橋を利用する児童数が圧倒的に多いことから、交通事故発生の心配がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

生命及び人権尊重の精神を基調とした心身共に調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を定める。

- 自分の力で考える子
- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりとおす子
- じょうぶな体をつくる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

学校生活全般を通して、力いっぱいやりとおす意志力と活力に満ちた行動・態度を培うと共に、児童の個性や能力に応じた教育活動をすすめる、児童・教職員が互いに啓発しあい、父母及び地域の協力のもとに学校の教育目標の具元化につとめる。

- 1) 学校の教育目標に基づく学年・学級の目標を設定し、児童の実態に即した学年・学級経営の充実を図り集団のモラルと質を高める。
- 2) 体力の向上や健康増進に関する指導を通して自ら進んで運動に親しむ習慣を形成し、生涯スポーツの基礎を培う。
- 3) 生涯学び続ける児童の育成を目指し、そのために各教科等の基礎的・基本的内容及び個性・能力に応じた指導を推進する。
- 4) 体験活動を重視し、心豊かで思いやりのある道徳教育を推進し実践力を養う。
- 5) 地域に根ざした教育活動を通して「心のふるさと」となる学校・郷土の形成者としての資質を養うと共に、文化と伝統を尊重する態度を育成する。

5. 本年度の指導の重点

本年度の重点目標「力いっぱいやりとおす子」

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 基礎的・基本的事項を身につけさせるために、学習指導の充実をはかる。
- 児童が自ら学ぶ学習活動のあり方をくふうする。
- 授業の充実をめざし、教育環境の整備に努め、活用をはかる。

イ. 道徳

- 学校教育活動全体の中で行う。
- 力いっぱいやりとおす子にむけて、自主自立、創意、勤勉のこころを培い、思いやりの心を育てる。
- 実践体験を豊かにし、道徳の時間には、それを補充、深化、統合する。

ウ. 特別活動

学級会活動を基盤とし、児童会活動・クラブ活動への一人一人の参加意識を高めることにより自主的・実践的な態度や力いっぱいやりぬく力を育て、健康で明るい充実した学校生活をおくらせる。

(2) その他の活動

- たてわり班での活動を通して児童の連帯意識を育てる。
- 特別活動との関連を図りながら、高学年児童の指導力を高めていく。
- 老人福祉読本「ふれあい」を活用し、老人との関わりや理解を深める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、相手の立場を考えて行動できる児童の育成に努める。
- 力いっぱいやりとおす子の教育を推進し、児童の健全育成をはかる。
- 校外生活指導の充実をはかるとともに、父母・地域の協力を得、連帯感を高める。
- 小学校・中学校の連携を密にし、生活指導のいっそうの充実をはかる。

イ. 進路指導

- 児童理解に努め、児童が自己の特性を自覚できるように援助する。

6. 本校の研究課題

「児童一人ひとりが自ら学ぶ学習活動の工夫」

- 豊かな読みを深めるために文学教材の特質に応じた授業研究をしていく。
- 新指導要領完全実施に向けての移行措置をふまえた、教育過程、指導計画の立案に着手する。
- 各学年と専科の七分科会を構成し、授業研究を中心にすすめる。

7. 本校の特色

- (1) 中規模校の特性を生かした知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進める。そのために、①異学年班活動を通して児童の連帯意識を育てる。②児童・教師の相互の交流を創意ある活動を通して深める。③個性尊重の教育を通して自ら学ぶ意欲を高める。
- (2) 自然に学び、自然に働きかける学習を通して力いっぱい取り組む子を育てる。そのために、①自然を取り入れた全体学習計画の作成・実施。②校庭・屋上等の活用により勤労生産学習意欲を高める。③池・学級園の整備、動物との触れ合いを通して自然への関心を高める。

8. その他

内 訳	研 究 員	その他・海外派遣
1	小 幡 建(53・理 科)	小 幡 建(57・短 期)
2	齋 藤 美智子(56・国 語)	
3	居 城 文 雄(57・教育課題)	



学 校 名 日野市立南平小学校
所 在 地 日野市南平4-18-1
電 話 0425-92-2021・2022
順 路 京王線南平駅より徒歩15分
児 童 数 男258名 女243名 計501名

校長氏名 有 泉 徹 郎

教頭氏名 末 次 久 利

1. 沿革の概要

昭48.12.27 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定

昭49.3.25 仮設校舎完成、プレハブ教室11職員室1、校長・事務室1、特別教室1、他に潤徳小新館に4教室、更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置

4.1 日野市南平小学校開校
学級数15、児童数535名、教職員22、市職員4名

4.5 仮設校舎校地整理完了

5.4 本校舎工事着工
総工費220,166万円
敷地面積26,535 鉄筋コンクリート四階建防音校舎4,456㎡

5.22 南平小学校PTA設立

11.15 本校舎完成
普通教室20、特別教室5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等

11.22 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章の図案のもととし、校歌・校旗・校章の制定および発表会を挙行
当日を本校開校記念日として制定する。

11.29 本校舎へ移転

11.30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了

12.31 体育館完成

昭50.4.30 大・小プール完成

昭53.3.15 校舎3教室増築

昭54.12.21 体育倉庫（プレハブ）完了

昭56.3.27 校舎3教室・図書室増築

9.15 NHK全国学校音楽コンクール
東京地区において優良校として受賞

昭57.2.4 体育科「児童が主体的に取りくむ学習指導法の改善」研究発表会を全都にむけて行う

昭58.3.31 学校園整備を行う

昭59.11.22 十周年記念式典、祝賀会を行う

昭61.8.25 校庭南側金網フェンス工事完成

昭62.11.4 体育館照明器具設置

昭63.1.23 体育館屋根塗装

3.19 体育館緞帳改修

3.19 校舎北側万年べいの改修工事

8.31 家庭科室机新設

12.20 体育館北側防音壁完成

平元.8.30 体育館床面、家庭科室改修工事
陶芸釜設置完了

10.16 ランチルーム開設

平2.1.24 ランチルーム机・椅子新設

平3.2.13 プール槽塗装、更衣室屋根塗装

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
黒 沢 保 雄	昭49.4.1～55.3.31
松日楽 敬 治	昭55.4.1～59.3.31
鈴 木 敏 郎	昭59.4.1～62.3.31
石 井 三 士	昭62.4.1～平3.3.31
有 泉 徹 郎	平3.4.1～現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台（なんべいだい）みなみが丘、鹿島台、川崎街道をはさんだ南平中下（昔からの唯一の集落）京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成されている。比較的まとまった学区域であり、地区の把握がしやすい。

南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区域には、自然林あり、田畑、果樹園等、自然条件にめぐまれている。西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の完備と相まって、教育的環境としては、最高の条件を具備している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法に基づき、児童及び地域の特性をふまえ以下の児童の達成をめざす。

- 自ら考え学ぶ子
- 目あてをもってやりぬく子
- おもしろい子
- 健康でたくましい子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 主体的に学習する児童の育成を図るため、指導法の研修及び授業の改善充実に努める。
- 児童の個性を生かした指導を工夫し、基礎的・基本的能力を育成し、生涯にわたって学び続ける素地を養う。
- 学年・学級経営の充実に努め、児童相互及び児童と教師、保護者との心の交流を図り、互いに尊重し合う人間関係を確立する。
- 体力の向上、健康安全の保持増進を図るため、地域及び校内の環境を整備し計画的な指導をすすめる。
- 体験を通じた学習の充実に努め、児童の感性を高めるとともに、わが国の文化や伝統に対する理解を深め、あわせて国際理解の態度を養う。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- 互いにみがき合う活動を通して、自ら考え正しく判断できる能力を養うことに重点をおく。
- 体験的活動を通して、基礎的・基本的内容を修得させるとともに感性を培う。
- 一人一人の興味・関心を大切に、個性の伸張を図るとともに課題に向ってねばり強く追求する意欲を育てる。

(2) 道徳

人間尊重・生命尊重の精神を生活の中に生かし、道徳的实践力を高める。

- 相手の立場に立って考え、行動できる思いやりの心を育てる。
- 善悪についての判断力を育てるとともに、価値に対する感性を培う。

(3) 特別活動

集団の一員としての自覚を持たせるとともに、協力してよりよい学校を築こうとする態度を養う。

- 主体的に活動にとりくませ、自主的・協力的な態度を育成する。
- 連帯感、所属感を育成する。
- 学年・学級経営の充実に努め、温かい人間関係を育てる。

(4) その他の活動

地域や児童の特性を生かし、学校や教師の創意工夫により充実した学校生活を体験させる。

○生産体験活動（米づくり、いもづくり等）を通して、自然の恵みや勤労の尊さ、そして、地域の人々との人間関係の大切さを理解させる。

○水泳、なわとび、持久走等の活動を通して、心身の健やかな成長を図る。

(5) 生活指導・進路指導

たくましく生きる力を育てるために、自己をみつめさせ、成長への意欲を援助し導いていく人間関係を確立する。

○児童の実態を把握し、理解して信頼関係を築き、心を耕す。

○自己をみつめさせ、すすんで生活を改善していく力を育てる。

○家庭・地域と連携し、望ましい生活習慣を育てる。

○自己の特性・個性に気づかせ、意欲をもって将来の進路をめざす態度を養う。

6. 本年度の研究主題

今年度の校内研究の主題を「児童の主体性を生かす学習活動の研究」と定め、具体的な学習活動や体験に基づく学習を一層充実させ、自主的、実践的な態度を育てる授業研究を行う。

7. 本校の特色

(1) 本校の児童は、素直で、礼儀正しく落ち着いている。物事に熱心にとりくみ、しっかりできる。

(2) 児童・父母ともに学校を信頼し、協力的である。

(3) 父母の経済的、社会的地位が比較的安定している。

(4) 学校生活の主人公は児童である認識のもとに、教職員が一致して教育活動にあたっている。

(5) めぐまれた学校施設・設備・校庭の完備、自然条件等、教育環境は、最高である。

(6) 体験学習を重視している。米づくり、いもづくりを軸として、地域と連携を保ちながら、生産活動を行い、収穫を祝う会、わら細工等を実施している。

(7) 米づくり等のたて割り活動を通して、異年令間の役割意識を自覚させ、思いやりの心を育て連帯感を培っている。

8. その他

内訳 No	研 究 員	現代化委員・開発委員
1	有 泉 徹 郎(54 国語)	末 次 久 利(60 算数)
2	末 次 久 利(57 算数)	
3	井 上 久美子(55 保健)	
4	太 田 由紀夫(63 理科)	



学 校 名 日野市立程久保小学校
所 在 地 日野市程久保 1-504-1
電 話 0425-92-5014・5015
順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて 5 分
中程久保下車徒歩 3 分
児 童 数 男 214 名 女 180 名 計 394 名

校長氏名 倉 重 利 恵

教頭氏名 香 川 善 平

1. 沿革の概要

本校は潤徳小学校の規模の過大化を解消するためと、高幡台小学校の学区の変更に伴って程久保地区に新設された学校である。

- 昭 52. 2. 1 程久保小学校開設 潤徳小学校
に開設準備室を設置
初代 渋谷義一校長就任
4. 1 日野市立程久保小学校開校
学級数 18 児童数 652
教職員 26 市職員 8
7. 15 体育館竣工
10. 20 落成式挙行、この日を開校記念
日とする。校歌・校章発表会を
開く
昭 53. 4. 4 学級増によるプレハブ教室設置
(1 教室) 19 学級
昭 55. 1. 18 体育倉庫竣工
11. 11 飼育舎竣工
昭 56. 12. 17 受水槽竣工
昭 57. 5. 13 校庭フェンス側散水栓着工
5. 13 校庭フェンス側散水栓竣工
昭 58. 6. 1 校庭砂場新設着工
6. 15 校庭砂場新設竣工
11. 4 球技場(テニスコート)工事着工
12. 20 同上工事竣工
昭 59. 2. 15 プール改修工事着工
2. 29 同上工事完了
7. 27 校庭除石工事を行う
8. 14 体育館ステージ照明設備工事
昭 60. 7. 21 校庭整地着工
8. 29 校庭整地完了
昭 62. 10. 4 第 11 回開校十周年記念運動会
を行う

- 昭 62. 11. 6 開校十周年記念式典を行う
11. 14 第 4 回開校十周年記念展覧会を
行う。
昭 63. 8. 普通教室黒板改修
平 元. 6. 30 エアコン設置(事務室)
8. 1 放送室 A V 卓取替え
11. 7 市の研究奨励を受け研究発表を
行う テーマ「豊かな心を育て
る体験学習」
平 2. 6. エアコン設置(校長室)
8. 花壇防球フェンス完成
職員室流し台移動・修繕
10. プール道路側フェンス(目かく
し用) 完成
平 3. 1. ランチルーム用テーブル椅子購
入
2. 球技場(テニスコート) フェン
ス改修

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
渋谷 義 一	昭 52. 2. 1 ～ 昭 58. 3. 31
大 島 昭 子	昭 58. 4. 1 ～ 昭 62. 3. 31
三 浦 勝 也	昭 62. 4. 1 ～ 平 2. 3. 31
倉 重 利 恵	平成 2. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区域である。住宅は多摩動物公園の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎も見られ、遠足時には子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接している。緑が多いわりに、子どもの遊び場が太へん少ない。

最近、住宅地域内を通過する車が増加し、児童の登下校時の安全対策も急務となっている。

4. 教育目標

本校の教育は教育基本法、学校教育法に基づき、生命・人権の尊重を基調とし、自ら考え正しく判断し実践できる児童をめざして、次のような教育目標を定める。

元気（健康で生き生きした子ども）

本気（自ら考え進んで行動する子ども・心豊かで思いやりのある子ども）

根気（目標に向かって努力する子ども）

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- 体験的学習を推進する中で、課題意識をもち、主体的に学習に取り組める児童を育てる。
- 教材研究を深め、自己学習力を育成するとともに個性能力に応じた授業を追求していく。
- 地域教材を開発し、その活用をはかる。

(2) 道徳

- 教師と児童、児童相互の人間関係を深め、日常生活における基本的行動様式を身につける。
- 体験学習を通して人間性豊かで、思いやりの心を持った児童の育成に努める。
- 教材研究に取り組み、指導法の創意工夫をはかり、道徳性の内面化及び実践的態度を育てる。
- 道徳教育の全体計画のもとに、各教科、特別活動等、全領域のなかで道徳的实践力を高める。

(3) 特別活動

- 体験学習を通して主体的な態度を養い、協力して楽しい学校生活を計画・実践できるようにする。
- 学級活動の充実をはかり、実践的な態度を育てる。
- 学校行事に自主的に参加できる児童を育て、学校生活にうおいと変化をもたせる。

(4) その他の活動

- 朝の10分間運動の時間を設定して、体力づくりに力を入れ、「活力のある子ども」を育成する。
- 「やまゆり」の時間を設けて、児童一人一人の個性能力に応じた指導を工夫し、諸々の体験学習を計画・実践していく。
- たてわり班を編成して、集会活動や清掃活動等を行い児童相互の社会性を培う。
- 隣接校との交流を深めるための諸活動を計画し、実践していく。（クラブ活動他）
- 教師、児童、保護者の一体となった実践活動を通して相互理解と心の交流を図る。
- 自然環境を愛護・保全する態度を育てる。

(5) 生活指導・進路指導

- みんな仲よく個性を認め合って助け合い、連帯感のある楽しい学校づくりに努めさせる。
- 目的意識をもって、主体的に活動できる児童を育てる。
- 児童の発達段階に即して安全教育の徹底をはかる。
- 児童の個性・能力の伸長をはかり、将来にわたって自己実現のはかれる意欲と態度を培う。
- 学校、家庭、地域が連携を深める中で基本的生活習慣を身につけ、行動できる児童を育てる。
- 特に配慮する児童には、研修を深め組織的に指導を行う。

6. 本年度の研究主題

子どもの意欲をひき出す学習指導

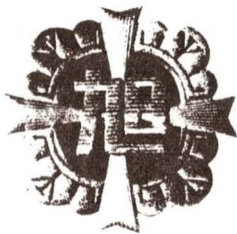
—— 地域教材の活用を通して ——

7. 本校の特色

- (1) 児童の意欲をひき出し、一人一人が生き生きとする学習指導を研究の重点に取りあげ、地域教材の開発に取り組むとともに、教師と児童が一体となって体験学習を実践している。
- (2) 児童と教師、児童相互の人間関係を深めたり、集団活動を通して主体的態度を養ったりするため、1年生から6年生までを12のたてわり班に編成し、次のような活動をしている。
毎日の清掃活動。児童会活動。たてわり遠足。ドッジボール大会。防災訓練の集団下校。
- (3) 児童の多くは家庭環境にもめぐまれており、いろいろな面でみたまわっている。明るくすなおであるが、たくましさに欠ける。そこで、体力づくりのため次のようなことを行っている。
朝の10分間運動（ラジオ体操、程久保体操、程久保音頭、固定施設の活用、持久走、なわとび等を、季節に応じて行う。）スポーツテスト。夏の水泳指導。持久走大会。
- (4) 外来者から、「校舎内がよく磨かれていて明るい」とよく言われるほど、全校をあげて校内美化と清掃活動に熱心に取り組んでいる。
- (5) 隣接校との地の利を生かして、高幡台小学校との交流を深めている。特に体力づくりの一貫として、クラブ活動・スポーツ交流をはかっている。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳 No	研 究 員	開 発 委 員	道徳助言研・その他
1	倉重 利恵（54 国語）	吉野美智子（62 道徳）	香川 善平 ^{55・56} （兵教大大学院留学）
2	香川 善平（49 特活）		香川 善平 ^{58・59} （多摩研推委）
3	田島 佳子（平3 保健）		吉野美智子（63 道徳助言研）



学 校 名 日野市立旭が丘小学校
所 在 地 日野市旭が丘5丁目21番地の1
電 話 0425-83-3733・3748
順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩25分 京王・都バス
(石川入口)下車10分
児 童 数 男447名 女413名 計860名

校長氏名 飯 沼 宏

教頭氏名 品 田 敏 男

1. 沿革の概要

昭 51. 8. 18 起工式
市議会は、日野市旭が丘小学校
の設置を決定
昭 52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令
3. 31 教頭、教諭等25名、市職員8名
計33名発令
4. 6 第1回入学式149名 4学級
全校18学級 707名
5. 20 校舎完了
6. 30 プール完成
7. 20 校章制定
8. 15 体育館完成
11. 21 校歌制定。開校式典
昭 53. 3. 25 第1回卒業式110名
4. 6 第2回入学式163名 4学級
全校20学級 758名
昭 54. 4. 6 第3回入学式156名 4学級
全校21学級 833名
昭 55. 4. 7 第4回入学式193名 5学級
全校23学級 916名
10. 13 体育館ボーダーライト工事
昭 56. 4. 6 第5回入学式145名 4学級
全校24学級 904名
昭 57. 2. 27 「雑木林の小道」完成式
4. 6 第6回入学式136名 4学級
全校24学級 895名
昭 58. 2. 7 音楽室廊下防音ドアー完成
4. 6 第7回入学式135名
全校21学級 863名
8. 11 給食室排水工事完成
昭 59. 4. 6 第8回入学式144名
全校21学級 850名

昭 59. 12. 10 堆肥小屋とプール塗装工事開始
昭 60. 1. 20 プールフェンス工事開始
4. 6 第9回入学式123名 3学級
全校20学級 823名
昭 61. 1. 13 プール排水工事・シューテング
ボード工事
4. 7 第10回入学式139名 4学級
全校20学級 764名
6. 4 理科室天井工事(了)
8. 31 AV調整卓が入る
理科室・図書室の暗幕取替え
昭 62. 1. 7 プールの平板工事(了)
4. 6 第11回入学式116名 3学級
全校20学級 737名
11. 22 開校10周年記念式典
12. 23 大熊校長1時50分逝去
昭 63. 1. 7 体育館屋根塗装
10周年記念日時計工事
1. 30 故大熊校長献花式
4. 6 第12回入学式(男55 女76
計133名)
5. 26 電話器取替完了
8. 25 放送室・図書室工事・洗浄機取
りつけ完了
10. 16 5学年増級4学級(男79 女57
計136名)21学級
12. 23 故大熊校長遺稿集発行
平元. 4. 6 第13回入学式(男78 女68
計146名)
5. 26 給食室クーラー設置
6. 15 機械室修理完了
6. 20 事務室エアコン設置
平 2. 6. 25 校長室エアコン設置

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小野寺 東 雄	昭 52. 2 ～ 昭 58. 3
大 熊 喜 一	昭 58. 4 ～ 昭 62. 12
飯 沼 宏	昭 63. 1 ～ 現 在

7. 28 体育館バスケットゴール取付
 平 3. 1. 16 学区変更説明会
 4. 6 始業式、入学式 児童数 860 名

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二段丘の二段にまたがっている。東西 2 km 南北 1.5 km と広く、学校が西に偏在しているため、通学時間 30 分以上かかる児童もいる。

学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、その周辺に個人住宅や集団住宅が混在する。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場が多く車公害が多くなってきた。学校の周辺には、畑や雑木林が多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、学校教育への関心は深い。集合住宅が増加中で、学区変更が策定されている。学級増の傾向がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、児童に自ら考えさせ、主体的に行動する力を育てるため教育基本法、学校教育法に基づき、地域の特性や児童の実態をふまえて次の 4 目標の具現を目指す。

- ① よく考える子ども（4 目標の支点）
- ② かよくする子ども
- ③ んばりぬく子ども
- ④ らだをきたえる子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア. 「よながか」を地域ぐるみの合いことばとし、開校以来の成果をふまえ、的確な教育活動を通して教育目標の達成を図り生涯教育に資する。

イ. 学校教育目標の第 1 項「ア. よく考える子ども」に支点を置き、系統的、有機的に諸研究を推進し、教育目標の達成につとめる。その手掛りとして、

- (イ) 小集団による主体的、創造的な学習活動
 - (ロ) チーム・ティーチングによる指導
 - (ハ) 体験的な学習活動
 - (ニ) 地域素材を生かした教育活動
- 等 に工夫をこらす。

ウ. 教職員の研修を一層充実させて的確な指導力を高め、ゆとりと充実のもとに父母の信託に応える資質を磨き合う。

エ. 他校との交流を進める中で児童の視野を広め自ら進んでたくましい心身をつくろうとする意欲や連帯感を育てる。

5. 指導の重点

〈移行措置を完備して計画的に教育活動を進める。〉

・ (1) 各教科、道徳、特別活動

- 指導内容の精選と指導技術の工夫により、児童の側に立った学習活動を目指し、個に応じた指導を大切にするとともに、基礎的、基本的事項の徹底を図る。
- 体験学習を重視し、児童一人一人に「よく聞く」「よく見る」「よく考える」「よく実動する」

望ましい理解・技能・態度を身につけさせる中で、主体的・個性的な学習者の育成を図る。

イ. 道 徳

- 学習活動を多彩にし、児童の実践的な生活態度の養育に努める。
- 児童の実態に即してねらいを重点化し、教育活動全体を通して自ら考え、正しく判断し、行動する主体的な道徳的实践力の向上に努める。

ウ. 特別活動

- 自ら考え行動する児童の育成を図り、所属感、連帯感を高める。
- 自ら進んで立案に参加し、実践する過程で互いに協力してがんばりぬく実践力と謝念を伴った望ましい人間関係を育てる。
- 自分の能力を集団のために生かす指導を通して個性の伸張を図る。
- 保健部、給食部、体育部等の連携の中で、たくましい心身の育成に努める。

(2) その他の活動

- 校区に即して体験的学習の場を求め、生きた学力や体力を身につけさせる。
- 菊作りや、しいたけ栽培、雑木林の手入れ、学級園等の体験的学習を通して、児童一人一人に学校の一員としての勤労意識を高める。
- 「学級・学年の日」「交流の時間」等により、児童一人一人に思いやりの心を育て、連帯感を強める。
- 「全校活動」の時間を通して、たてわり集団の中で、生き生きとした、まとまりのある交流を図る。

(3) 生活指導・進路指導

- 児童との応答性を重視し、児童理解を深める中で、特有の人間性を大事にし自己実現を図らせる。
- 学校生活のきまりの定着化を一層推進し、社会人・国際人としての望ましい基本的生活習慣の確立を図る。
- 自他の生命を尊重し、互いに守り合う態度と他人への思いやりの心を育てる。
- 地域に根ざした活動に参加させ豊かな人間性の育成を図る。(水泳・野球等)

6. 本年度の研究課題

- 子どもによく考えさせる授業

7. 本校の特色

- (1) 「よく考える子ども」の育成への傾注。
- (2) 授業の活性化をめざす校内研究体制づくり。〈「よく考える子」の育成を大テーマとして〉
- (3) 雑木林を宝として、その保存と活用への指向。雑木林の付加価値を高める思考。
- (4) 体験的学習の場の充実を目指して。一人一鉢の菊づくり、野鳥への思いやりの育成、椎茸栽培・茶摘み用苗木の育成、小動物との交流の場づくり等への指向。
- (5) 地域教育力との大いなる連携。スポーツ保険を軸として学校と地域が一体化し、元旦マラソン・八ヶ岳ジャンボリー・旭が丘少年野球リーグなど学校創立以来の組織的な健全育成への着実な展開。

8. その他(教職員の研究歴)

	研 究 員	現代化委員会	都・文部省委員
1	飯 沼 宏(47特活)	奈 良 悦 子(49家庭)	飯 沼 宏(51都教委) (家出・自殺予防の手引 作成委員)
2	品 田 敏 男(63社会)	品 田 敏 男(2 社会)	
3	奈 良 悦 子(44家庭)		



学 校 名 日野市立平山台小学校
所 在 地 日野市平山2-1-1
電 話 0425-92-6381・6382
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩 15 分
児 童 数 男 146 名 女 138 名 計 284 名
(内わかき学級 13 名)

校長氏名 波多野 坦 教頭氏名 齋 藤 正 子

1. 沿革の概要

- 昭 52. 3. 28 学校建設校舎予算市議会議決
昭 53. 1. 7 現在地に建設着工
4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から新たに平山 1, 2, 3, 6 丁目を平山台小学校の学区域と定める。児童数男 268 名、女 282 名 計 550 名 17 学級（心障 2 学級含）の規模で開校する。
10. 24 校舎落成式 校章発表
11. 22 開校記念展覧会 開校記念日
昭 54. 3. 9 開校記念校歌発表会
昭 55. 3. 20 校舎増築 8 教室完成
8. 15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床張替え、ガス配管一期完成
昭 56. 3. 屋上フェンス完成・校舎増築完成
昭 57. 8. 30 図書館改装 ガス配管工事完了
昭 58. 10. 30 屋外バスケットボール施設完了
昭 60. 12. 9 プール全面塗装
昭 61. 12. 8 研究発表公開（体育を中心）
昭 62. 3. 30 体育館どん帳取替
昭 62. 12. 25 プレハブ解体
昭 63. 2. 5 研究発表公開（心障）
昭 63. 8. 体育館照明装置取付け
昭 63. 11. 19 開校十周年記念式典挙行
平元. 3. 17 体育館バスケットゴール設置
平元. 4. 日野市研究奨励校
平元. 5. 2 文部省心身障害児理解推進校指定
平元. 8. 30 多目的教育工事完成
平 2. 10. 26 文部省心身障害児理解推進校研究発表

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 川 格	昭 53. 2 ～ 昭 57. 3
蓮 池 守 一	昭 57. 4 ～ 昭 61. 3
野 村 武 郎	昭 61. 4 ～ 昭 63. 9
馬 淵 金 男	昭 63. 10 ～ 平 3. 3
波多野 坦	平 3. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きを開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、立川も一望でき、巨大な鳥瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく児童が学習する上での生きた教材を得た学校である。

学区は、京王電鉄が造成・分譲した平山 1, 2, 3 丁目に加えて、平山 6 丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に心している。故に静かでおちつきのある雰囲気維持されている。

4. 教育目標

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自らを考え正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子（本年度重点目標）
- 力を合わせて、やりぬく子
- 心豊かな やさしい子
- 明るく たくましい子

〈目標達成のための基本方針〉

- ① 児童一人一人の個性や能力を生かし、学ぶことの楽しさや喜びを感得させる。

- ② 児童一人一人に自尊と敬愛の心を育て、人権を尊重する精神を培う。
- ③ 児童一人一人の成長・発達を促す場として、教育環境の充実・向上に努める。
- ④ 教師一人一人が自ら研修に励み、校内の指導体制を確立するとともに、家庭・地域との連携強化に努める。
- ⑤ 年度の重点目標を柔軟な思考力とともに、豊かな創造力、表現力を身に付けた児童の姿ととらえ、その具現化に努める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特活の指導の重点

ア. 各教科

自ら課題を設定し、児童が意欲的に取り組む授業の創造を目指す。

- ① 基礎的・基本的事項の定着を図るため、体験的な活動を重視する。
- ② 柔軟な思考をもって取り組む、課題解決の過程を重視する。

イ. 道徳

心豊かに、よりよく生きようとする児童の育成を目指す。

- ① 道徳の全体計画を基に、道徳的实践の指導にあたる。
- ② 年間指導計画を基に、道徳の時間の多様な展開を試みる。

ウ. 特別活動

児童が集団社会の一員としての自覚を高め、楽しく落ち着きのある生活の展開を目指す。

- ① 児童一人一人の個性を尊重し、創意を生かして活動できる学習の場をつくる。
- ② 児童が学校生活に関する諸問題を自発的・自治的に解決する力を高める。

(2) その他の活動

- ① 学校生活に喜びと潤いと充実感を与えるため、創意ある活動の時間を設定し、豊かな心を育てる。(花づくり、七夕祭り、オリエンテーリング等)
- ② わかくさ学級との交流で、全児童に障害のある児童について正しい理解と認識を育てる。
- ③ 学校がコミュニティーセンターとしての役割を果たすことにつとめ地域の教育力を高める。

(3) 生活指導・進路指導

児童が集団の中で生き生きとされる喜びの場を通して、個性や能力を伸長し、個の確立を目指す。

6. 本年度の研究主題

「めあてを持ち、生き生きと学習する指導法の研究」

7. 本校の特色

- 開校14年目。市内全域がほぼ見渡せる。恵まれた地域の自然環境の教材化を図っている。
- 小規模校の特徴を生かし、和やかな雰囲気と協働の姿の実現を図っている。
- 心障児と健常児との交流をすすめ、ふれ合い学ぶ体験を通して「心豊かなやさしい子の育成を目指す」心の教育を推進している。
- 地域の要請に応える教育力の提供について具体化を図っている。

8. その他(教職員の研究歴)

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	波多野 坦(45.国)	久 保 雅 子(57.図工)
2	中 村 康 成(55.体、61道)	
3	齋 藤 正 子(63.書写)	
4	青 木 利 夫(元・心障)	



学 校 名 日野市立東光寺小学校
所 在 地 日野市新町 3 丁目 24 番地 1 号
電 話 0425-84-6200・6201
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 10 分
児 童 数 男 199 名 女 169 名 計 368 名

校長氏名 志 村 桂 次

教頭氏名 木 内 秀 雄

1. 沿革の概要

- 昭 52. 9. 30 学校用地買収予算市議会議決
昭 53. 3. 30 学校建設校舎予算市議会議決
6. 2 学校開設準備委員会開催
8. 21 校舎建設工事着工～54. 5. 31
昭 54. 3. 10 体育館建設工事着工
～54. 10. 31
4. 1 日野市立東光寺小学校として開校。日野第三小学校の学区から、新町 3 丁目と栄町 1, 2, 3, 4, 5 丁目を東光寺小学校の学区と定める。児童数 545 名（男 287 名 女 258 名）15 学級の規模で開校する。
7. 18 校樹決定「さくら」
11. 17 P T A 創立総会
11. 20 校章・校旗・校歌制定
校舎・体育館・プール落成記念式典、校章・校旗披露・校歌発表
昭 57. 2～3 校地緑化、小鳥舎新設
昭 62. 11. 20 東京都図画工作研究会南多摩研究大会会場となる。
平 2. 3. 24 卒業生総数 951 名となる

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高 田 智	昭 54. 2. 1 ～ 58. 3. 31
近 内 信 輝	昭 58. 4. 1 ～ 60. 3. 31
志 村 桂 次	昭 60. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって学区の一部は多摩川と八王子市に接している。学区は新町 3 丁目、栄町 1, 2, 3, 4, 5 丁目、東西 1.8 km、南北 0.8 km と東西に長く、学校は学区の中央、南側に位置している。通学時間は、遠い児童で 15 分である。

学区には、天正 16 年、僧永海が旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地には農家が点在していたが、都市化にしたがって兼業農家がふえ、まわりには宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には自然林、正門近くには田畑や果樹園等があり、自然条件にめぐまれている。

また、施設、設備、校庭が完備され、教育的環境は優れている。

父母の学校によせる関心も高い。

4. 教育目標

憲法及び教育基本法に基づき、自ら考え正しく判断できる児童の育成をめざし、次のような教育目標を定める。

- 明るい子ども
○考える子ども
○強い子ども
- (教育重点目標)
進んでやる子ども

〈学校の教育目標を具現化するための基本方針〉

教育重点目標「進んでやる子ども」を主軸に全教育活動を整合化かつ一貫させ指導のいっそうの充実を図る。

- (1) 各分掌とも「進んでやる子ども」の達成を軸に、年間指導計画をたて、学年・学級と連携をとりながら指導の徹底に取り組んでいく。
(2) 各学年・学級は、発達課題・学級の実態を

ふまえながら「進んでやる子ども」の達成を図るべく経営方針をたて、各分掌との連携をもとに日々の指導に取り組んでいく。

- (3) 運営委員会は各分掌・学年・学級の緊密化を絶えず図るとともに、職員会議の機能向上に努め、「進んでやる子ども」の達成に全教職員が一体となって取り組むように働きかける。
- (4) PTAを中心に家庭や地域との相互理解を深め「進んでやる子ども」の達成を図るべく連携を強めていく。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 一人一人の能力に応じた指導の工夫に努め、基礎的な学力の充実・向上を図る。
- 一人一人の興味や自発性を大切にし、進んで考え、やりとげようとする自主的な学習態度を育てる。

イ. 道徳

- 思いやりの心を持ち、友だちを大切にする態度を育てる。
- 進んで考え、行動する積極的な実践態度を育てる。
- 物事を最後までやりとげる意志の強さを身につけさせる。

ウ. 特別活動

- 学級会、委員会などの活動を通して、学級、学校の一員としての自覚を深め、進んで貢献する喜びをわからせ、実践力を身につけさせる。
- クラブ活動などを通して自分の特性を知り、それらを伸ばそうとする意欲を高めさせる。

(2) その他の活動

創意を生かした活動として集会活動やたてわりの場を設定するなどを図ることを通して学校生活に変化を与え、一人一人の児童に喜びと充実感を持たせる指導を工夫する。

(3) 生活指導・進路指導

- 一人一人が個性・能力を発揮し課題意識を持って、自己を伸ばそうとする意欲と実践的態度を身につけさせる。
- 基本的生活習慣を身につけ規律ある明るい学校生活を送ろうとする生活態度を身につけさせる。
- 他人の立場や心情を理解でき、思いやりのあるあたたかな心を持って友だちと接する生活態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

「一人一人が生き生きと学習に取り組む指導法の研究」

7. 本校の特色

- (1) 地域の学校としての立ち場を強く自覚し、その期待にいつそう応え得る学校の創造を目指す。
- (2) 前年にひき続き「進んでやる子ども」の育成を目指し、教職員はもちろん、家庭との相互理解による連携を強め、PTA、地域との協力などを密にして教育を推進する。
- (3) 児童一人一人が個性を発揮し、生き生きと積極的に活動する活力に満ちた教育が行れるように充実した校内研究を推進する。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研究員	研究生	道徳助言研
1	志村桂次(43.国語)		
2	木内秀雄(54.社会)		
3	高木宏(65.特活)		



学 校 名 日野市立三沢台小学校
所 在 地 日野市百草 896-1
電 話 0425-92-2351・2352
順 路 京王線百草園駅下車 徒歩 15 分
児 童 数 男 195 名 女 168 名 計 363 名

校長氏名 西 田 敦 子

教頭氏名 小 原 良 雄

1. 沿革の概要

昭 55. 4. 1 開校

日野第八小学校より分離
児童数 666 名(男 319 名 女
347 名)、教職員 34 名で発足

4. 7 第 1 回入学式 111 名入学

6. 10 プール完成

8. 4 体育館完成

9. 1 校庭使用開始(芝生、アンツーカーの運動場)

9. 10 市主催による落成式

昭 56. 2. 10 校歌・校章発表会

開校記念日とする

3. 25 第 1 回卒業式 126 名卒業

4. 6 第 2 回入学式 114 名入学
学級数 18

9. 22 校庭改修工事完了(ダスト舗装
に)

昭 57. 3. 25 第 2 回卒業式 125 名卒業

4. 6 第 3 回入学式 90 名入学
学級数 17

昭 58. 3. 25 第 3 回卒業式 110 名卒業

4. 6 第 4 回入学式 66 名入学
学級数 16

昭 59. 3. 24 第 4 回卒業式 110 名卒業

4. 6 第 5 回入学式 82 名入学
学級数 16

昭 60. 3. 25 第 5 回卒業式 117 名卒業

4. 6 第 6 回入学式 68 名入学
学級数 15

6. 28 音楽室冷房設備工事完了

昭 61. 3. 25 第 6 回卒業式 131 名卒業

4. 7 第 7 回入学式 79 名入学
学級数 14

昭 62. 3. 25 第 7 回卒業式 119 名卒業

4. 6 第 8 回入学式 60 名入学
学級数 13

8. 31 三沢台小学童クラブ開

昭 63. 3. 25 第 8 回卒業式 104 名卒業

4. 6 第 9 回入学式 55 名入学
学級数 13

9. 1 体育館舞台照明設備工事完了

平元. 3. 25 第 9 回卒業式 79 名卒業

4. 6 第 10 回入学式 67 名入学
学級数 12

平 2. 3. 24 第 10 回卒業式 89 名卒業

4. 6 第 11 回入学式 52 名入学
学級数 12

8. 24 体育館床張替え工事完了
A V 放送器機設置

平 3. 2. 9 創立十周年記念式典
父母の会より記念品贈呈(遊具)

3. 25 第 11 回卒業式 79 名卒業

4. 6 第 12 回入学式 50 名入学
学級数 12

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
初代 深尾 眞	昭 55. 2 ～ 昭 59. 3
二代 松日楽敬治	昭 59. 4 ～ 昭 62. 3
三代 福地 保	昭 62. 4 ～ 平 2. 3
四代 西田 敦子	平 2. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂
きを開発した住宅街(西武・日本信販) の中心
にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子
市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。

東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれているうえ、静かな住宅環境でおちついている。

4. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童が自ら考え、課題に向かって主体的にねばり強く取り組めるよう指導法の開発に努め、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

○児童一人一人の発達段階や個に応じた学習指導を工夫し、基礎学力の定着を図る。

○教材・教具の効果的な活用をはかり、学習効果の向上に努める。

イ. 道徳

教育活動の全体を通して、道徳的心情を豊かにし実践力を育てる。そのために、各教科・特別活動とのつながりを深めた指導の展開に努める。

○広い心をもち、たくましく生きる子を育てる。

○望ましい行動様式を身につけさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ. 特別活動

児童の主体的な活動を重んじ、個性や能力の発見と育成に努めると共に、たて割組織などを活用して児童相互の交流を深め、協力して落ち着いた活力のあるよい校風づくりに励む態度と実践力を育成する。

(2) その他の活動

新興住宅地と古い集落とを合わせもつ本校では、教育活動にいっそう創意と工夫を生かし、児童相互の連帯意識と地域社会の一員としての自覚を持ち大切にすることと実践力の高揚をはかる。

○遊びの指導を通して、児童相互・児童と教師の交流をさかんにする。

○学年を越えた児童のふれあいの場を多くし、学校と地域とのつながりを深める。

(3) 生活指導・進路指導

○楽しい学校生活を送れるように全教育活動を通して、人間として調和のとれた豊かな心を育てる。

○児童一人一人の特性を生かし、個別指導を一層徹底し、生涯学習を指向する基礎作りをめざす。

○集団としての規律の大切さを理解させ、基本的生活習慣の徹底を図る。

○家庭・地域との連携を深め、安全指導・非行防止の手だてに万全を期す。

○各教科、道徳、特別活動との関連を密にして、職業勤労に対する正しい理解と判断力を育て、労働や奉仕したりすることの大切さを体得させる。

○海外から帰国した児童などについては、学校生活への適応を図るとともに、外国における生活経験を生かすなど適切な指導に努める。

5. 本年度の研究主題

「集団の中で意欲的にやりぬく子どもを育てる指導法」

6. 本校の特色

子どもたちの「心のふるさと」となる地域と一体化した学校づくりをめざす。このため全教職員の創意を生かし、子どもと共に遊び、働き学ぶ教職員の後姿から教育実践の効果を高めていく。

7. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	海 外 派 遣
1	小 原 良 雄(62道徳)	西 田 敦 子(60家庭)	西 田 敦 子 (58)
2		川 田 浩 子(62道徳)	



学 校 名 日野市立仲田小学校
所 在 地 日野市日野本町6丁目1の74
電 話 0425-81-8511・8512
順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
児 童 数 男173名 女169名 計342名

校長氏名 岩 下 和 夫

教頭氏名 難 波 和 子

1. 沿革の概要

本校は、日野第一小学校及び日野第四小学校の教室不足の解消、危険な道路を横断しない安全通学と、当地域の将来の発展を見越して、日野第一中学北側の国有地「日野第一桑園」跡地と一部買収民有地に新設された学校である。

昭58. 3.30 仲田小学校新設の為の市条例一部改正を市議会が可決

6.22 現在地に建設着工

昭59. 2. 1 初代校長 山口武彦就任

4. 1 開校

4. 6 第1回入学式

5.23 校庭・プール竣工

7.31 体育館竣工

10.12 市主催落成式举行

11.12 校歌・校章披露式举行

昭60. 3.25 第1回卒業式

昭61. 3.25 第2回卒業式

昭62. 3.25 第3回卒業式

2代校長 岩下和夫就任

昭63. 3.25 第4回卒業式

11.21 開校五周年記念式典

平元. 3.25 第5回卒業式

平 2. 3.25 第6回卒業式

平 3. 3.25 第7回卒業式

4. 6 第8回入学式

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
山 口 武 彦	昭59. 2. 1 ～ 62. 3. 31
岩 下 和 夫	昭62. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

本校の学区は、日野市の北部に位置し、東と南に甲州街道(国道20号線)、西にJR中央線、北に多摩川にかこまれた、ほぼ長方形に近い地域である。

この地域は、江戸時代以来甲州街道日野宿として栄えてきた。近年、多摩川沿いの水田を埋め立て宅地化が進行している。したがって、古くから居住している人々、比較的新しく移住してきた人々とが混在している。

本校は、この地域の中央部北寄りの旧農林省蚕糸試験場(日野第一桑園)跡地にたてられ、周囲は、仲田緑地や多摩川という自然の美しい環境が残されている。

仲田は、この付近の古い字名で、本校名もこれによったものである。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる知、徳、体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次のように教育目標を設定する。

○すすんで 学ぶ子

自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる力を育てる。

○からだを きたえる子

生涯にわたってたくましく生きるための心身を育てる。

○思いやりの ある子

自己を抑制しつつ、他者を尊重し、好ましい人間関係を築く。

○さいごまで やりぬく子

困難に立ち向かい、障害を乗り越えて自己実現を図るための基礎を培う。

5. 本年度の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 各教科の特性を踏まえ、個に応じた指導を工夫し、学ぶ喜びの味わえる授業を展開する。
- たくましく生きる人間の育成を目指し、体力の向上・健康の増進に視点をあてた体育科授業の充実に努める。

イ. 道徳

- 人の命の尊さに目をむけさせ、相手の立場を思いやる心情を育て、社会の一員としての自覚を高める。
- 目標を達成するため、困難に向かって挑戦し、最後まで諦めることなくやりとおすことができるようにする。

ウ. 特別活動

- 健康の増進、体力の向上を重視した学級指導や学校行事を充実させる。
- 学級指導の内容や方法を吟味し、指導計画を確立する。

(2) その他の活動

- 学校裁量の時間を確保し、個別指導や集団活動を推進する。
- 児童と教師が一体となって、学習環境をより美しく、より豊かにしていく。
- 児童自ら、進んで健康づくりに取り組み、体力の向上と生命の安全に対する能力と態度を養う。

(3) 生活指導・進路指導

- 児童理解に努め、カウンセリング・マインドに徹した個別指導を行う。
- 家庭との連携を深め、基本的生活習慣の定着に努める。

6. 本年度の研究主題

(1) 研究主題

健康な心と体づくり

(2) 副主題

一人一人を大切にし、互いに高めあう学習指導の工夫

(3) 研究領域

体育科の全領域

(4) 研究内容

① 基本的方向

- 本年度の最重点目標の「体をきたえる子」を、引き続き追求すると同時に、重点目標である「思いやりのある子」から心の教育を新たに追求していく。
- 昨年度の研究・課題を实践して定着を図るとともに、期待される児童像をさぐる。
- 人権尊重教育の「一人一人を大切にしたい指導」から思いやりの心を追求していく。

② 研究内容

- 教科体育
 - 昨年度の研究内容を深化させ、定着を図る。
 - 6項目の指導の重点を見直し修正していく。
- 体育的活動●昨年度に引き続き、実践し定着していく。特に、業間体育、体育館開放。
 - 体育集会・運動会
- その他
 - 「けやきの時間」（学校裁量の時間）を中心とした体験的活動の重視。
 - 教育環境の整備と日常の運動遊び。

③ 研究主題（健康な心と体づくり……日常的に健康増進と体力向上及び心の成長を心がける児童）をふかめるために、教科体育以外の研究もとりあげる。

④ 本年度は、都人権尊重教育推進校及び市奨励校の指定をうけ、2月に発表する。

7. 本校の特色

本校は、開校八年目を迎えた教職員の意欲と児童の活力にあふれるみずみずしい学校である。

(1) 恵まれた自然環境

本市の北東部に位置する学区は、緑豊かな仲田緑地や、流れも清き多摩川など、美しい自然に囲まれています。また学校の前には、樹齢100年に達する大ケヤキやイチョウがそびえ、四季おりおりの景観が子供たちの心をはぐくんでくれる。

(2) あいさつが上手な明るい子

本校の子供たちは、すこぶる明るく、素直である。来客者は口をそろえて、「この学校の子供たちはあいさつが上手ですね」とほめてくれる。

あいさつは、心と心を結ぶ最高の手段であり、好ましい人間関係の形成に役立つ。豊かで明るい学校生活を過ごすために、あいさつは不可欠なものであり、全校で取り組んでいる。

(3) 研究熱心な教職員

現在本校では、「一人一人を大切に、互いに高めあう学習指導の工夫」をテーマに、頭・心・体の健康づくりを目指して、体育科の授業改善に努めている。その一環として、授業前に全教員で実際に運動したり、VTRを見たりしてから指導している。

また用務員は、床を磨くの油とワックスのどちらが効果的かを実験したり、調理員は、子どもの側に立った味付けなどを絶えず研究したりしている。

(4) 協力的な地域の方々

本校を取り巻く地域は、「日野宿」跡地に象徴されるように、大変歴史の古い所である。それだけに貴重な遺産や資料がたくさんある。以前、開校五周年記念の資料集を作成するため、地域の方々に資料提供を要請したところ、驚くほど多くの資料や古文書を寄せてくれ、また古老から、昔の話を十分聞かせていただいた。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	研 究 生	現代化委員・開発委員
1	岩 下 和 夫(49 体育)	吉 田 弘 (元教育方法)	岩 下 和 夫(52 体育)
2	雨 宮 充(61 道德)		難 波 和 子(63 家庭)
3	佐 藤 典 子(61 学養職員)		
4	小 山 富 子(元 算数)		
5	岩 崎 英 夫(元 体育)		
6	吉 田 建(元 体育)		
7	八 木 正 子(2 生活)		



学 校 名 日野市立日野第一中学校
所 在 地 日野市日野本町7-7-7
電 話 0425-81-0009・0261
順 路 J R 日野駅下車 徒歩 10 分
生 徒 数 男 354 名 女 360 名 計 714 名

校長氏名 宮 本 裕 子

教頭氏名 中 根 勉

1. 沿革の概要

- 昭 22. 4. 30 公立中学校として設置許可、日野中学校と称する。
- 昭 24. 4. 1 校歌制定
- 昭 29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
- 昭 37. 9. 17 新校舎（鉄筋防音）落成
- 昭 38. 9. 9 プール落成
- 昭 39. 5. 1 特別教室落成
- 昭 41. 7. 1 体育館落成式
- 昭 42. 11. 4 20 周年記念式典挙行
- 昭 48. 3. 10 校舎増築（普 2、特別 2）
- 昭 52. 11. 4 30 周年記念、校歌刻字の記念碑建立記念誌発行
- 昭 55. 4. 1 大坂上中新設に伴い学区縮小
- 昭 58. 8. 31 窓枠改修
- 昭 59. 3. 31 給食棟増築（食堂 1、特別 2）
- 昭 59. 6. 4 学校給食開始
- 昭 62. 11. 7 創立四十周年記念式挙行
- 平元. 8. 25 保健室改修工事
- 平 2. 9. 3 校庭整備工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
町 田 勘之助	昭 22. 4 ～ 25. 9
飯 塚 節 三	昭 25. 10 ～ 37. 3
大 沢 彰	昭 37. 4 ～ 40. 3
大 沢 量 作	昭 40. 4 ～ 45. 3
安 部 達 郎	昭 45. 4 ～ 49. 3
東 恭 朝	昭 49. 4 ～ 53. 3
松 延 耕 作	昭 53. 4 ～ 57. 3
小 林 節 夫	昭 57. 4 ～ 59. 3
奥 村 節 生	昭 59. 4 ～ 63. 3
高 橋 豊 彦	昭 63. 4 ～ 平元. 1
宮 本 裕 子	平元. 2 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えてきた。

近年、郊外の住宅、アパート、工場、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

4. 教育目標

わたしたちは、ひとりひとりを尊重し、真理と平和を求める人間となるために学び、希望に満ちた社会をめざして、つぎの目標を定めます。

- 一、よく考え、やりぬく人（主体性）
- 一、協力し、全体に尽くす人（連帯性）
- 一、心豊かで、思いやりのある人（人間性）
- 一、進んで、心身をきたえる人（健康）

5. 教育目標を達成するための基本方針

- (1) 年間の授業時数の確保と基礎・基本を重視し、生徒の思考や活動を生かす授業をすすめる。
- (2) 規律ある落ち着いた教育環境と生徒の自主的・実践的な活動を重視し、指導体制の確立と学年・学級経営の充実をはかる。
- (3) 実践的研究部門の活性化と充実をはかる。
- (4) 家庭や地域の理解や協力をえて、心豊かな生徒の育成につとめる。

6. 指導の重点

- (1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 基礎学力の充実を図るとともに、生徒の活動や思考を生かし成就感が意欲につながる指導に努める。

○授業規律の確立と、よく考え自ら学びとる学習態度を育成する。

イ. 道 徳

○他領域との連携とはかりながら、自主的判断のもとに責任ある行動ができるような道徳的心情を培うために、計画的な指導の充実に努める。

○とくに、お互いの人権を尊重する豊かな心・思いやりの心・感謝と奉仕の心を養い、みんなと力を合わせて努力する態度を育てる。

ウ. 特別活動

○教師と生徒、生徒相互の心の触れ合いを深め、信頼関係を確立する。

○小集団を基礎に個人の自発性を啓発し、学級集団の質を高める。

○学級・学年の活動を母体として、生徒会活動の充実に努める。

(2) その他の活動

落ち着きとうるおいのある学校生活の中で、学ぶ喜びを育てるために、

○清掃・美化活動の徹底をはかり、心豊かな教育活動を醸成する。

○学校行事への取り組みを通して、自主的実践的活動を重視し一人一人を生かす教育活動の充実に努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

○規律ある学校生活の確立と基本的な生活習慣の徹底をはかる。

○共通理解から共通実践へ、職員の指導態勢の充実に努める。

○朝礼等集会指導の充実に努める。

イ. 進路指導

○一人一人の生徒の能力・適性の把握につとめ、学年に応じた系統的指導のもとに、生徒が自ら進んで進路を選択する態度と能力を育てる。

7. 本年度の研究主題

(1) 授業研究……「教科による授業研究」

(2) 市奨励研究…「主体的・協力的態度を培う生徒指導の実践的研究」

8. 本年度の特色

○市の研究奨励校として、「主体的・協力的態度を培う生徒指導の実践的研究」を通して、生徒が学校生活に充実感を持てる指導体制を確立する。公开发表を2月に予定している。

○市の教育目標を具現化するため授業研究を全教員で組織的に取り組み、授業の改善を図っている。また、初任者研修を通して、教師としての職責の自覚や指導法の改善等に努めている。

9. その他（教職員の研究歴）

	文 部 省 等	研 究 員	研 究 生	開 発 委 員	道徳助言研
1	宮 本 裕 子 (53・カウンセリング 中央研修)	中 根 勉 (56・教育課題)	宮 本 裕 子 (52・相談)	宮 本 裕 子 (53・心障)	中 根 勉 (59・60・62)
2	佐 藤 至 正 (59・進路中央研修)	吉 田 俊 明 (63・教育課題)		佐 藤 至 正 (60・技術)	荒 延 江 (61)
3	中 根 勉 (63・海外派遣)	浅 野 和 也 (2・教育課題)		中 根 勉 (62・社会)	佐 藤 至 正 (元)
4				酒 井 徳 行 (63・特活)	清 水 肇 (2)



学 校 名 日野市立日野第二中学校
所 在 地 日野市多摩平 4 丁目 5 の 2
電 話 0425-81-0056・0262
順 路 中央線豊田駅下車 北へ徒歩 10 分
生 徒 数 男 359 名 女 316 名 計 675 名

校長氏名 大 野 隆 久

教頭氏名 久保田 孝 志

1. 沿革の概要

昭 29 年度 設立認可、開校式、入学式
(生徒 200 名)
第二期工事八教室増築落成
昭 31 年度 第三期工事竣工落成
昭 32 年度 第 1 回卒業式(卒業生 204 名)
昭 33 年度 校旗・校歌制定
昭 34 年度 産業教育研究校に指定される
昭 35 年度 特別教室(工作、調理、理科)
竣工落成
昭 36 年度 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行
研究発表会
昭 37 年度 プール竣工落成
昭 38 年度 保健体育研究発表会
昭 39 年度 普通教室 3 教室竣工、創立 10
周年記念式典挙行
昭 40 年度 体育館竣工
昭 41 年度 防音校舎第一期工事完成(6 教
室)
昭 42 年度 防音校舎第二期工事完成(18 教
室)、プール用更衣室工事完成
昭 43 年度 南校舎前、境花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭 48 年度 創立 20 周年記念式典挙行
昭 49 年度 南校舎 3 階塗装。技術科教室及
同準備室改造整備。中庭・他整
備
昭 50 年度 南校舎 6 教室増設、南校舎 2 階
塗装
昭 51 年度 理科室、家庭科調理室、机、床
整備
昭 52 年度 体育館照明工事、暗幕完成
校舎電気配線整備

昭 55 年度 第二技術室の新設
昭 56 年度 北校舎内部塗装工事、校長室・
事務室の床張替え工事
昭 57 年度 南校舎窓枠改修工事。プールサイ
ド改修工事。体育館床塗装工事
昭 59 年度 創立 30 周年記念式典挙行
昭 60 年度 給食棟建設工事着工
昭 62 年度 給食始まる
南校舎内部塗装工事
昭 63 年度 南校舎内部塗装工事
体育館西側舗装工事
健全育成相談室設置
平 元 年度 南校舎二階廊下改修塗装
青桐祭(文化の部)市民会館で
挙行
平 2 年度 体育館、床、壁、更衣室等改修
被服室、理科室の床改修

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 貴 一	昭 29. 3. 1 ～ 30. 9. 30
増 山 恒	昭 30. 10. 1 ～ 41. 3. 31
飯 田 栄 一	昭 41. 4. 1 ～ 46. 3. 31
河 村 俊一郎	昭 46. 4. 1 ～ 48. 3. 31
飯 田 卯 吉	昭 48. 4. 1 ～ 51. 3. 31
小 林 政之助	昭 51. 4. 1 ～ 55. 3. 31
渡 辺 吉 彦	昭 55. 4. 1 ～ 59. 3. 31
小 林 節 夫	昭 59. 4. 1 ～ 63. 3. 31
大 野 隆 久	昭 63. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に、日野五社を中心としたサラリーマンの住宅地として発展したベッドタウンの中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者として、たくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

自ら学習に励む人になろう 思いやりの心で他に尽す人になろう 進んで心身を鍛える人になろう
--

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

指導内容の精選、指導方法の工夫改善につとめ基礎基本の充実を図り、ゆとりある学習をとおして自主学習を促進し、内発的意欲、主体的学習態度の育成を図る。

イ. 道徳

教育活動全体をとおして、組織的、計画的に内容の重点化を図り、日常生活において自主的判断のもと責任ある行動ができる豊かな道徳性の育成を図る。

ウ. 特別活動

- 学年、学級の諸活動を基盤に、生徒会活動など集団活動をとおして自主性、協調性、奉仕性等を養う。
- クラブ活動、部活動の種類や内容の充実を図り、活発な活動を促進し、学校生活の活性化を図る。

(2) その他の活動

- 小集団を基に学級、学年、生徒会の活動の中で、個々の自発性を促し生徒集団の質を高める。
- 行事や諸活動に工夫をこらし、内容を充実し、活発な活動を促し参加の意欲を高め、主体性、協調性、創造性の進展を図る。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 教師と生徒、生徒相互の人間関係を深め、基本的生活習慣を身につけさせ、自ら正しく判断し、実践していく能力を養う。
- 問題行動の指導は、共通理解に基づき一致した指導を継続徹底するとともにゆとりを持って自己教育力、自ら正す力の育成を図る。

イ. 進路指導

教師、生徒、保護者の交流を促進し、発達段階に応じた進路指導をすすめる、自己の個性や適性の伸長をはかり、正しい職業観を育成し、自らの進路を選択できる能力を高める。

6. 本年度の研究主題

視聴覚機器の活用

7. 本校の特色

日野市最大の多摩平第1公園に接し多摩平団地のほぼ中央に位置し、けやき、白かし、くぬぎ、こなら、赤松、ゆりの木等々の木々に囲まれ、自然環境は良好である。広い校庭は桜に囲まれ、体育系のクラブ活動は活発で優秀な成績を上げている。都の愛鳥モデル校にも指定されており、生徒も自ら小鳥・小動物の飼育を行い、情操面の高揚も見られる。青桐祭（運動会・文化祭）も14年目を迎え定着してきた。年2回実施される生徒会主催の球技大会、合唱祭は、学級のまとまりを強めるとともに、生徒の自主性を育てている。特に青桐祭を通して生徒の誇りと二中の特性の育成に努める。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員
1	富 士 堯（41 特 活）
2	永 谷 豊（45 教育方法）
3	永 谷 豊（52 特 活）



学 校 名 日野市立七生中学校
所 在 地 日野市南平 6-7-1
電 話 0425-91-0174・0175
順 路 南平駅（京王線） 下車徒歩 8 分
豊田駅（J R） 下車徒歩 18 分
生 徒 数 男 353（5・5） 女 276（2・0） 計 629（7・5）
（ ）内は心障・情障学級の生徒数

校長氏名 村 田 志 信

教頭氏名 松 澤 茂 久

1. 沿革の概要

- 昭 22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校
を役場庁舎内に設置
5. 15 七生村役場を仮校舎として開校
式挙行 2 部授業で発足
昭 23. 2. 15 七生村南平 1994 番地に七生中
学校敷地決定、地鎮祭を挙行
9. 4 新校舎完成、当日より授業開始
昭 32. 12. 1 P T A 結成第 1 回総会を挙行
創立十周年の記念式典及び校歌
制定の発表を挙行
昭 33. 2. 1 日野町立七生中学校と校名変更
昭 37. 7. 31 プール開きを挙行
昭 37. ～ 39 鉄筋 3 階 3 教室・6 教室完成
昭 41. 7. 1 体育館落成
昭 42. 11. 33 創立二十周年記念式典挙行
昭 45. 3. 31 鉄筋防音校舎 9 教室完成
4 ～ 9 七生中学校に三中分校設置
昭 46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成
8. 24 プール浄化装置・更衣室完成
昭 47. 3. 20 観察用水槽完成
5. 22 訪問学級開級式
昭 50. 5. 22 南校舎西側（4 階）増築工事完
成 訪問学級教室完成
7. 1 地番変更日野市南平 6-7-1
昭 52. 11. 3 創立三十周年を祝う会挙行
昭 54. 9. 30 校庭、運動場改修工事完了
昭 57. 3. 31 社教による夜間照明工事完了
昭 58. 4. 1 心障学級開設（2 教室改造）
5. 心障特別教室完成
昭 59. 5. 校庭南フェンス改修（歩道完成）
昭 59. 8. 全教室窓枠アルミサッシに交換
・外装吹付け工事実施

- 昭 60. 3. 廊下塗装工事実施
5. 給食棟（厨房・食堂）完成
昭 61. 3. 校庭南フェンス（高）延長
昭 62. 9. 12 創立四十周年記念式典・祝賀会
を挙行
平 2. 3. 訪問学級を閉鎖
2. 4. 情障学級を開級

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
飯 塚 節 三	昭 22. 4 ～ 昭 25. 9
増 山 恒	昭 25. 10 ～ 昭 30. 10
飯 島 一 吉	昭 30. 10 ～ 昭 37. 3
木 村 巧	昭 37. 4 ～ 昭 40. 3
芳 西 幸 三	昭 40. 4 ～ 昭 44. 3
羽 崎 一 男	昭 44. 4 ～ 昭 47. 3
高 橋 太 一	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
吉 岡 孝 二 郎	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
山 本 保	昭 55. 4 ～ 昭 61. 3
川 崎 昭 三	昭 61. 4 ～ 平成元. 3
村 田 志 信	平成元. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩 8 分、中央線豊田駅より南へ 18 分、浅川にそう静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に住宅が増えてきた。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区近くには、高幡不動、また多摩動物公園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

基本的人権を尊重し、平和で民主的な人間を育成するために、つぎのことを目標とする。

自主・敬愛・勤勉・責任・健康

- 自ら学び、考え、行動しよう。
- 責任と思いやりの心をもとう。
- 健全な心とからだをつくろう。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ①人権を尊重し、実践活動を通して生徒の個性の伸長をはかり、心豊かでたくましく生きる生徒を育てる。
- ②基礎的・基本的内容を身につけさせるため、日常の継続的研究をすすめる。
- ③より効果的に教育活動を進めるため、教師と生徒の心のふれ合いを深めるとともに、教育環境の整備向上に努める。
- ④障害児に対する理解を深めるため、心身障害学級との交流をはかる。
- ⑤地域の自然や文化を大切にできる態度を育て、郷土愛を培う。
- ⑥国際的な視野に立って行動できる生徒を育てる。
- ⑦全職員の共通理解を深め、あわせて父母・地域との連携を密にし、健全な生徒を育てる。

(3) 心障学級の目標

- ①情緒豊かで、健康な身体を育てる。
- ②一人一人の発達段階に応じて、言語（表現活動）・認識を豊かに育てる。
- ③生活に必要な技能や、自分から進んで行動できる力を育てる。
- ④互いの個性を大事にし、助け合って働ける力を育てる。

(4) 情障学級の目標

親密な人間関係を通して、生徒一人一人の健全な成長と民主的人格の育成とを図るとともに、社会に適応し自らの能力を発揮できるようにする。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 基礎的・基本的事項の指導の徹底と、生徒一人一人が主体的に学ぶ意欲の向上をはかる。

イ. 道徳

- 健康で、明るく、互いに協力する態度を育てる。
- 物事を正しく理解し、判断して、建設的に実践していく態度を育てる。

ウ. 特別活動

- 生徒の自主活動を高め、規則正しい学校生活を通して、心身ともに調和のとれた生徒を育てる。

(2) その他の活動

- 集団生活をととして、互いに協力する態度を育てる。
- 生徒理解を深め、個性の伸長をはかるとともに、生活意欲の向上に努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 諸活動を通じ、生徒の自主性と自治能力の向上に努める。
- 基本的生活習慣の指導を通じ、中学生としての生活態度を育てる。

イ. 進路指導

- 自己理解を深め、自分の特性にあった進路を選択するとともに、自ら向上しようとする態度を

育てる。

6. 本年度の研究主題

生徒の自主的活動を育てる指導の工夫

7. 本校の特色

- 生徒は明るく、素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。
- 研修会や授業研究等を通して、基礎学力の定着、授業の充実を図っている。
- 生徒の自主活動が盛んで、合唱コンクール、三年生を送る会等の行事が、例年、活発に行われている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	村田 志信（44.音楽）	柳沢 美澄（56.英語）	大谷 良光（61.技術）
2	柳沢 美澄（55.英語）	瀬川 昭英（63.国語）	瀬川 昭英（元・国語）
3	大谷 良光（59.技術）		
4	松澤 茂久（59.特活）		
5	瀬川 昭英（60.国語）		
6	長坂 昌弘（元・音楽）		
7	井尻 郁夫（3.社会）		



学 校 名 日野市立日野第三中学校

所 在 地 日野市程久保 650 番地

電 話 0425-91-2228・2229・2221

順 路 京王線高幡不動下車 百草団地行バスで
高幡台団地下車 徒歩 7 分

生 徒 数 男 423 名 女 372 名 計 795 名

校長氏名 高 木 宏 文

教頭氏名 伴 野 博 夫

1. 沿革の概要

- 昭 45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中
分校として、七生中学校内で授
業開始 生徒数 26 名、教職員
数 12 名
- 昭 45.10. 1 日野市立日野第三中学校開校
七生中学校内で授業 生徒数 44
名、教職員 14 名、百草、高幡の
両団地を学区にする
- 昭 46. 3.27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区変更、程久保地区の全部、
三沢地区上、中を加える
7. 1 学区変更、西部百草団地を加
える
10. 2 開校式を挙行 10 月 2 日を開校
記念日とする 校章・校歌を発
表
- 昭 48. 1.31 体育館工事竣工
- 昭 50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭 54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭 55.10. 5 創立十周年記念式典
- 昭 59. 4. 1 学区変更、西部百草園住宅お
よび日本信販西部百草園住宅地
域を除外、三沢中学校区に移す
- 昭 59. 9. 1 第四期特別教室増築竣工 プー
ル管理棟竣工
- 昭 62. 3.31 プール改修工事竣工
- 平元・ 8.31 集中コントロールガス暖房工事
竣工
- 平 2. 6.22 クラブハウス竣工
- 平 2. 6.26 校庭夜間照明施設竣工
- 平 2. 8.13 給食棟竣工
- 平 2. 9.28 給食開始
- 平 2.11.17 創立二十周年記念式典

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 敏 一	昭 45. 9 ～ 48. 3
松 延 耕 作	昭 48. 4 ～ 53. 3
田 中 引 明	昭 53. 4 ～ 56. 3
長 岡 宗 次	昭 56. 4 ～ 59. 3
千 葉 廣 志	昭 59. 4 ～ 63. 3
清 水 春 海	昭 63. 4 ～ 平 3. 3
高 木 宏 文	平 3. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯にある。学
区域は住宅公団の高幡・百草の両団地、民間分
譲の三井、電建の諸団地及び在来の程久保、三
沢の両地区を含んだ地域である。

屋上からは眼下に浅川が流れ、その北に起伏
に富み緑豊かな武蔵野台地を一望することがで
き、西方遙か富士の秀峰も眺められる。学区内
には都立多摩動物公園、明星大学があり、付近
には百草園、東電学園、帝京大学、中央大学な
どがあって、文教地区を形成している。

4. 教育目標

人権尊重の精神を基調に国際社会に活躍でき
る心身ともに健全な人間を育成するため次の目
標を定める。「自ら判断し、責任をもって実行
する人となる。」

- 自ら学び、考え工夫する人
- 自然や人々を大切にすること
- 自ら心身を鍛え、やりぬく人

5. 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 研究実践部門の活性化と充実を図る。
- ② 教育目標を学年・学級に具体化して経営の充実を図り、思いやりがあり協調性のある、人格の形成をめざす。
- ③ 指導方法の改善、工夫、基礎、基本の重視をととして生徒の自主性を啓発し、充実した学校生活をおくらせる。
- ④ 生徒の自主的・実践的な特別活動を重視し、学年学級経営の充実をはかる。

6. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

教材を精選するとともに、ゆとりのある学習をととして、自主学習を促進し、学習の効率化をはかる。授業研究をととして、おたがいに資質の向上をはかる。

イ. 道徳

他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに、責任ある行動ができるように、指導内容をくふうする。思いやりと協調性を養い、感謝の心を育てる。

ウ. 特別活動

- ① 小集団を基礎に、個人の自発性をうながし、学級集団の質を高める。
- ② 学級・学年の活動を母体として、生徒会活動の充実をはかる。

(2) その他の活動

- ① 教育目標の具現化をめざし、生徒ひとりひとりの指導にあたるとともに、国際社会の一員として、思いやりの精神を養う。
- ② 諸行事において、計画の段階から生徒の参加場面を設定し、自主・自律的な活動ができるように指導にあたる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ① 学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織をととしての自律ある生活態度を身につけさせる。
- ② 問題行動に対しては、全職員の共通理解にもとづき、一致した指導の徹底をめざす。

イ. 進路指導

教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的指導の徹底をめざす。

7. 本年度の研究課題

ア. 主題「個性・創造性・自主性を育てる指導の工夫」

イ. 研究内容

- ① 主体的に学習させる授業研究
- ② 自主、自律、思いやりの心を育てる道徳の進め方
- ③ 自主的活動を促進する生徒指導
- ④ 各学年に応じた進路指導の検討

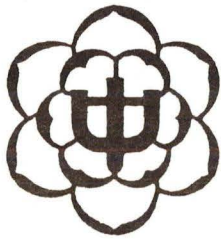
8. 本校の特色

- 本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができ、自然環境に恵まれている。
- 開校21年目で、学級数は22、学区内の小学校は、潤徳小、高幡台小、程久保小の4校ある。

- 開校以来、「自ら判断し、責任を持って実行する人となる」の教育目標の具体化をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成に努めている。
- 団地、分譲地を主体とした地域で、保護者の約3分の1が技術的、管理的な職業に従事し、子弟の教育に寄せる関心は大変高い。
- 気持ちよく学習できる環境を整えるため、教室美化、掲示指導に力を注いでいる。月一回、美化デーを設定し、清掃活動の徹底に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1	大 宅 寛（42 音）	伴 野 博 夫（55 美）	現代化、高木 宏文（51 特活）
2	高 木 宏 文（46 数）	橘 陽 臣（57 体）	海外派遣、長期 高木 宏文(2)
3	伴 野 博 夫（46 美）	鈴 木 渉（59 音）	
4	飯 島 利 三（47 技）	乙 黒 義 夫（2 国）	
5	乙 黒 義 夫（57 国）		
6	飯 島 利 三（60 課）		
7	乙 黒 義 夫（62 書）		
8	横 溝 雅 之（2 保体）		



学 校 名 日野市立日野第四中学校
所 在 地 日野市旭が丘 2-42
電 話 0425-83-3905・3906
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩 17 分
バス（長房団地行、都立科学技術大学下車 5 分）
生 徒 数 男 444 名 女 381 名 計 825 名 21 学級

校長氏名 桑 原 和 正

教頭氏名 塙 健 郎

1. 沿革の概要

昭 47. 5. 10 市教委に四中設立委員会設置
8. 21 校舎起工式（工事費 19 億円施工
小田急建設）
12. 7 学区決定
昭 48. 1. 18 屋内体育館着工
3. 26 都教委・第四中学校設立を認可
4. 1 初代校長 河村俊一郎氏以下
教員 24 名発令・開校
7. 2 屋内体育館完成 使用開始
（工費約 4,600 万円 施工 小
田急建設）
7. 18 本校シンボル「泰山木」決定
8. 7 プール完成（工費 2,700 万円）
10. 13 校歌作詞完成
10. 16 校章決定、教育目標設定
11. 10 校歌作曲完成（寺原伸夫氏）
11. 16 校旗完成
11. 17 落成式挙行
11. 22 第一回開校記念日
昭 49. 2. 2 標準服制定
5. 30 保健室 冷房装置取り付け
7. 1 増築工事開始
7. 3 保健室 空気清浄装置取り付け
9. 6 駐車場舗装（体育館西側）
昭 50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成
3. 8 増築部完成 校舎 3 スパン
機械室 工費約 1 億 6 千万円
施工 小田急建設
4. 26 テニスコート完成
校庭の校舎に U 字溝設置
昭 51. 1. 16 図書館開館
昭 52. 4. 1 二代校長 山口幸雄氏着任

昭 52. 9. 13 第三期工事開始、東端 3 スパン、
美術室を理科室に改造
（工費 9,500 万円 施工 小田
急建設、年度末完成）
昭 53. 3. 28 校庭に防球フェンス設置
昭 54. 5. 15 校庭東側に防球フェンス設置
昭 55. 1. 18 仮称八中（現平山中）学校準備
委員会発足
6. 26 校庭南側に防球フェンス設置
昭 56. 4. 1 三代校長 花牟礼哲氏 着任
昭 58. 4. 10 学校警備、機械化となる
11. 21 創立十周年記念式典挙行
校歌碑建立・除幕
昭 59. 8. 1 体育館床の研磨
昭 60. 4. 1 四代校長 立川泰司氏 着任
昭 62. 1. 17 給食棟建設工事着工
9. 30 給食棟及びテニスコート（全天
候型に）改修
昭 63. 4. 1 五代校長 桑原和正氏 着任
5. 16 給食開始

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
河 村 俊一郎	昭 48. 4. 1 ～ 52. 3. 31
山 口 幸 雄	昭 52. 4. 1 ～ 56. 3. 31
花牟礼 哲	昭 56. 4. 1 ～ 60. 3. 31
立 川 泰 司	昭 60. 4. 1 ～ 63. 3. 31
桑 原 和 正	昭 63. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的に北半分は洪積台地（日野台）、南半分の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

この地域は昭和初期まで、人家はほとんどなく昭和12年、小西六写真工業（株）（六桜社）、昭和18年富士電機製造（株）の進出まで、ほとんど見るべきものはなかった。

しかし、戦後にここにも都市化の波が押し寄せ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに、人口は急増しはじめた。平山工業団地・JR豊田電車区、多数の住宅、アパートなど、畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近15年ぐらいで、いちじるしく変化し、人口が急増した。

4. 教育目標

平和で民主的な国家、社会の形成者として、世界にひらかれた日本人の育成をめざし、つぎの目標を定めます。

- 1 進んで学習し、向上する人
- 2 進んで力を合わせ、みんなのために努力する人
- 3 進んで心身を鍛え、やりぬく人

○学校の教育目標を達成するための基本方針

- 1 年間の授業時数を確保し、生徒の思考過程を重視した授業をすすめる。
- 2 生徒の自主的実践的活動を重視した行事の実施、及び学年・学級経営をはかる。
- 3 家庭の理解と協力をえて、ともに人間性豊かな生徒の育成につとめる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 1 生徒の活動を生かす指導につとめ、自ら進んで学びとる学習態度を育成する。
- 2 教材の精選につとめ、基礎学力の充実を図る。

イ. 道徳

- 1 お互いの人権を尊重し、思いやりの心を養う。
- 2 物を大切にすることを養う。
- 3 よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。

ウ. 特別活動

- 1 教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを深める。
- 2 集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい集団生活を営むようにする。

(2) その他の活動

充実した中学校生活を送るために

- 1 学校行事への取り組みを通して、自主的・実践的活動を重視する。
- 2 教師と生徒のふれあいを重視し、生徒一人ひとりの学習や生活の悩みの解決をはかる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 1 自主的に規律正しい生活習慣を身につけると共に、個人の責任を自覚させる。
- 2 勤労意欲を向上させ、教育環境の整備・美化に努めさせる。
- 3 心身の健康安全に対する意識を高め、事故防止に努めさせる。
- 4 集団生活の意義や個人の果たす役割を理解し、集団の質を高める態度を養う。

イ. 進路指導

系統的な指導につとめ、自己理解・情報の分析を通し、将来の進路を選択する能力と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

人権尊重教育の推進 新学習指導要領の研修

7. 本校の特色

(1) 教育活動

各領域の調和に心掛けつつ、校風を発展させる意気に燃えている。

ア. 授 業 校内研究を深め、1時間1時間を大切にする。授業打ち切りをさけ、まじめな学習態度を育てる。

イ. 特別活動 学級活動・生徒会活動・クラブ活動と学校行事の調和をめざし、時間を厳守して活動し、自発心・自律心を育てると共に感動する体験を多くするように努める。

(2) 授業研究の推進

市の学校教育の指導目標にのっとり、授業研究の推進に努める。

(3) 父母との連携

学校通信（学校の様子、生徒の創作）を家庭に配布し、学年・学級通信と合わせて共通理解・共通指導に努める。

(4) 美化緑化の推進

校樹（泰山木）を育て、緑多く美しい学園の環境整備に努める。

(5) 勤労体験学習の推進

学校行事を通して、特に、全校清掃の日々の実践から、自ら気付き・考え・実行する力を育てる。

8. その他（教職員の研究歴）

№	研 究 員	開発委員・現代化委員	研 究 生	中央研修
1	桑原和正 46 教育方法	桑原和正 52 道徳	村山敏雄 51 音楽	桑原和正 62
2	村上敏雄 47 音楽	新井 幹 53 教育課程		塙 健郎 56
3	桑原和正 48 社会	高橋清子 57 家庭		
4	新井 幹 54 音楽	村上敏雄 62 音楽		
5	高橋清子 61 家庭			
6	青木裕美 62 理科			
7	山本玲子 平2家庭			



学 校 名 日野市立三沢中学校
所 在 地 日野市三沢 25 番地
電 話 0425-92-5017・5018
順 路 京王線百草園より西へ徒歩 10 分
高幡不動駅より東へ徒歩 12 分
生 徒 数 男 360 名 女 311 名 計 672 名

校長氏名 阿 部 忠 志

教頭氏名 深 山 睦 弘

1. 沿革の概要

昭 51. 9. 18 仮称 5 中学校校舎起工式
昭 52. 2. 1 初代校長 古川 豊発令
4. 1 日野市立三沢中学校開校 教頭
以下教職員 22 名発令
4. 6 始業式 (2 年 156 名、3 年 147
名
4. 7 第 1 回入学式 (1 年 188 名、
全校生徒 491 名)
9. 16 第 1 回開校記念日
昭 53. 3. 22 第 1 回卒業式 (男 80 名女 66 名)
4. 7 第 2 回入学式 (男 109 名女 85 名)
昭 54. 3. 19 第 2 回卒業式 (男 75 名女 88 名)
4. 7 第 3 回入学式 (男 111 名女 91 名)
昭 55. 3. 18 第 3 回卒業式 (男 93 名女 91 名)
4. 8 第 4 回入学式 (男 107 名女 105 名)
昭 56. 3. 20 第 4 回卒業式 (男 105 名女 86 名)
4. 6 第 5 回入学式 (男 131 名女 94 名)
昭 57. 3. 19 第 5 回卒業式 (男 108 名女 95 名)
4. 1 二代校長 降旗経雄発令
4. 7 第 6 回入学式
(男 137 名 女 108 名)
昭 58. 3. 19 第 6 回卒業式
(男 110 名 女 108 名)
4. 7 第 7 回入学式
(男 107 名 女 122 名)
18 学級 教職員 35 名
昭 59. 3. 19 第 7 回卒業式 (男 130 名女 95 名)
4. 1 校舎増築、給食室完成
4. 7 第 8 回入学式
(男 174 名 女 161 名)
昭 60. 3. 19 第 8 回卒業式
(男 136 名 女 102 名)
3. 31 西側第二グラウンド完成

昭 60. 4. 8 第 9 回入学式
(男 171 名 女 153 名)
昭 61. 3. 20 第 9 回卒業式
(男 110 名 女 119 名)
3. 31 前庭、中庭緑化完成
4. 8 第 10 回入学式
(男 169 名 女 170 名)
24 学級 教職員 55 名
昭 62. 3. 20 第 10 回卒業式
(男 174 名 女 169 名)
4. 1 三代校長 綿引正己発令
4. 7 第 11 回入学式
(男 173 名 女 142 名)
23 学級 教職員 55 名
11. 7 創立 10 周年記念式典
昭 63. 3. 18 第 11 回卒業式
(男 175 名 女 164 名)
4. 7 第 12 回入学式
(男 142 名 女 129 名)
23 学級 教職員 56 名
平 元. 3. 20 第 12 回卒業式
(男 170 名 女 168 名)
4. 7 第 13 回入学式 (男 132 名女 97 名)
21 学級 教職員 50 名
平 2. 3. 20 第 13 回卒業式
(男 173 名 女 142 名)
4. 7 第 14 回入学式
(男 129 名 女 111 名)
18 学級 教職員 44 名
平 3. 3. 20 第 14 回卒業式
(男 142 名 女 123 名)
4. 8 第 15 回入学式
(男 96 名 女 103 名)
17 学級 教職員 42

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
古 川 豊	昭 52. 2. 1 ～ 57. 3. 31
降 簇 経 雄	昭 57. 4. 1 ～ 62. 3. 31
綿 引 正 己	昭 62. 4. 1 ～ 平 2. 3. 31
阿 部 忠 志	平 2. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区域は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名勝がある。

4. 教育目標

憲法と教育基本法にのっとり、平和で民主的な人間に育成することをめざして、次の目標を定める。

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
- ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。

◆教育目標を達成するための基本方針

- (1) 授業を大切にし、指導内容及び指導方法に創意工夫をこらし基本的事項の定着を図る。
- (2) 学年・学級の活動、学校行事等を充実し生徒の存在感や成就感を高める指導に努める。
- (3) 体位・体力の向上を図るとともに、生徒理解にたった心の通う行き届いた指導を進める。
- (4) 教育環境を整え、明るく生き生きとした校風を築くよう教職員は和をもってこれに当たる。

◆指導の重点

(1) 各 教 科

- ア. 基礎学力の充実、教材の精選・系統化に努め学び方を身につけさせる。
- イ. 自ら学ぶ意欲、主体的に学習する習慣を身につけさせる。
- ウ. 一人一人の生徒の立場にたった指導を工夫し、学ぶことの楽しさをわからせる。

(2) 道 徳

- ア. 生命尊重の精神を育て人間としての自覚を高める。
- イ. 望ましい人間関係を育て集団・社会の一員として自覚し行動する実践力を育てる。

(3) 特別活動

- ア. 生徒・教師が一体となって発表の場や機会を工夫し自主・自律の態度や豊かな創造力の育成に努める。
- イ. 学級や学校における生活課題の解決能力や健全な生活態度の育成を図り、一人一人の個性の伸長に努める。
- ウ. 生徒会活動の活発化を図り、生徒の自主的・実践的態度の育成に努める。

(4) その他の活動

- ア. 教育相談、学力補充に努め不適応生徒の防止に努める。
- イ. 国際理解教育の推進に努めるとともに外国人英語指導助手の活用を図る。

(5) 生活指導

- ア. 人間関係を深め規律ある集団づくりを進める。
- イ. 積極的に整然とした学校環境づくりに取り組む。
- ウ. 善悪理非のけじめを自覚させ実行させる。

(6) 進路指導

- ア．生き方の指導を通し自己理解を深めさせ進路選択の能力を養う。
- イ．学級活動に進路学習を位置付け学年に応じた系統的指導を実践する。

(7) その他の活動

- ア．教育相談、学力補充に努め、不登校生徒の防止に取り組む。
- イ．中国引揚げ子女に対して配慮し、日本の文化と外国の文化について理解させる。
- ウ．国際理解教育の推進に努めると共に、外国人英語指導助手の活用をはかる。

5. 本年度の研究主題

意欲をもって主体的に学習に取り組む指導法のあり方はどうあるべきか。

6. 本校の特色

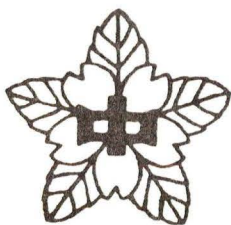
本校は開校以来 14 年が経過し、教職員の努力と地域、父母の協力により、学校の基礎が確立されたところである。施設の面では、この 2、3 年の間に校舎増築、給食施設の完成、第二グラウンドや前庭の完成など一段と充実をみた。

教職員は常に和の精神を堅持して、当面する多くの問題を解決し、教育内容の充実を図ってきた。特に、生徒一人一人の個性を伸ばし、能力を開発するために、厳しい中にも明るく伸びやかな雰囲気大切にしている。その中で自から考えさせ、自主的な行動のとれる生徒の育成をめざしている。このことを可能にするため、授業研究、行事の充実、生活指導のための校内研修を重視している。生徒は素直であるが、目的意識が不十分であり、集中力に欠ける面がある。父母は教育熱心で協力的であり、父母と教師の会の活動も活発である。

本年度も、国際理解教育の推進ならびに英語力の増進を目的に、外国人教師の導入を図っている。

7. その他（教職員の研究歴）

教 育 研 究 員	開 発 委 員	道 徳 助 言 研
阿 部 忠 志(48.特別活動)	阿 部 忠 志（48.文部省）	阿 部 忠 志(49.特別活動)
深 山 睦 弘(60.英語)	深 山 睦 弘（61.英語）	
	吉 池 美紀子（62.音楽）	



学 校 名 日野市立大坂上中学校
所 在 地 日野市大坂上 4-17-1
電 話 0425-83-9755・9756
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 12 分
生 徒 数 男 400(7) 女 334(2) 計 734(9)
()内 心障学級生徒数

校長氏名 名 塚 三 雄

教頭氏名 山 崎 妙 子

1. 沿革の概要

昭 55. 2. 1 初代 長谷川辰美校長着任

4. 1 日野市立大坂上中学校開始
教頭以下教職員 37 名発令

4. 7 始業式(2年214名 3年235名
心障 15 名)

4. 8 第 1 回入学式 男 144 名
女 128 名 心障 2 名

5. 15 校舎・校庭工事完成

6. 6 体育館工事完成

6. 28 プール工事完成

7. 12 落成式挙行

8. 11 生徒標準服・校章・校旗制定

11. 1 体育館緞帳、暗幕工事完成

11. 8 校歌制定 校章、校旗、校歌
発表会挙行

昭 56. 3. 9 第 1 回卒業式 男 130 名
女 114 名

4. 7 第 2 回入学式 男 128 名
女 134 名 心障 12 名

昭 57. 3. 19 第 2 回卒業式 男 112 名
女 110 名

4. 7 第 3 回入学式 男 123 名
女 102 名 心障 7 名

昭 58. 3. 9 第 3 回卒業式 男 148 名
女 144 名

3. 31 理科室、食堂、図書室、美術室、
普通教室 4 完成

4. 7 第 4 回入学式 男 151 名
女 118 名 心障 5 名

昭 59. 3. 19 第 4 回卒業式 男 142 名
女 143 名

昭 59. 4. 7 第 5 回入学式 男 166 名
女 151 名 心障 6 名

昭 60. 3. 19 第 5 回卒業式 男 127 名
女 130 名 心障 4 名

4. 8 第 6 回入学式 男 132 名
女 152 名 心障 4 名

昭 61. 3. 20 第 6 回卒業式 男 150 名
女 120 名 心障 5 名

4. 8 第 7 回入学式 男 173 名
女 163 名 心障 5 名

昭 62. 3. 20 第 7 回卒業式 男 166 名
女 154 名 心障 6 名

4. 7 第 8 回入学式 男 161 名
女 146 名 心障 3 名

昭 63. 3. 18 第 8 回卒業式 男 131 名
女 154 名 心障 4 名

4. 1 第 2 代 名塚三雄校長着任

4. 7 第 9 回入学式 男 148 名
女 130 名 心障 4 名

平 元 3. 20 第 9 回卒業式 男 173 名
女 161 名 心障 6 名

4. 7 第 10 回入学式 男 121 名
女 123 名 心障 1 名

平 2. 3. 20 第 10 回卒業式 男 155 名
女 141 名 心障 3 名

4. 7 第 11 回入学式 男 136 名
女 106 名 心障 4 名

平 3. 3. 20 第 11 回卒業式 男 150 名
女 126 名 心障 3 名

平 4. 4. 8 第 12 回入学式 男 138 名
女 103 名 心障 3 名

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
1	長谷川 辰 美	昭55. 2. 1 ～ 63. 3.31
2	名 塚 三 雄	昭63. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

現在地は日野の発祥の地として知られている。また、関東ローマ層の日野台地にあり、昭和11年日野工場地帯の中に設立された神鋼電機(株)のあと地に新設された中学校である。

学区内に日野自動車(株)をはじめ中小工場も多く、また実践女子大学、日野台高校と隣接しており、教育環境は良好である。

4. 教育目標

進んで自己を開拓し向上しつづける人になろう。

- ① よく考え進んで学ぼう。(知性)
- ② 思いやりの心をもち、他につくそう。(敬愛)
- ③ 心身を鍛え、全力でやりぬこう。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 授業規律の確立と一人一人の体験を重視しながら、それを生かす授業の工夫を進める。
- 基礎学力の充実を図り、学習遅進児への対策を図る。
- 生徒自ら学び、考える態度を育成する。
- 一人一人の個性と能力の伸長を図る。
- 新教育課程移行措置の初年度に当たり、完全実施へ向けての計画的移行を図る。

イ. 道徳

- 正しい道徳的判断力と思いやりの心を培う。
- 社会の一員としての奉仕と感謝の心を培う。
- 学校生活全体を通して系統的に、道徳的实践力を育てる。
- 道徳時間の確保と充実に努める。

ウ. 特別活動

- 自主性を育て、主体的な実践活動を通して、充実した学校生活を送らせる。
- 体験を重視した行事を通して社会性をつちかい、感動や奉仕の心を養う。

(2) その他の活動

落ちつきとうるおいのある学校生活の中で、喜びと生きがいを育てるために、

- 清掃美化教育の徹底を図る。 ○生徒会の諸活動の一層の充実に努める。
- 教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係を育てるよう、学年・学級の諸活動の充実に努める。
- 一人一人を生かす教育活動の充実に努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 規律ある学校生活の確立と基本的な生活習慣の徹底を図る。
- 共通理解から、共通実践へ。職員の指導体制の充実に努める。
- 集会指導の一層の充実に努める。

イ．進路指導

○生徒が自己の能力と適性を伸ばし、目的意識をもって将来の進路を選択すると共に、生涯をたくましく意欲的に生きつづける力を育てるよう系統的、計画的な指導の充実に努める。

6. 本年度の研究主題

生涯教育へむけての、系統的進路指導のあり方

7. 本校の特色

本校は一中と二中を母校とし、各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校 12 年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢 30 年を超える桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢 100 年ともいわれる樺がそびえ、教育環境は非常に良い。日野台高校と隣接し、生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

開校以来、地域社会・家庭と協力して子どもの長所を生かし、本校の基礎固めに全校職員が力を結集して努力してきた。教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、おちついた雰囲気のある学校となり、生徒が意欲的に活動する学校となった。58 年度より学校給食が始まり 396 名入る食堂が完備し、各地よりの参観者がある。

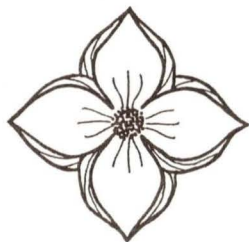
また本校は心障学級設置校であり、交流学習等教育内容の充実に努めている。幸にして在学する生徒の一人一人が明るく生き生きとした姿で学んでいる。

平成 2 年度は、①研修会や授業研究を通じて指導技術を高め、授業の充実をはかり、②生徒会活動を重視し、計画的な指導により生徒の自浄能力と意識をさらに高め、③生活環境を全校あげて整備し、安全・清潔・静粛な学校の維持・向上につとめていく方針である。

以上のことを通じて教育目標に示された思いやりの心をもち、他につくす心情を大切にする生徒の育成を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 №	研究員	現代化委員	研究生	その他
1	名 塚 三 雄 (43.特活)		中 野 秀 樹 (H3)	山 崎 妙 子 (46.47.道徳助言)
2	内 田 耕一郎 (41.特活)			中 野 秀 樹 (55.道徳助言)
3	松 本 優 治 (60.美術)			大 矢 芳 生 (H2.道徳助言)
4	中 野 秀 樹 (61.社会科)			木 嶋 健 (62 関発委社会)
5	渡 辺 やす子 (平3.家庭科)			中 村 祭 樹 (H1. 地質調査)
6	大 矢 芳 生 (H3.教育課題)			



学 校 名 日野市立平山中学校
所 在 地 日野市平山 4 丁目 21 番地の 3
電 話 0425-93-3015・3016
順 路 J R 豊田駅下車 徒歩 18 分
京王線 南平駅下車 徒歩 10 分
生 徒 数 男子 296 名・女子 257 名・計 553 名

校長氏名 北 原 景 昭

教頭氏名 浅 野 博

1. 沿革の概要

- 昭 55. 6. 14 校舎建設工事着工
8. 25 給食室建設工事着工
12. 15 プール建設工事着工
12. 16 体育館建設工事着工
昭 56. 2. 1 初代校長 河野寿忠着任
3. 26 校舎使用開始
4. 1 開校 乙戸教頭以下教諭 29、
主査 1、市職員 11 名着任
5. 11 アラームシステムによる自動警
備開始
5. 19 校庭造成工事終わる
5. 27 プール完成
7. 15 東テニスコート完成
8. 21 体育館完成
9. 21 西テニスコート完成
12. 25 校旗完成
昭 57. 1. 7 校歌完成
2. 6 校歌、校章発表会
3. 1 中国日本語教師団の来校
4. 11 学校スポーツ開始
4. 23 家庭教育学級開講
昭 58. 1. 24 平山中 P T A 規約成立
2. 8 体育館自動警備設備工事完了
4. 1 第二代校長 川崎昭三着任
昭 60. 11. 30 校庭南側防音工事完了
昭 61. 4. 1 第三代校長 高木宏文着任
平元. 8. 31 図書室（4 階）の改修完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
河 野 寿 忠	昭 56. 2 ～ 58. 3
川 崎 昭 三	昭 58. 4 ～ 61. 3
高 木 宏 文	昭 61. 4 ～ 平 3. 3
北 原 景 昭	平 3. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

多摩丘陵北麓にひらけた低地に学校がある。校舎南側にある校庭の目先きを京王線が走り、校舎北側は、堤防道路をへだてて、浅川の河川敷につながっている。緑豊かで自然環境には恵まれている。

学区域は、東西の最長部分が約 2.3 km、南北が約 1.5 km にわたり、学校は学区域の最も北東部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴ない、ベッドタウンのたたずまいを濃くし、人口の急増が見られたが、生徒数は 62 年度を峠に漸減に向っている。父母の教育への関心度は極めて高い。

4. 教育目標

- 考え、工夫する人
（主体性のある人間の育成）
- 協力し、進んで働く人
（社会性のある人間の育成）
- 自然や人々を大切にする人
（人間性豊かな人間の育成）
- 心身を鍛え、やりぬく人
（健康な人間の育成）

5. 指導の重点

(1) 各教科

- わかりやすい授業、楽しい学習を展開するために、指導法や教材に工夫をこらす。
- 地域の自然、文化を教材や教育活動にとり入れる。
- 基礎学力の充実をはかり、日常の学校や家庭生活の中で、生徒が自主的に学習を進めることができるように、意欲を育てる習慣を身につけさせる。

(2) 道徳

- 温かい人間愛を基礎とした望ましい人間関係をつくるよう、すべての人を尊重し、理解する心情の育成をはかる。
- ものごとの善悪を正しく判断し、正しい事は勇気をもって実践する態度を養う。
- 社会の一員としての基本的な生活習慣を身につけるようにする。

(3) 特別活動

- 生徒会やクラブ・学年・学級の諸活動への積極的な参加を通して、所属意識を高めると共に連帯の精神を養い、責任感と実行力を身につけさせる。
- 学校行事の意義を正しく理解して積極的に参加するようにし、奉仕・他への思いやり・責任感等の心を育てると共に、ものごとの計画、組織的にすすめる能力や態度を養う。

(4) 生活指導

- 日常の個別や集団の指導を通して、望ましい生活習慣や態度を育て、集団の質を高める指導を行う。
- 学校生活のあらゆる場でのふれあいを通して教師と生徒の心のつながりを強め、相互の信頼を深めるようにする。
- 全職員が一致して指導する体制をつくって問題傾向には早期に対応策を講じ、家庭や関係諸機関との連絡を密にして、全生徒の健全育成に努める。

(5) 進路指導

- 自己の特性を知って、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。
- 個々の生徒や各学年の発達段階、特性等を考慮して、計画的・系統的な指導を実施する。

(6) その他の活動

- 個人的な悩みや不安を解消するため、教育相談・個人面談・進路相談・質問教室等の実施をおしすすめる。

6. 本年度の研究主題

- (1) 小集団を生かした学級活動・学習活動の進め方。
- (2) 小・中の連携を生かした生徒指導のあり方。

7. 本校の特色

開校11年目の学校で本年度は「十周年記念行事」の開催が予定されている。生徒も教職員も「学校へ来るのが楽しい」といえる学校を目指して、下記事項に重点をおき、指導に当たっている。

- 生徒をとりまくいろいろな環境を整え、活気に満ちた学校にする。
- 「勉強しようとする意欲に満ちた生徒がいて」「生徒のために力一杯やろうとする先生がいる」学校にする。

8. 教職員の研究歴

内訳 No	研 究 員	研 究 生
1	阿 部 晃 一 (43. 美)	坂 井 悦 子 (2. 理)
2	三 浦 義 次 (46. 技)	
3	三 浦 賢 治 (59. 数・62特活)	
4	遠 藤 弘 (63. 特活)	
5	渡 辺 淳 (元・ 英)	
6	池 田 純 二 (元・ 数)	
7	片 倉 俊 秀 (62. 道・元2性教)	

